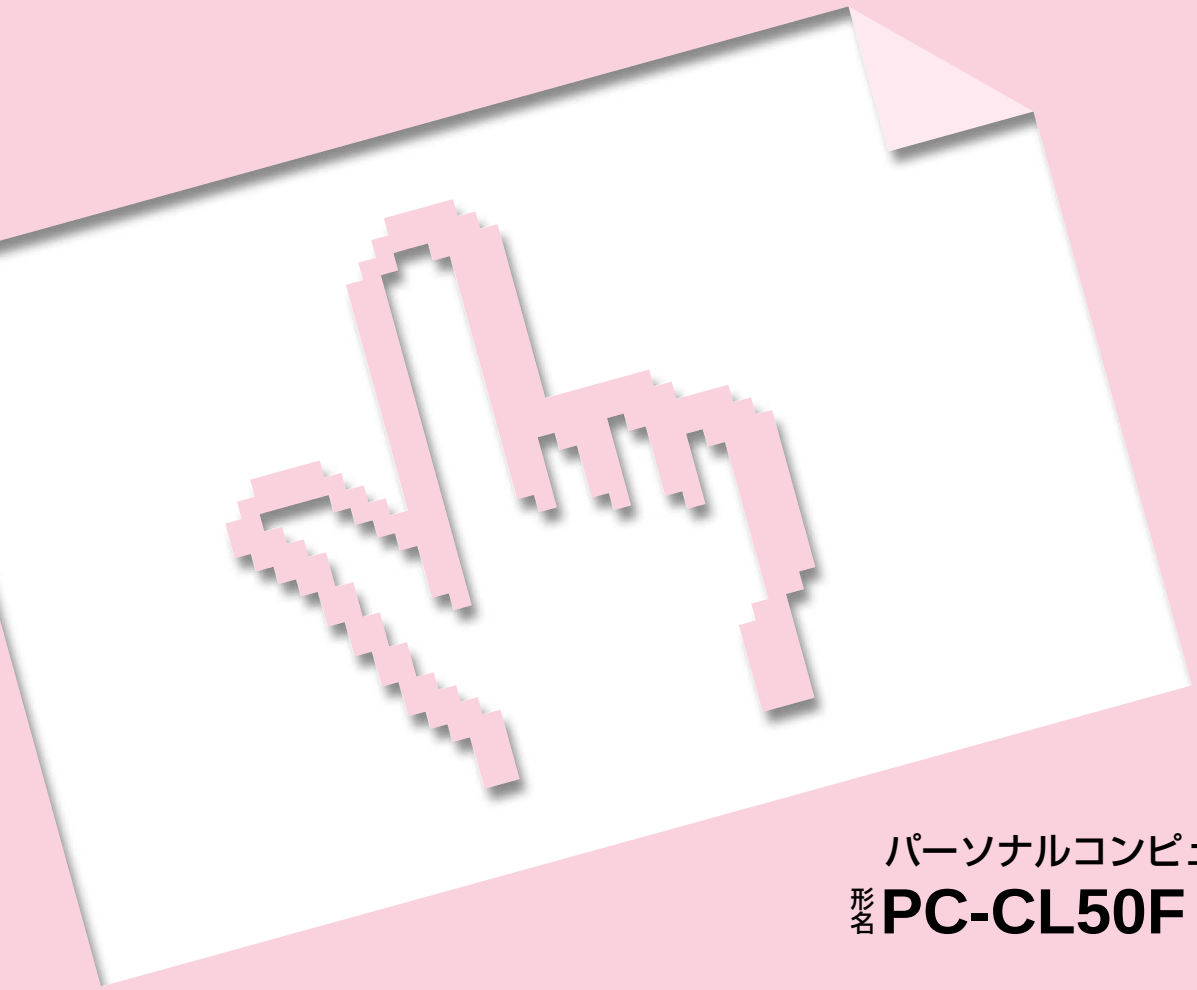
SHARP®

取扱説明書



パーソナルコンピュータ

形名 PC-CL50F

安全にお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です）

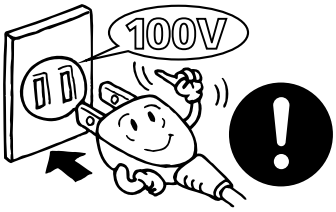
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

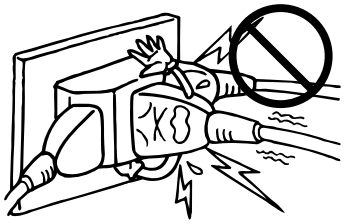
記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用する。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。
付属の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）です。



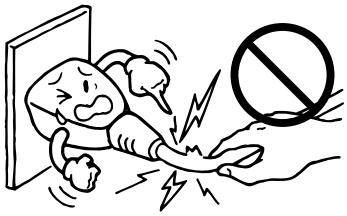
電源コードのプラグは、直接コンセントに接続する。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。



お客様による分解や修理・改造はしない。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。その後、修理を依頼してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

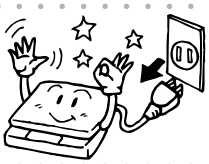
本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにする。
落とすと足をけがすることがあります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。
また、ゆるんだコンセントは使用しないでください。接続がゆるいと火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターおよび電源コードのプラグにほこりが付着している状態で使用しない。
ACアダプター、電源コードのプラグにほこりなどが付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。ほこりなどが付着したまま使用すると、湿気などで絶縁不良となり、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

本機を長期間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷が鳴り始めたら、早めにアンテナ線や電話線、電源コードなどを抜いてください。
故障や大切なデータの損傷の原因になります。なお、雷が近づいてきたら、アンテナ線や電話線、電源コードなどには触れないでください。感電の恐れがあります。

バッテリーパックは誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 指定の充電方法以外では充電しないでください。
- 金属小物(鍵、装飾品など)といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 衝撃を与えないでください。

バッテリーパックから液が漏れて皮膚や衣服に付着したときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 注意

本機で使用しているカバー、キャップ、ネジ、バックアップ電池などを取り外した場合は、小さなお子様が過って飲むことがないよう、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

梱包で使用しているビニール袋で小さなお子様が遊んだりしないよう、小さなお子様の手の届かない安全な所に保管してください。

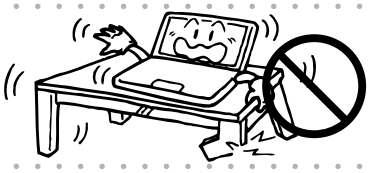
頭からかぶって鼻や口をふさぐと、窒息事故の原因となることがあります。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。

中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。

落ちたりして、けがの原因となることがあります。



目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1時間ごとに10～15分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から40～60cm離して使用してください。

長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れて使用しない。

低温やけどをおこす恐れがあります。また、通風孔およびその周辺は放熱のため熱くなることがありますので、持ち運び時などにはご注意ください。

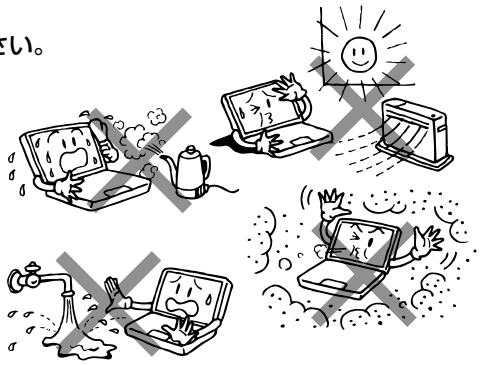
使用上のご注意

設置・保管するときのご注意

本機を次のようなところには設置・保管しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**
- **不安定なところ**



電源コードなどのケーブル類は足などを引っかけないように整理してください

ケーブル類を足などに引っかけたりすると、本機が落下して変形･故障の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

本機を立てて置かないでください。

バランスが崩れて倒れると変形・故障の原因になります。

通風孔をふさがないでください。

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

使用上のご注意

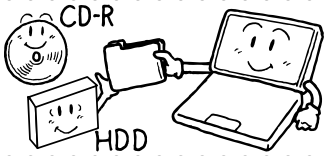
お使いになるときのご注意

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。
破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。
本体およびハードディスクの故障の原因になります。
バッテリーパック交換時など、裏向ける必要がある場合は、衝撃を与えないよう静かに裏向けてください。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的にCD-R/RWや外付けハードディスクドライブなどに保存しておいてください。



ACアダプターおよび電源コードを取り扱う場合は、次のことをお守りください。
発煙、発火、火災の原因になります。

- **落下させたり衝撃を与えない**
- **つけ根部分を無理に曲げない**
- **重いものをのせない**
- **布などでくるまない**
- **保温性のある場所(温風ファンの前やホームこたつ付近など)で使わない**
- **ACアダプターにコードを巻きつけない**
- **コードを結束しない**

本書に記載の場合を除いて、本機のカバーなどを取り外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となることがあります。
取り外すときは、本書に記載の取り外し手順に従ってください。

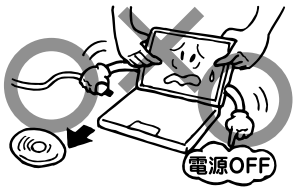
通風孔やスロットなどから本機内部に異物(金属片、液体、燃えやすいものなど)を入れないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴力に悪い影響を与える恐れがあります。
呼びかけられても返事ができるくらいの音量で使いましょう。

ヘッドホンをしたまま電源を入れたり切ったりしないでください。
刺激音により聴力に悪い影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

持ち運ぶときのご注意



本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **CDなどのディスクおよびPCカードなどのカード類を本機から取り出す**
- **電源を切る**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **強い振動や衝撃を与えない**
- **ディスプレイを持たない**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

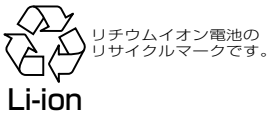
コピーコントロール CD に関するご注意

このパソコンは、CD規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCDの再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細については、ディスクの発売元へお問い合わせ願います。

使用上のご注意

充電式電池のリサイクルご協力のお願い

この商品のバッテリーパックにはリチウムイオン電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

パソコンのリサイクルご協力お願い

ご家庭の使用済パソコンを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。
PC リサイクルマーク（本機底面に貼付）が表示されているシャープ製品は、新たな料金のご負担なしで当社が収集･運搬･再資源化いたします。ご使用済みパソコンを廃棄される場合は、別冊の**お客様サポートシステムのご案内**を参照してください。

PCリサイクルマーク

著作権等に関するご注意

本機種を利用して各種 CD･DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製･編集や複製物･編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

OS のサポートに関するご注意

本機では、プリインストールされている OS（日本語版）のみをサポートしています。

Supported Operating System

The model only supports the pre-installed Japanese language operating system; other operating systems are not supported

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレスLANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等とワイヤレスLANステーション（アクセスポイント）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　メールの内容
　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN ステーション（アクセスポイント）は、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレスLAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレスLAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスLANカードやワイヤレス LAN ステーション（アクセスポイント）をご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレスLANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、パソコンお客様サポートセンターまでお問い合わせください。（別冊の**お客様サポートシステムのご案内**を参照してください）

※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
　また、設定などについては、ご使用の機器のサポート先にお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）の無線 LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN/

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

・データを「ゴミ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化（フォーマット）する
・再インストールして、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンユーザーが、廃棄･譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償) を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的･磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。･

本件に関して詳細は弊社メビウスのホームページ
http://support.sharp.co.jp/mebius/
をご覧になられるか、あるいは下記の窓口にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

●パソコンお客様サポートセンター
（別冊の**お客様サポートシステムのご案内**を参照してください）
●パソコンを購入された販売元

また、本機の廃棄方法については、別冊の**お客様サポートシステムのご案内**を参照してください。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」（以下「本製品」と記載します）にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア（以下「本ソフトウェア」と記載します）をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売元にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社（以下 「弊社」と記載します）は、お客様（法人または個人のいずれであるかを問いません）に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1．著作権

（1） お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

（2） お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。

（3） お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体（フロッピーディスク、CD-ROM等）が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。

2．権利の許諾

（1） 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。

（2） 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料（以下「関連資料」と記載します）の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3．制限事項

（1） お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。

（2） お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。

（3） お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記（2）に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。

（4） お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。

4．本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i） お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

ii） 譲受人が本契約に同意していること。

5．限定保証

（1） 弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2） 上記(1)にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後１年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3） 本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売元に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6．責任の制限

（1） 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2） いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7．契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記８．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8．契約の終了

（1） お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2） 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3） 上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4） お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9．その他

（1） お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2） 本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報通信事業本部
〒639-1186
奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買いあげの販売元までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

商標、登録商標

- Microsoft 、Windows、Office ロゴ、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- AMD、AMD Athlon、ならびにその組み合わせ、AMD PowerNow!、QuantiSpeed は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- ProSavage8 は、S3 Graphics 社の商標です。
  S3 は、S3 Graphics 社にライセンスされた商標です。
- PowerQuest は、PowerQuest Corporation の登録商標です。
  EasyRestore は、PowerQuest Corporation の商標です。
- Drag'n Drop は、株式会社デジオンおよびイージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
- 安心楽々は、イージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
- CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの商標です。
  CyberSupportは株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupportにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。
- @nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
- ODN は、日本テレコム株式会社の登録商標です。
- BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。
- OCN は、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Powered Internet [POINT]は株式会社パワードコムの商標です。
- ドットフォンは、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れた後は、操作したい内容の章からお読みください。

操作のしかたを確かめよう［基本編］

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。AC アダプタ ーを外して使用するときは、「パソコンをバッテリーで使う」を必ずお読みください。

通信機能を使ってみよう［通信編］

ネットワークに接続したい、というときにお読みください。ケーブルやワイヤレスLANを使ったネットワーク接続など、いろいろな方法があります。

周辺機器を接続しよう［周辺機器編］

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。プリンターに接続して印刷したり、PC カードなどを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

困ったときは

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。

付録

セットアップユーティリティの設定内容やパソコンに関する補足情報などについて紹介しています。また「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。
また、複数のキーを同時に押すときは、「＋」でつないで表記しています。
例）Fn ＋ F7 (▲☼)

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン(OK など)は、[　]で囲んで表記しています。
例）[OK] をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。
例）• 「コントロールパネル」をクリックします。
• 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲み、小文字で表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。
例）**c:￥mnmanual￥sample.bmp** と入力します。

コントロールパネルの表示について

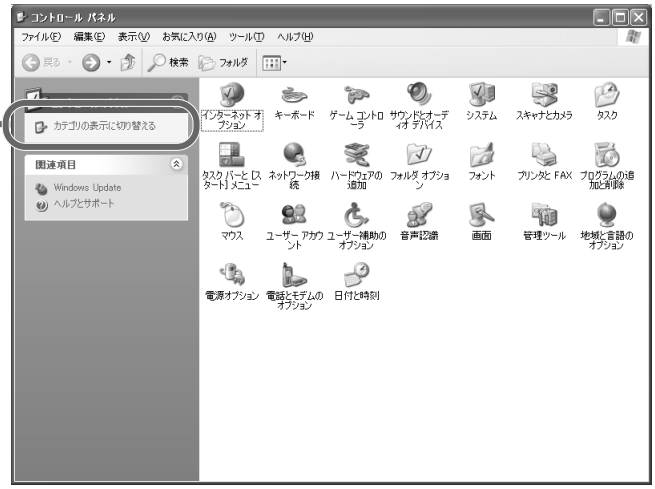
コントロールパネルの表示にはカテゴリの表示とクラシック表示があります。
この説明書では、カテゴリの表示で説明しています。

「カテゴリの表示」画面

ここをクリックすると「クラシック表示」画面に切り替わります。

「クラシック表示」画面

ここをクリックすると「カテゴリの表示」画面に切り替わります。



※ 画面は一例です。表示されるアイコンの種類や数は実際の画面と異なる場合があります。

はじめに 14
この説明書の読み方 16
・この説明書の表記方法 17

基本編（操作のしかたを確かめよう）

各部の名称 24
電源の入れ方・切り方 28
・電源を入れる 28
・電源を切る 30
パッド型ポインティングデバイスを使う 31
・パッド部とボタンで操作する 32
・パッド部だけで操作する 33
・画面をスクロールする 34
キーボードを使う 35
・文字を入力する 35
・特定の機能を働かせる 37
パソコンをバッテリーで使う 39
・バッテリーパックを充電する 39
・バッテリーの残量を確かめる 40
・バッテリー切れを警告するタイミングや動作を設定する 41
・バッテリーパックを初期化する 42
・バッテリーパックを交換する 43
消費電力を節約する 45
・CPU の速さを調節して消費電力を節約する 45
・操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る 46
・操作しないときスタンバイまたは休止状態にする 47
・今すぐスタンバイまたは休止状態にする 48
音量を調節する 50
ディスプレイの表示を変える 52
・明るさを変える 52
・解像度や色数を変える 52
CD・DVD を使う 54
・使用可能なディスク 54
・ディスクをセットする／取り出す 55
・CD-R ／ CD-RW にデータを書き込む 57
・DVD±R ／ DVD±RW にデータを書き込む 57
・ディスクの取り扱い 58

フロッピーディスクを使う 60
・フロッピーディスクドライブを接続する 61
・フロッピーディスクドライブを取り外す 61
・フロッピーディスクに保存する 62
・フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する 63
・フロッピーディスクの取り扱い 64
DirectHD 機能を使う 65
・DirectHD 機能を使ってできること 65
・ホスト PC と接続する前に 66
・DirectHD 状態表示ランプについて 68
・ホスト PC と接続する 68
・ホスト PC との接続を終了する 71
・使用できる人を制限する 73
・ホスト PC のデータをこのパソコンに引越しする 75

通信編（通信機能を使ってみよう）

電話回線に接続する 80
ネットワークに接続する（LAN） 83
・パソコンをネットワークに接続する 83
・LAN ケーブルを取り外す 86
・ネットワークを設定する 87
・このパソコンから他のパソコンのデータを見えるようにする 91

周辺機器編（周辺機器を接続しよう）

接続できる機器を確かめる 94
・使える周辺機器を確かめる 94
・コネクターの形状を確かめる 94
USB 機器を使う 96
・USB 機器を接続する 96
・USB 機器を取り外す 97
プリンターで印刷する 98
・プリンターを接続する 98
・プリンタードライバーをインストールする 98
外部ディスプレイに表示する 100
・CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する 100
・ディスプレイドライバーをインストールする 101
・画面の表示先を切り替える 101
・外部ディスプレイの解像度を変える 103
・CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す 103

オーディオ機器を接続する 104
・ヘッドホンを接続する 104
・外部スピーカーを接続する 104
・オーディオ機器にアナログ音声を出力する 105
外部マイクから音声を入力する 106
PC カードを使う 107
・PC カードを差し込む 107
・PC カードを取り出す 108
メモリーを増設する 110
・増設 RAM ボードを取り付ける／取り外す 110
・メモリーの容量を確認する 113

困ったときは

故障かな？と思ったら 116
・Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル 117
・画面表示に関するトラブル 118
・キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル 118
・フロッピーディスクに関するトラブル 119
・CD・DVD に関するトラブル 119
・DirectHD に関するトラブル 120
・通信に関するトラブル 122
・その他のトラブル 122
ご購入時の状態に戻す（再インストール） 124
・再インストールの種類 125
・再インストールの準備をする 126
・HDD から再インストールする 129
・リカバリ CD から再インストールする 139

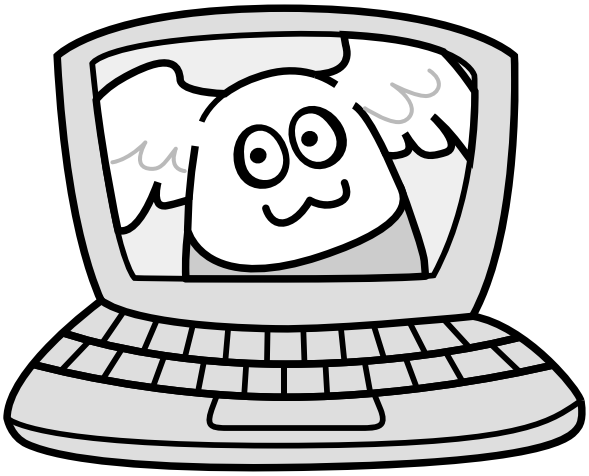
付録

セットアップユーティリティ 154
・設定内容を変更する 154
・Main メニュー 156
・Advanced メニュー 157
・Security メニュー 158
・Exit メニュー 158
パスワードを設定して使用できる人を制限する 160
・パスワードを登録する 160
・パスワードを登録したパソコンを起動する 161
・パスワードを変更する／削除する 161
盗難を防止する 162
パソコンのお手入れ 163
バックアップ電池を交換する 164
仕様一覧 168
・周辺機器（別売品） 169
さくいん 170

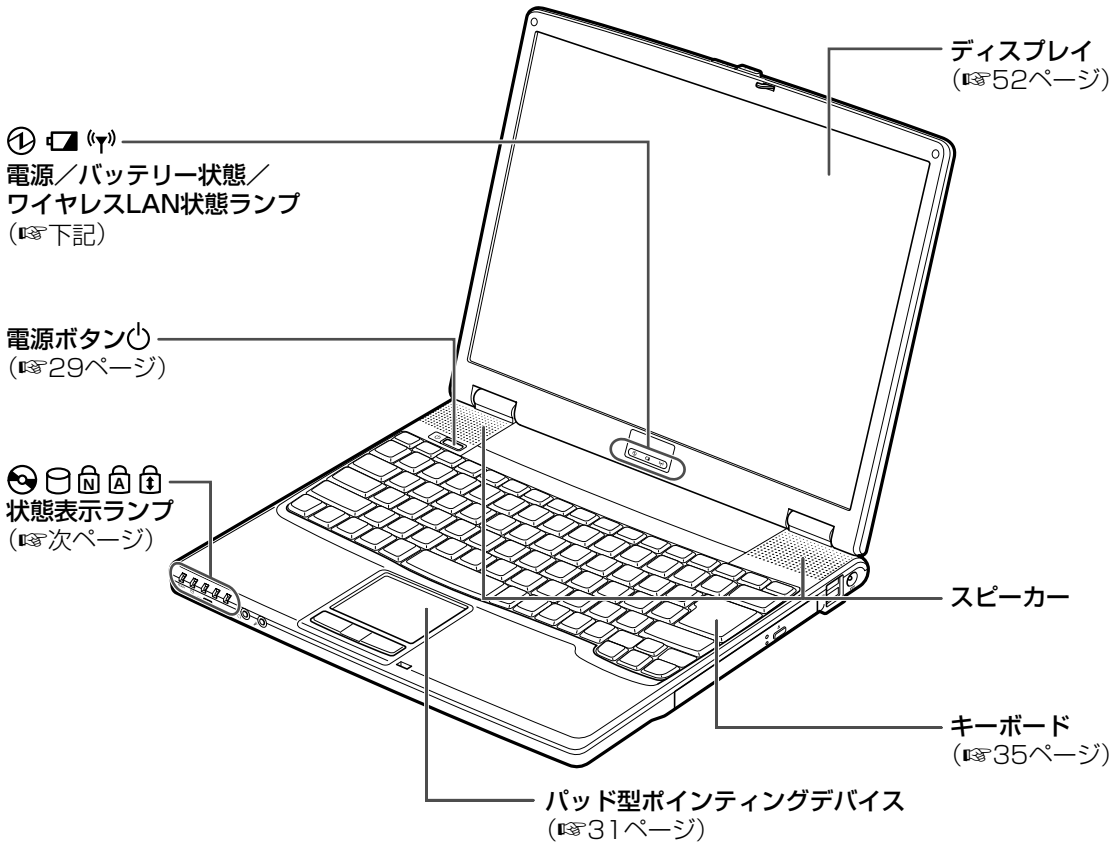
基本編

操作のしかたを確かめよう

バッテリーやキーボードの使い方、ディスプレイの調整など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

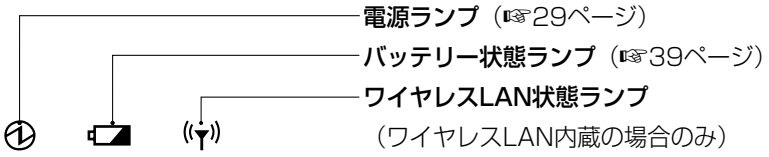


各部の名称



電源 ／バッテリー状態／ワイヤレス LAN 状態ランプ

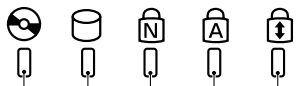
電源のオン／オフ、バッテリーの充電状態、ワイヤレスLANのアンテナの有効／無効がわかります。



電源ランプ	緑点灯	電源が入っている。
	緑点滅	スタンバイ状態。
	消灯	休止状態または電源が切れている。
バッテリー状態ランプ	**ACアダプターを接続しているとき**	
	緑点灯	バッテリーが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリーを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリーの充電が正常に終了しなかった。 （☞39 ページ）
	ACアダプターを接続していないとき（電源オン状態）	
	赤点滅	バッテリー残量が非常に少ない。 同時に警告音が鳴ります。
	消灯	バッテリー残量がある。
	ACアダプターを接続していないとき（電源オフ状態）	
	消灯	常に消灯状態になります。
ワイヤレス LAN 状態ランプ（ワイヤレス LAN 内蔵の場合のみ）		
	緑点灯	アンテナが有効になっている。
	消灯	アンテナが無効になっている。

状態表示ランプ

CD/DVD ドライブ、ハードディスクドライブへアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

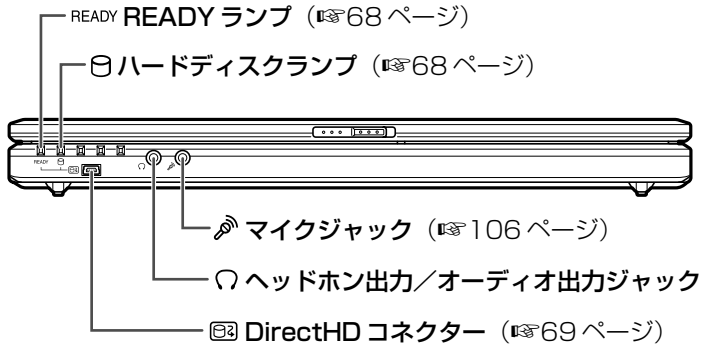


Scroll Lockランプ（☞37ページ）
Caps Lockランプ（☞36ページ）
Num Lockランプ（☞35ページ）
ハードディスクランプ
CD/DVDランプ（☞55ページ）

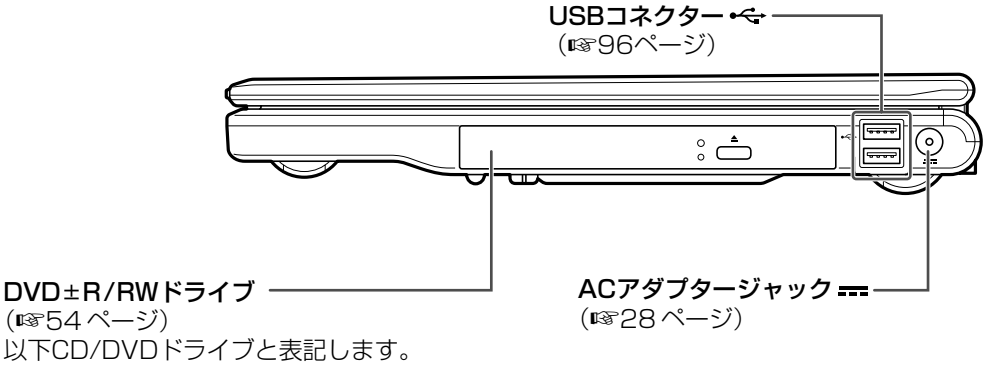
ご注意

- 、ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり、破壊されることがあります。

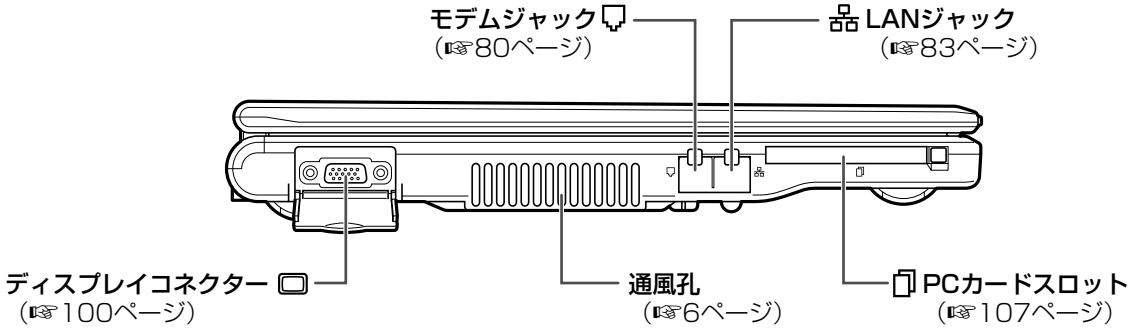
前面


READY READYランプ（☞68ページ）
ハードディスクランプ（☞68ページ）
マイクジャック（☞106ページ）
ヘッドホン出力／オーディオ出力ジャック（☞104ページ）
DirectHDコネクター（☞69ページ）

右側面


USBコネクター
（☞96ページ）
DVD±R/RWドライブ
（☞54ページ）
以下CD/DVDドライブと表記します。
ACアダプタージャック
（☞28ページ）

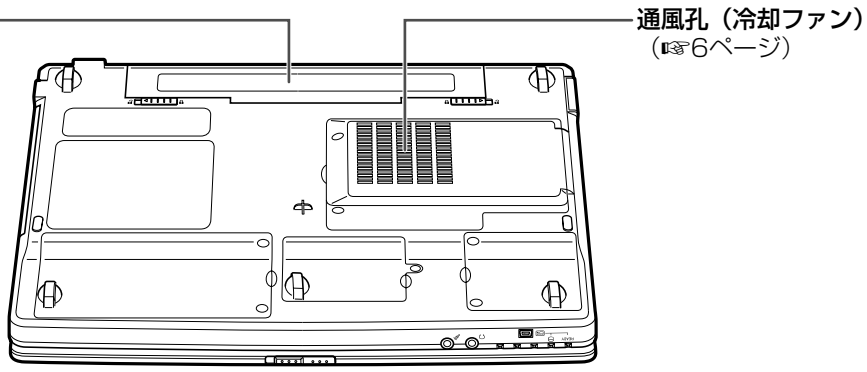
左側面


モデムジャック
（☞80ページ）
LANジャック
（☞83ページ）
ディスプレイコネクター
（☞100ページ）
通風孔
（☞6ページ）
PCカードスロット
（☞107ページ）

後面

USBコネクター
（☞96ページ）
盗難防止ホール
（☞162ページ）

底面


バッテリーパック
（☞39ページ）
通風孔（冷却ファン）
（☞6ページ）

電源の入れ方・切り方

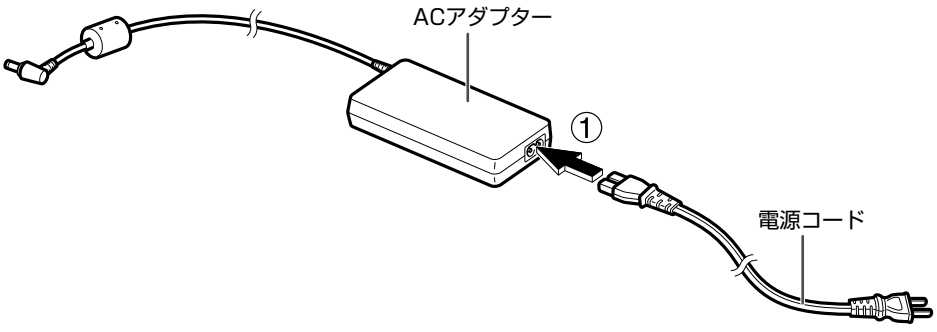
基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」（別冊）を参照してください。

電源を入れる

1 **パソコンを電源コンセントに接続します。**

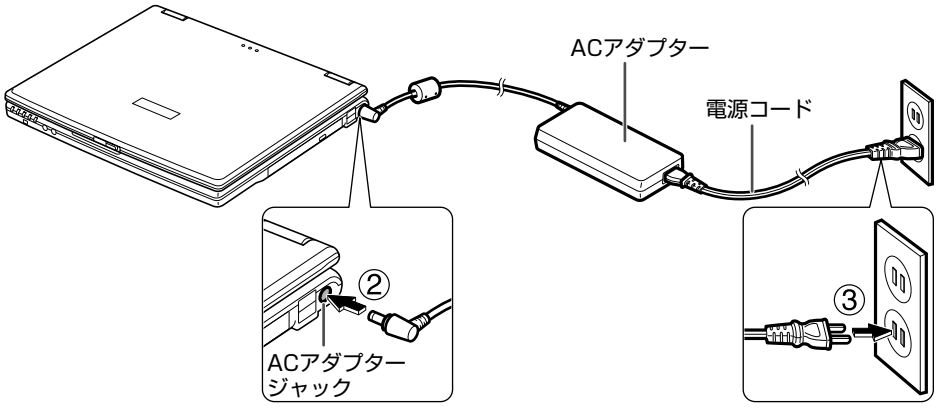
下図のように、付属の電源コードと AC アダプターを使って接続します。

① 電源コードを、AC アダプターに接続します。



② ACアダプターのコネクターを、パソコンのACアダプタージャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。



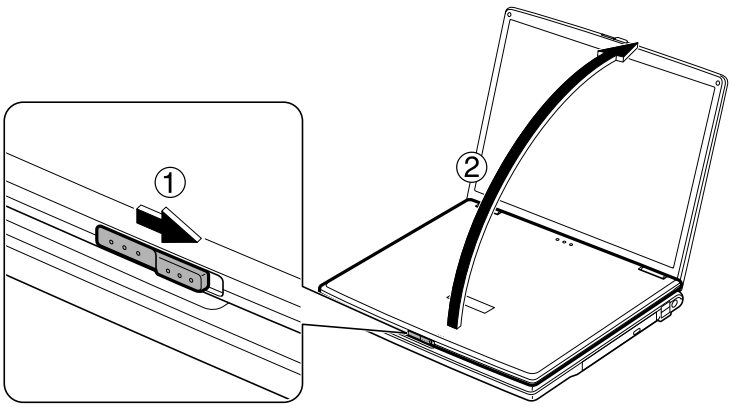
ご注意

- ①②③ の各接続部はしっかりと奥まで差し込んでください。
- ACアダプター（EA-RJ2V）および電源コードは、必ずこのパソコンの付属品を使用してください。付属品以外のものを使用すると、故障の原因になります。

2 **ディスプレイを開きます。**

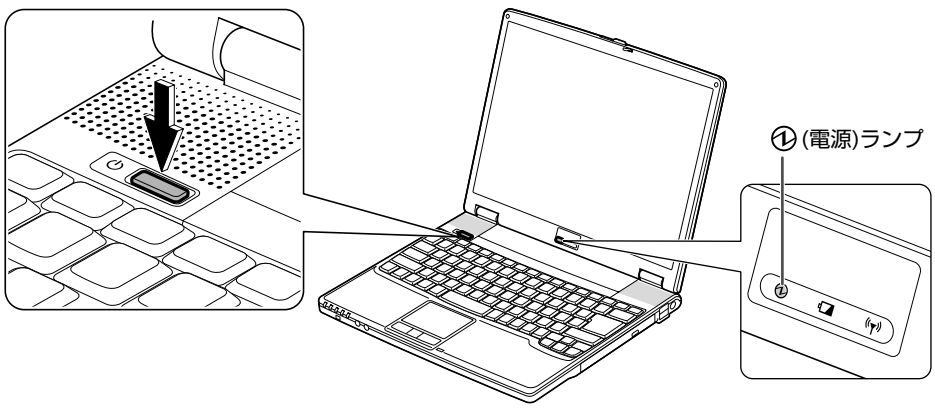
① レバーを右側へスライドします。

② レバーをスライドさせた状態で、ディスプレイをゆっくりと開きます。



3 **電源ボタンを押します。**

⏻（電源）ランプが緑色に点灯し、Windows が起動します。



ご注意

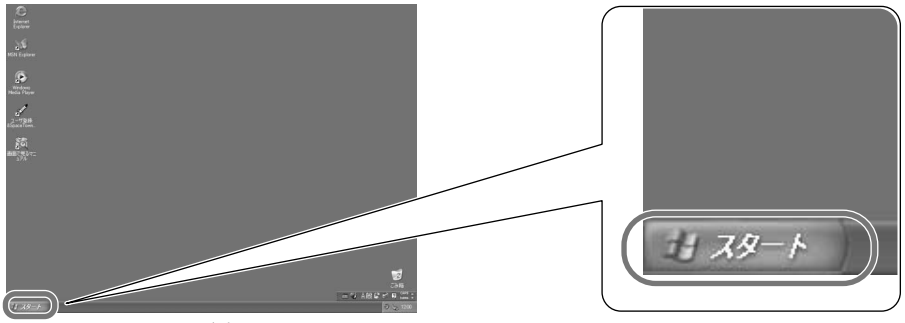
- 電源を入れてパソコンが起動するまでは、必要なとき以外はキーボードやポインティングデバイスに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。

ご参考

- 複数のユーザーアカウントが設定されているときは、ようこそ画面で使用するユーザーアカウントをクリックして選択してください。
- 一定時間パソコンを操作しないでいると、節電機能が働いて画面の表示が消えます。何らかのキーを押すか、パッド型ポインティングデバイスを操作すると、再び表示されます。

電源を切る

1 **[スタート] をクリックします。**



スタートメニューが表示されます。

2 **「終了オプション」をクリックします。**

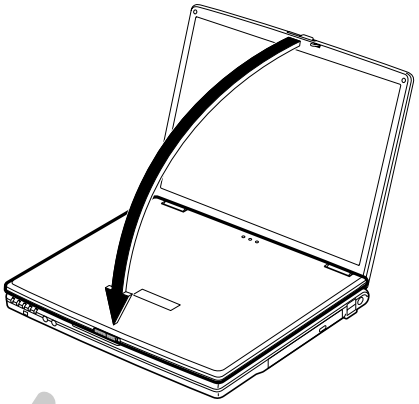
3 **「電源を切る」をクリックします。**

パソコンの電源が切れ、⏻ ランプが消えます。

ご参考

- 「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています」と表示されたときは、[いいえ] をクリックし、ほかのユーザーアカウントの作業を終了してください。

4 **⏻ ランプが消えていることを確認後、「カチッ」と音がするまでディスプレイをゆっくりと閉じます。**

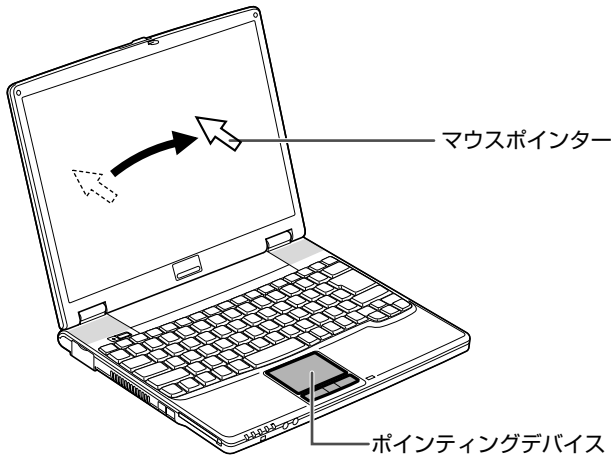


ご注意

- 再び電源を入れるときは、必ず10秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows では、ポインティングデバイスで画面操作ができます。
初めはマウスポインター( )が思いどおりに動かないものですが、ゆっくり操作しながら慣れましょう。



ご注意

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの(シャープペンやボールペンの先)で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインターが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

USB マウス接続時もパッド型ポインティングデバイスを有効にするには

- ご購入時の設定では、USBマウスを接続すると、パッド型ポインティングデバイスは動作しません。USBマウス接続時もパッド型ポインティングデバイスを使用したい場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。
  ① [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ②「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
  「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。(**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ)
  ③「マウス」をクリックします。
  「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
  ④「デバイス設定」タブをクリックします。
  ⑤ [使用] をクリックします。
  ⑥ [OK] をクリックして「マウスのプロパティ」画面を閉じます。
  ⑦ 画面右上の ☒ をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。

パッド部とボタンで操作する

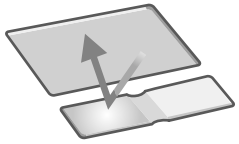
ポイントする

マウスポインター（矢印マーク）を目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

クリックする

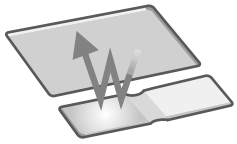
画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。



マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

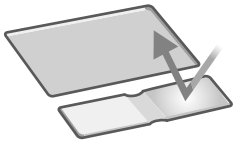
ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。



マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチカチッ」と 2 回押します。

右クリックする

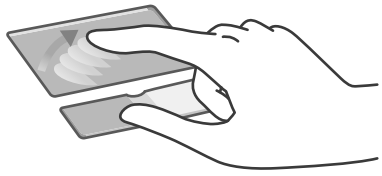
関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。



マウスポインターの位置を確かめて、右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

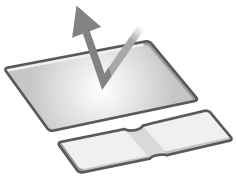


マウスポインターの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする）。
人差し指はそのあとゆっくり離してかまいません。
一連の動作をドラッグ& ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

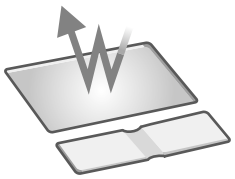
左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする



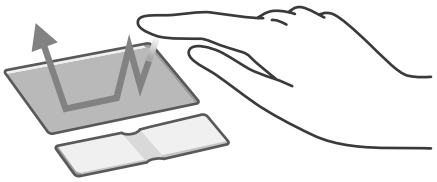
マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トン」と1回たたきます。

ダブルクリックする



マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたきます。

ドラッグする



マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ&ドロップと呼びます。

画面をスクロールする

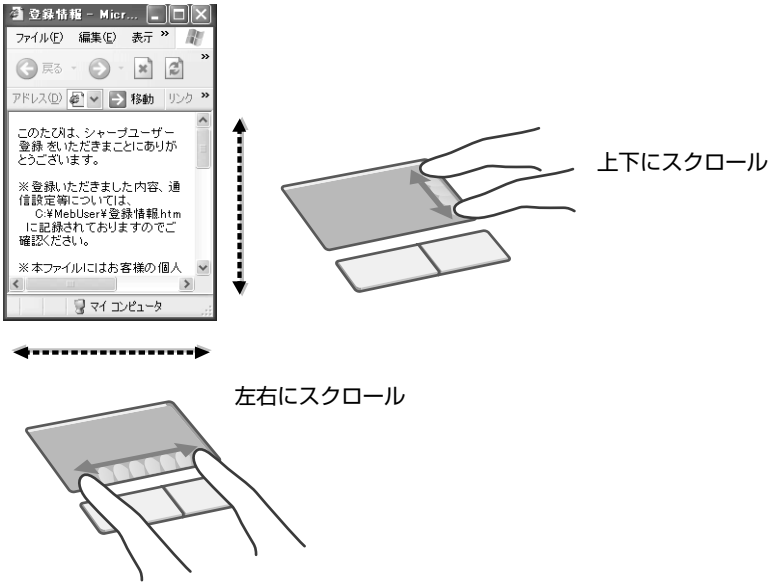
パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。



その他の機能の確認や設定は

- 「マウスのプロパティ」画面を参照してください。画面を表示するには、以下の手順に従って操作してください。
  ①［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ②「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
  「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）
  ③「マウス」をクリックします。

キーボードを使う

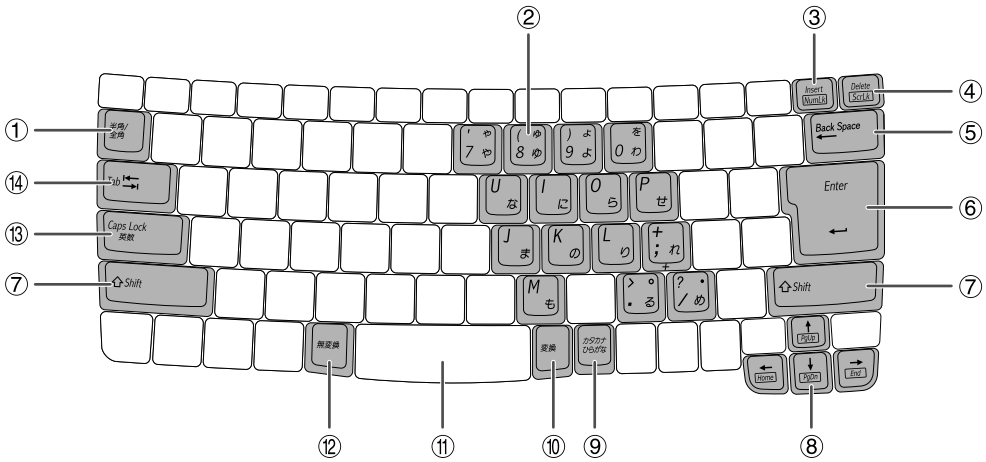
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーをまとめて紹介します。

ご参考

- Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、 下記のものを参照してください。
  ・[スタート]をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
  ・Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
  ・お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。



① **半角 / 全角・漢字 キー**
日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。（ご購入時の設定）

② **数字キーブロック**
数字キーロックモード時、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。

③ **Insert（インサート）キー**
文字を入力するときに、挿入するか、上書きするかを切り替えます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

NumLk（数字キーロック）キー
Fn キーを押しながら Insert（NumLk）キーを押すと、N（Num Lock）ランプが点灯し、数字キーロックモードになります。このとき数字キーブロックで、数字と演算記号（青色刻印）が入力できます。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら Insert（NumLk）キーを押します。

④ **Delete（デリート）キー**
カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ **Back Space（バックスペース）キー**
カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ **Enter（エンター）キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ **Shift（シフト）キー**
Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ **（カーソル）キー**
カーソルを上下左右に移動します。

⑨ **カタカナ・ひらがな・ローマ字** キー
日本語入力システムがオンのときは、**Alt** キーを押しながら
カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、**Shift** キーを押しながら
カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、**カタカナ・ひらがな・ローマ字** キーだけを押します。

⑩ **変換 キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 **変換** キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **スペースキー**
スペース（空白）を入力します。

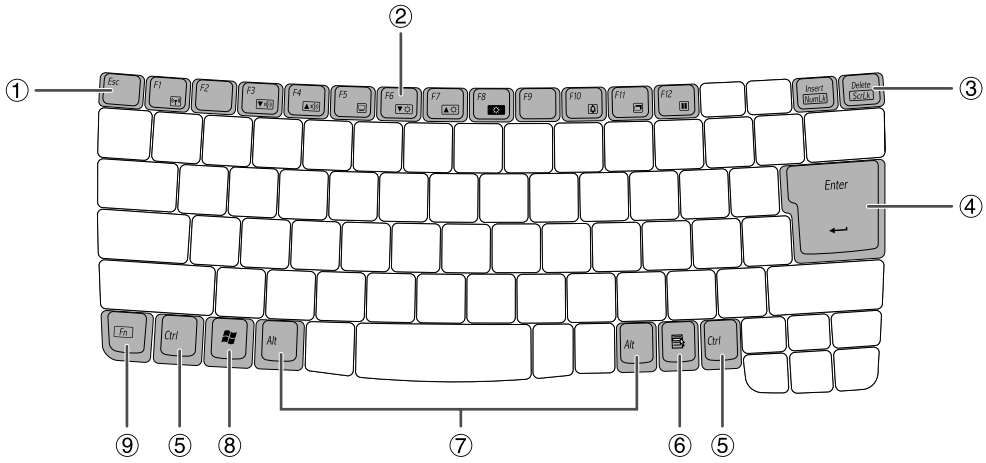
⑫ **無変換 キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

⑬ **Caps Lock・英数 キー**
Shift キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押すと、 (Caps Lock)ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 **Shift** キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに **Caps Lock・英数** キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ **Tab**（タブ）キー
タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、**Fn** や **Ctrl** キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。



① **Esc**（エスケープ）キー
現在の操作を取り消して、1 つ前の操作に戻るときなどに押します。

② **F1** ～ **F12**（ファンクション 1 ～ 12）キー
使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ **Delete**（デリート）キー
選択したファイルやアイコンなどを削除します。

ScrLk（スクロールロック）キー
Fn キーを押しながら **Delete**（**ScrLk**）キーを押すと、（Scroll Lock）ランプが点灯し、スクロールロックモードになります。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。モードを解除するには、もう一度 **Fn** キーを押しながら **Delete**（**ScrLk**）キーを押します。

④ **Enter**（エンター）キー
設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ **Ctrl**（コントロール）キー
Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

⑥ **（アプリケーション）キー**

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑦ **Alt（オルト）キー**

Alt キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。**Alt** キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑧ **（Windows）キー**

Windows の「スタート」メニューを表示します。

⑨ **Fn**（ファンクション）キー

Fn キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は、次のとおりです。

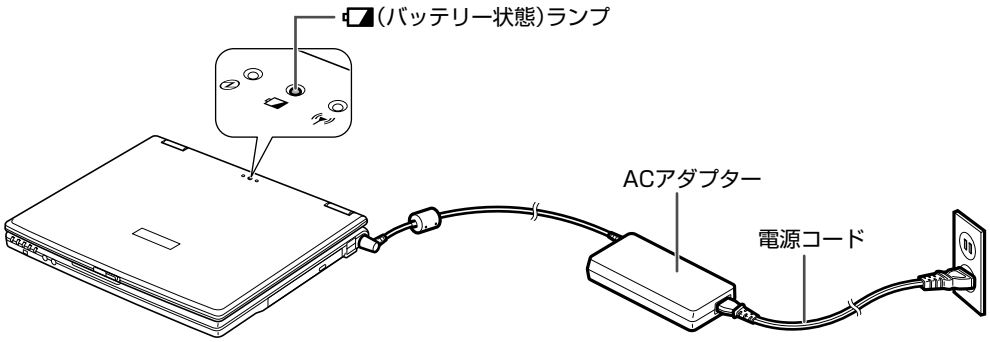
- **Fn** ＋ **F1**（ ）：内蔵のワイヤレスLANのアンテナの有効／無効を切り替えます。（ワイヤレス LAN 内蔵の場合のみ）
- **Fn** ＋ **F3**（ ）：音量を下げます。
- **Fn** ＋ **F4**（ ）：音量を上げます。
- **Fn** ＋ **F5**（ ）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。
- **Fn** ＋ **F6**（ ）：内蔵ディスプレイを暗くします。
- **Fn** ＋ **F7**（ ）：内蔵ディスプレイを明るくします。
- **Fn** ＋ **F8**（ ）：内蔵ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさにもどります。
- **Fn** ＋ **F10**（ ）：バッテリーパックの残量がわずかになったときに鳴る警告音を止めます。（この警告音はパソコン自体の機能です。Windowsで設定する短い警告音は止まりません。）
- **Fn** ＋ **F11**（ ）：ディスプレイのオン／オフを切り替えます。
- **Fn** ＋ **F12**（ ）：パソコンをスタンバイ、休止状態または電源オフにします。

パソコンをバッテリーで使う

ACアダプターを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリーパックから供給されます。
バッテリーパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリー切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプターを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。



充電中の状態は

(バッテリー状態) ランプで確認できます。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ご参考

- バッテリーを充電しながらパソコンを使用中、CPUが多くの処理をしているときや周辺機器を使ったために電力消費が大きくなった場合に、 ランプ(オレンジ色)が消えることがありますが、故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がり過ぎた場合にも、安全のため充電が一時中止され、 ランプ(オレンジ色)が消えます。バッテリーパックの温度が下がると充電が再開されます。
- ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、いったん、AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、バッテリーパックを装着し直してから、再度 AC アダプターを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリーパックまたはパソコンの充電回路の異常が考えられます。点検を依頼してください。

充電時間および満充電時の使用時間は

仕様一覧 (☞168 ページ) の「バッテリー充電時間」および「バッテリー駆動時間」を参照してください。

バッテリーの残量を確かめる

バッテリーの残量は画面で確認できます。

バッテリーの残量を画面で確認する

タスクバーの ( ) の上に、マウスポインターを移動します。
バッテリーの残量がパーセント表示されます。

：AC アダプターを外して、バッテリーで使用しているとき
：AC アダプターを接続して使用しているとき（バッテリーは充電中）
：AC アダプターを接続して使用しているとき（バッテリーは満充電）
このときは、バッテリーの残量は表示されず、「AC 電源オン」と表示されます。

(、) をダブルクリックして、「バッテリメーター」画面で確認することもできます。

ご参考

- バッテリーの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- スタンバイまたは休止状態から復帰したとき、およびACアダプターを抜き差ししたときは、しばらく残量が正しく表示されないことがあります。
- バッテリーの残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときは、バッテリーパックを初期化してください。（☞42 ページ）

タスクバーに (、) が表示されていないときは

次のように操作して、表示させてください。

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

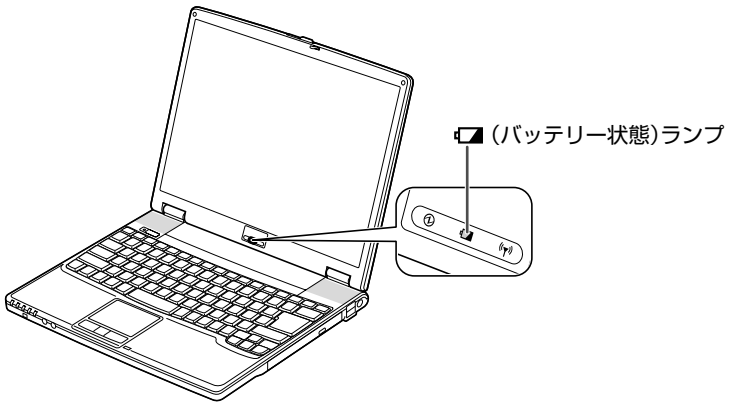
3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 「詳細設定」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

5 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

バッテリー切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。（アラーム設定）



ご注意

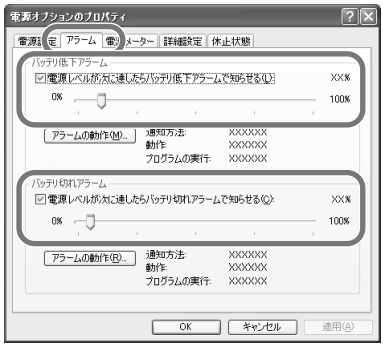
- バッテリー残量がわずかになると、アラーム設定の内容にかかわりなく、 ランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプターを接続してください。そのまま使い続けると、パソコンの電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。警告音は、Fn + F10（ ）キーで止まります。

1 [スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞18 ページ）

3 「電源オプション」をクリックします。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

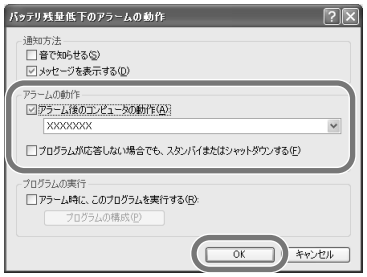
4 「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。



「バッテリ低下アラーム」：「バッテリ切れアラーム」より大きい値に設定してください。
「バッテリ切れアラーム」： 5%以上の値に設定してください。

5 それぞれの項目の［アラームの動作］をクリックします。
「バッテリ残量低下のアラームの動作」または「バッテリ切れのアラームの動作」画面が表示されます。

6 「アラーム後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、［OK］をクリックします。



7 ［OK］をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

バッテリーパックを初期化する

バッテリー残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときや、新しいバッテリーパックと交換したときは、以下の手順でバッテリーパックを初期化してください。

1 AC アダプターを接続して、満充電になるまで充電します。
満充電になると、 ランプが緑色に点灯します。

2 パソコンの電源を入れます。

3 「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されている間に、F2 キーを押します。
セットアップユーティリティ画面が表示されます。

4 ACアダプターを外し、バッテリーの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。
満充電からバッテリーの残量が完全になくなるまで約 1.5 時間かかります。

5 **AC アダプターを接続して、満充電になるまで充電します。**

約 4 時間かかります。

ランプが緑色に点灯して満充電になるまでパソコンの電源は入れないでください。

ご参考

- バッテリーパックは消耗品です。充放電をくり返すうちにバッテリーが劣化し、使用時間が極端に短くなります(常温で約300回が目安です)。バッテリーの劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーパックと交換してください。

バッテリーパックを交換する

バッテリーで長時間使用するときなどは、予備のバッテリーパックを準備して交換することもできます。

新しいバッテリーパックをお求めのときは

パソコンをお買いあげの販売元またはパソコン修理相談センター(**お客様サポートシステムのご案内**☞別冊)にお問い合わせください。ただし、販売元によってはお取り扱いがない場合もあります。

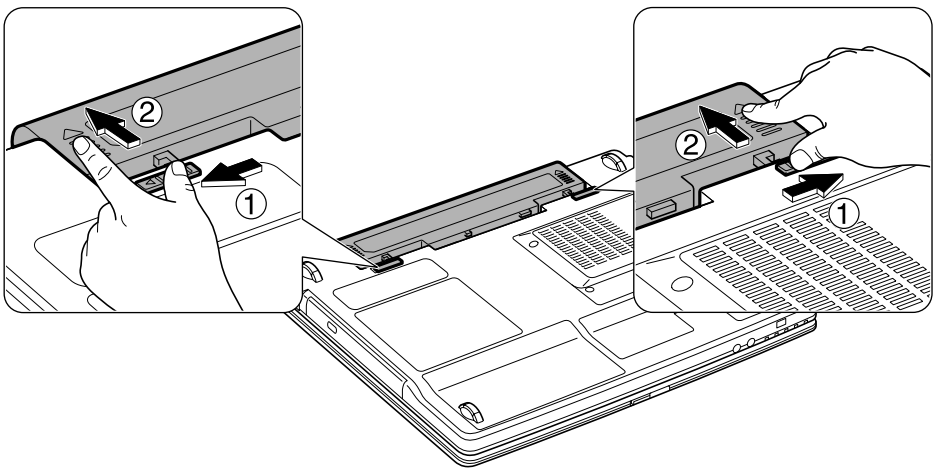
1 **パソコンの電源を切り、AC アダプターを外します。**

2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

3 **バッテリーパックを取り外します。**

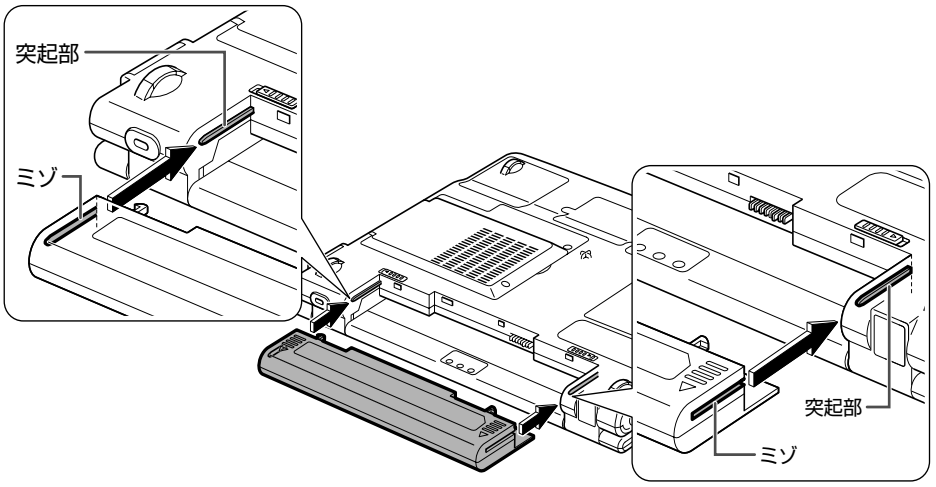
① レバーを外側へスライドします。

② レバーをスライドさせた状態で、バッテリーパックを押します。

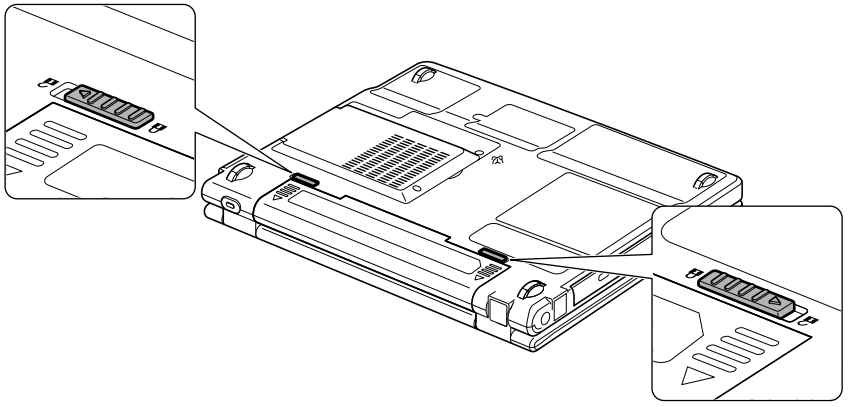


4 **新しいバッテリーパックを取り付けます。**

① バッテリーパックのミゾをパソコンの突起部に合わせて差し込みます。



② バッテリーパックが正しく差し込まれると、「カチッ」と音がし、レバーが完全に元に戻ります。



消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「パフォーマンスとメンテナンス」の「電源オプション」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプターで使用しているときと、バッテリーで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

CPU の速さを調節して消費電力を節約する

このパソコンには、AMD PowerNow!テクノロジが搭載されています。この機能を使うと、パソコンが AC アダプターで動作しているときと、バッテリーで動作しているときとで CPU（中央演算ユニット）の処理速度を調節して、CPUで消費する電力を節約することができます。

ご注意

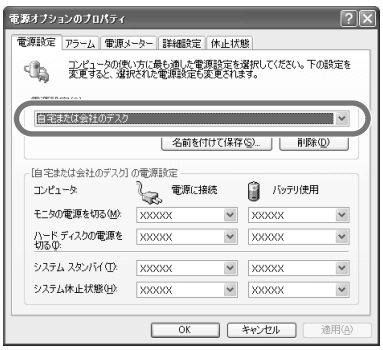
- 通信中やデータを読み書きしているときは、CPUの処理速度を「常に最高の処理速度で動作」に設定してください。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞18 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「電源設定」欄で、CPU の処理速度を設定します。**
次ページの表を参考にお好みの処理方法に設定してください。通常はご購入時の状態のまま「自宅または会社のデスク」をお使いください。



5 **［OK］をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

6 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

「電源設定」欄の設定項目	（上段）ACアダプターで動作時 （下段）バッテリーで動作時
自宅または会社のデスク	常に最高の処理速度で動作 CPU利用状況に応じて処理速度を制御
ポータブル／ラップトップ	CPU利用状況に応じて処理速度を制御 CPU利用状況に応じて処理速度を制御
プレゼンテーション	CPU利用状況に応じて処理速度を制御 常に最低の処理速度で動作
常にオン	常に最高の処理速度で動作 常に最高の処理速度で動作
最小の電源管理	CPU利用状況に応じて処理速度を制御 CPU利用状況に応じて処理速度を制御
バッテリの最大利用	CPU利用状況に応じて処理速度を制御 常に最低の処理速度で動作

ご参考

- 設定項目は、上記以外の名前に変えて保存することができます。名前を変えたい設定項目を選択し、[名前を付けて保存]をクリックしてください。「電源設定の保存」画面が表示されますので、保存名を入力して［OK］をクリックしてください。
- USB接続のスピーカーやヘッドホンで音声にノイズが発生するときは、「常に最高の処理速度で動作」を選択してください。

ご注意

- 設定項目は必要に応じて削除することができますが、いったん削除してしまうと再インストール（ご購入時の状態に戻す）以外の方法で復帰できません。誤って削除しないように注意してください。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。**

「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

5 **[OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

6 **画面右上の ✕ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

操作しないときスタンバイまたは休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

スタンバイ　現在の状態をメモリーに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。スタンバイに移行すると、⏻（電源）ランプが緑点滅します。操作を再開すると、元の状態に復帰します。

休止状態　現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。休止状態に移行すると、⏻ ランプが消灯します。電源ボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご注意

- スタンバイおよび休止状態へ移行または復帰する際には、誤動作やデータの損失を防ぐため、必ず次の事項を守ってください。
  - ・移行するときは、通信、印刷、および動画や音楽の再生は、いったん終了してください。
  - ・移行または復帰中に、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
  - ・スタンバイは現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイのまま放置してバッテリーが切れると、データが消えてしまいます。

ご参考

- 復帰後にようこそ画面が表示されたときは、使用するユーザーアカウントをクリックしてください。

スタンバイまたは休止状態になるまでの時間を設定する

1 **[スタート] をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**
「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（コントロールパネルの表示について ☞18 ページ）

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「システムスタンバイ」と「システム休止状態」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。**

5 **[OK] をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

6 **画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

今すぐスタンバイまたは休止状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしておくことができます。

「コンピュータの電源を切る」画面でスタンバイまたは休止状態にする

1 **[スタート] をクリックし、「終了オプション」をクリックします。**
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

2 **スタンバイにするときは、「スタンバイ」をクリックします。**

Shift キーを押すと「スタンバイ」が「休止状態」に変わります。
休止状態にするときは、 **Shift** キーを押しながら「休止状態」をクリックしてください。

特定の操作でスタンバイまたは休止状態にする

「電源オプションのプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

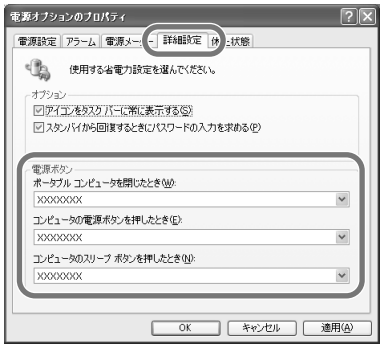
- ディスプレイを閉じる
- 電源ボタンを押す
- Fn ＋ F12 (⏸) キーを押す

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**

3 **「電源オプション」をクリックします。**
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **「詳細設定」タブをクリックし、必要な項目を設定します。**



「ポータブルコンピュータを閉じたとき」:
ディスプレイを閉じたときの動作を、何もしない／スタンバイ／休止状態から選択します。

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」:
電源ボタンを押したときの動作を、何もしない／入力を求める／スタンバイ／休止状態／シャットダウンから選択します。

「コンピュータのスリープボタンを押したとき」:
Fn ＋ F12 (⏸) キーを押したときの動作を、何もしない／入力を求める／スタンバイ／休止状態／シャットダウンから選択します。

5 **［OK］をクリックして「電源オプションのプロパティ」画面を閉じます。**

6 **画面右上の ✕ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。**

「入力を求める」を選択したときは

- 手順**4**で「入力を求める」を選択したときは、電源ボタンまたは Fn ＋ F12 (⏸) キーを押すと、「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

音量を調節する

パソコンのスピーカーやヘッドホン出力／オーディオ出力ジャックの音量を調節する方法について説明します。

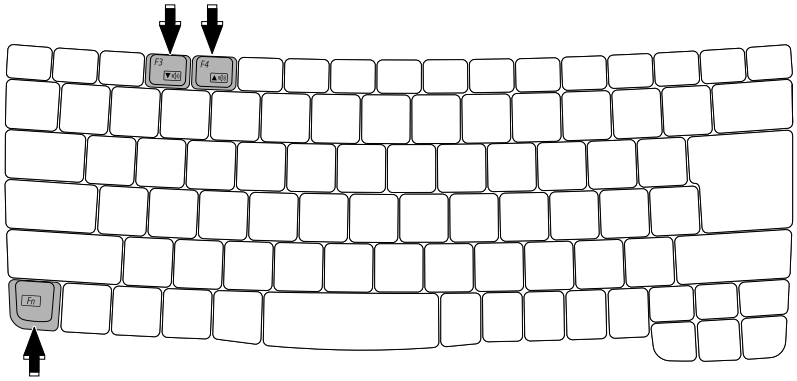
ご参考

- キーボード操作での音量調節と Windows での音量調節は連動しています。
- 音量を最大にすると、スピーカーの音割れが発生する場合がありますので、音量を調節してください。

キーボード操作で調節する

Fn キーを押しながらファンクションキーの F3（▼）または F4（▲）キーを押して、調節します。

Fn ＋ F3（▼）：音量を下げます。
Fn ＋ F4（▲）：音量を上げます。



Windows で調節する

1 **タスクバーの をクリックします。**
音量を調節する画面が表示されます。

タスクバーに が表示されていないときは

- タスクバーに表示されるアイコンが多くなると、自動的に隠れることがあります。そのときはタスクバーの をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

2 **音量つまみを上下にドラッグして音量を調節します。**

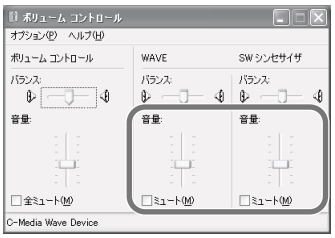
3 **音量を調節する画面以外のところをクリックします。**
音量を調節する画面が閉じます。

その他の音量調節

- ボリュームコントロールで調節する。

① タスクバーの をダブルクリックします。
「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

② 再生する音声に応じた音量つまみを上下にドラッグして調節します。



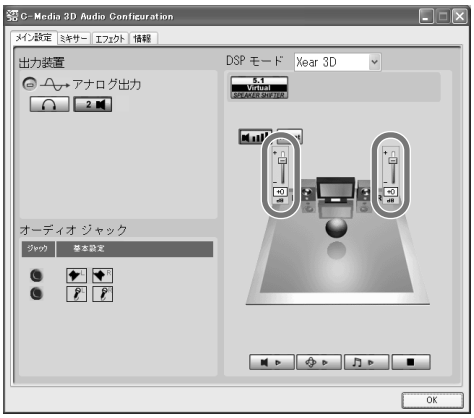
WAVE 再生時　：「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時　：「SW シンセサイザ」の音量を調節します。

- C-Media 3D Audio Configuration で調節する。

① タスクバーの をクリックします。
「C-Media 3D Audio Configuration」画面が表示されます。

②「メイン設定」欄でデジタルボリューム をクリックします。

③ 左右の音量つまみを上下にドラッグして調節します。



④ [OK] をクリックします。

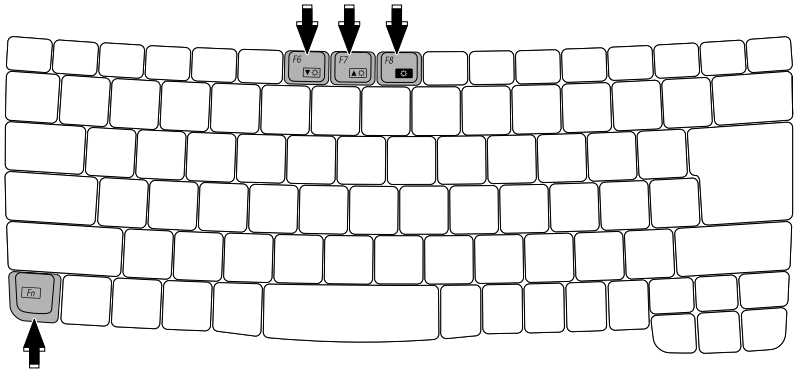
ディスプレイの表示を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や色数を変えることもできます。

明るさを変える

Fn キーを押しながらファンクションキーの F6（▼☼）、F7（▲☼）または F8（☼）キーを押して、調節します。

- Fn ＋ F6（▼☼）：ディスプレイを暗くします。
- Fn ＋ F7（▲☼）：ディスプレイを明るくします。
- Fn ＋ F8（☼）：ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。



解像度や色数を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

3 **「画面解像度を変更する」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **解像度を変えるときは、「画面の解像度」のつまみをドラッグして動かします。**
色数を変えるときは、「画面の色」の ⌄ をクリックして、メニューから色数を選びます。

5 **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**
変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

6 **画面右上の ✕ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。**

設定可能な解像度と色数

解像度（ドット）※1	800 × 600、1024 × 768
色数 ※2	65536 色、約 1677 万色

※ 1 接続している外部ディスプレイの表示能力により、外部ディスプレイのみに表示したときの解像度は、最大 1600 × 1200 まで設定できます。
※ 2 ディザリング機能により最大で約 1677 万色を表示できます。

ご参考

- 「画面の色」の設定と表示の色数は以下のとおりです。
  中（16 ビット）　：65536 色
  最高（32 ビット）：約 1677 万色

CD・DVD を使う

CDやDVDに保存されているデータの読み出し、市販のアプリケーションソフトのインストール、CD-R/RW へのデータの書き込みなどができます。

このパソコンには、DVD±R/RW ドライブ（以下CD/DVD ドライブと表記します）が搭載されています。

市販のアプリケーションソフトのインストールについて

アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、CD/DVDドライブにCD-ROMをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

使用可能なディスク

使用できるディスクは以下のとおりです。
ご使用のディスクによっては、読み出し／書き込みできない場合があります。

ディスクの種類	読み出し	書き込み	書き換え
CD-ROM※1 音楽CD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW High Speed CD-RW	○	○	○
Ultra Speed CD-RW	○	×	×
DVD-ROM DVD-VIDEO	○	×	×
DVD-R※2	○	○	×
DVD-RW※3、※4	○	○	○
DVD+R	○	○	×
DVD+RW	○	○	○
DVD-RAM	×	×	×

※1 CD-ROMには、ビデオCDおよびフォトCDを含みます。
※2 DVD-Rに書き込む場合は、DVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクをご使用ください。
ご使用のディスクの最大書き込み速度がCD/DVDドライブの最大書き込み速度を下回る場合は、ディスクの最大書き込み速度で書き込まれ、上回る場合はCD/DVDドライブの最大書き込み速度で書き込まれます。
※3 DVD-RWに書き込む場合は、DVD-RW Ver.1.1に準拠したディスクをご使用ください。
ご使用のディスクの最大書き込み速度がCD/DVDドライブの最大書き込み速度を下回る場合は、ディスクの最大書き込み速度で書き込まれ、上回る場合はCD/DVDドライブの最大書き込み速度で書き込まれます。
※4 VRフォーマットには対応していません。

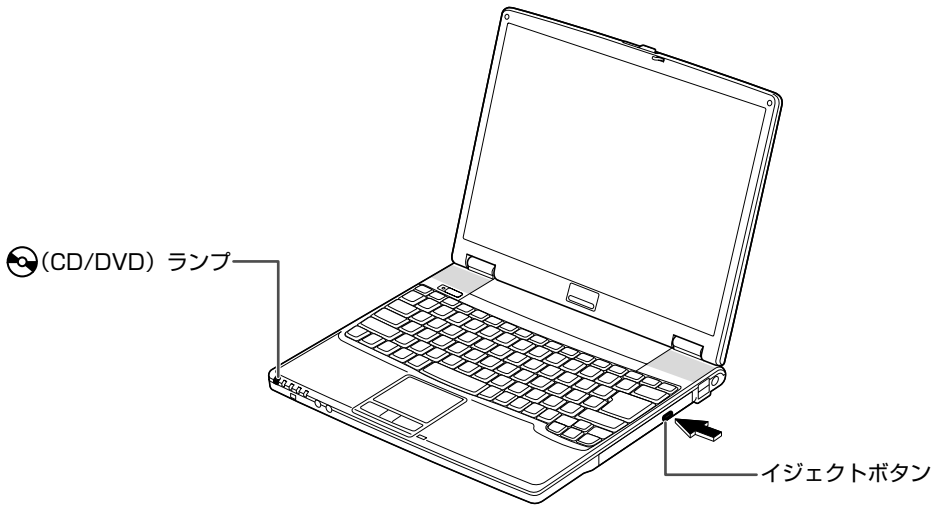
ご参考

- 音楽 CD および DVD ビデオを再生するときは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。
- ディスクにデータを書き込む場合、 付属のDrag' n Drop CD+DVDでは、元のデータディスクと異なった種類のディスクには書き込むことができません。元のデータディスクと同じ種類のディスクをご使用ください。

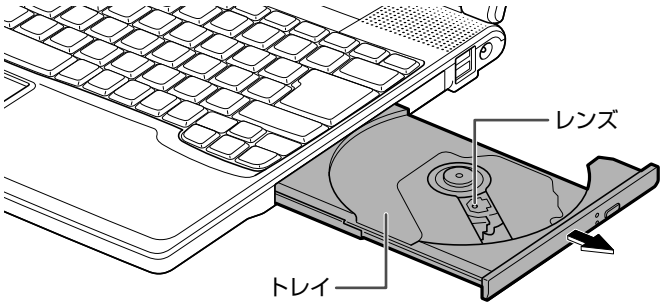
ディスクをセットする／取り出す

ディスクをセットする

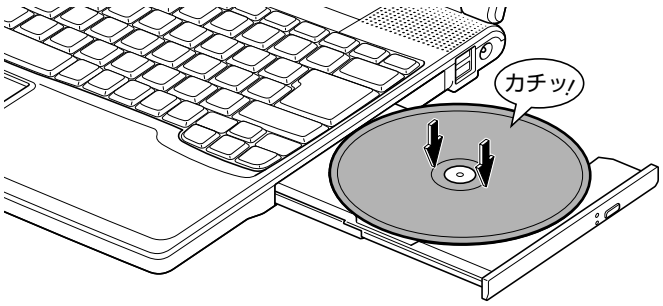
1 **（CD/DVD）ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。**
トレイが少し出てきます。



2 **トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。**



3 **ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして、ディスクをトレイに置きます。**
ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえてセットします。

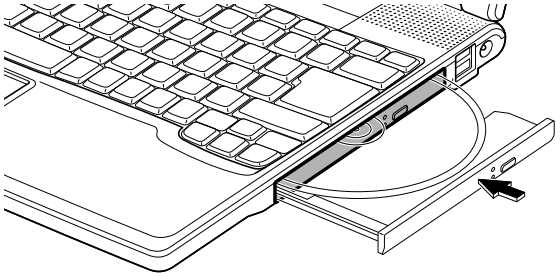


ご参考

- 両面が再生できるDVDビデオなどをセットする場合は、再生面の表記（Side Aなど）がある面を上にしてセットしてください。

4 **「カチッ」と音がするまでトレイを押し込みます。**

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。



ご注意

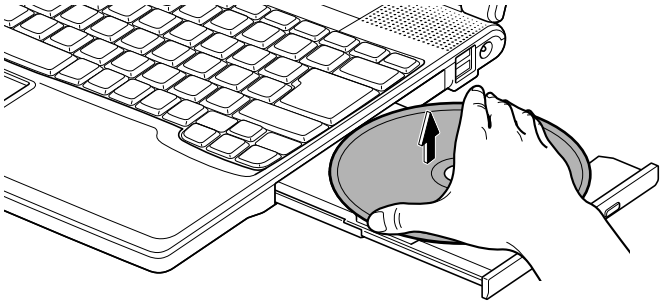
- ランプが点灯しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。誤動作の原因となります。
- レンズに手を触れないでください。レンズが汚れると、故障の原因になります。

ディスクをセットした後に以下のような画面が表示されたときは、Windowsが実行する動作をクリックして選択し、[OK] をクリックします。

表示される画面は、ディスク内のデータによって異なります。

ディスクを取り出す

ディスクをセットするの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。



CD-R ／ CD-RW にデータを書き込む

CD-R および CD-RW にデータを書き込むときは、付属の Drag'n Drop CD+DVD（CD/DVD ライティングソフト）または Windows の CD 書き込み機能を使用します。
詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

CD-R　データを 1 回だけ書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。
動作確認済みディスク　：太陽誘電製、リコー製、三菱化学製、三井化学製、日立マクセル製

CD-RW　記録済みの部分を消去して再度書き込めます。（約 1000 回）
動作確認済みディスク
- CD-RW　：リコー製、三菱化学製
- High Speed CD-RW　：リコー製、三菱化学製

ご参考

- 動作確認済みディスク以外では、正しく書き込みできないことがあります。
- ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、音楽 CD を作成したときは、ディスクが閉じられるためデータを追加して書き込むことはできません。
- **書き込んだディスクの読み出しについて**
  CD-R は CD-R 対応ドライブを搭載したパソコンや機器で、CD-RW は CD-RW 対応ドライブを搭載したパソコンや機器で読み出しできます。

DVD±R ／ DVD±RW にデータを書き込む

DVD±R および DVD±RW にデータを書き込むときは、付属の Drag' n Drop CD+DVD（CD/DVD ライティングソフト）、MyDVD（DVD ビデオ作成ソフト）を使用します。
詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

DVD-R　データを 1 回だけ書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。
動作確認済みディスク：松下電器産業製、太陽誘電製

DVD+R　データを 1 回だけ書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。
動作確認済みディスク：リコー製、三菱化学製

DVD-RW　記録済みの部分を消去して再度書き込めます。（約 1000 回）
動作確認済みディスク：日本ビクター製、三菱化学製

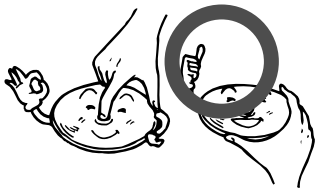
DVD+RW　記録済みの部分を消去して再度書き込めます。（約 1000 回）
動作確認済みディスク：リコー製、三菱化学製

ご参考

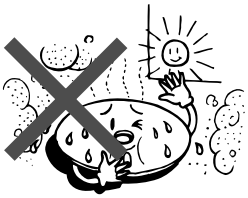
- 動作確認済みディスク以外では、正しく書き込みできないことがあります。
- ディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、MyDVDを使って作成したDVDビデオには、データを追加して書き込むことはできません。
- DVD±RおよびDVD±RWへの書き込みには、ファイルの管理領域なども必要になるため、書き込み可能なデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなります。
- **書き込んだディスクの読み出しについて**
  DVD-RはDVD-R対応ドライブを搭載したパソコンや機器で、DVD+RはDVD+R対応ドライブを搭載したパソコンや機器で、DVD-RWはDVD-RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器で、DVD+RWはDVD+RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器で読み出しできます。

ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。



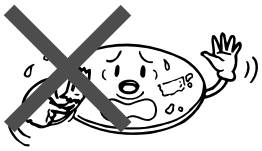
ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。



直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。
CD-Rなどのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

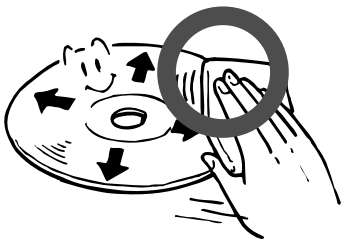


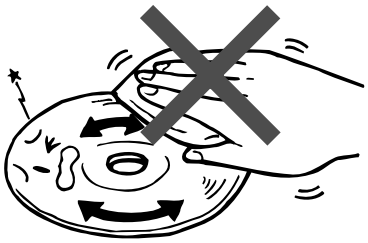
テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状（ハート形や八角形など）のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。





書き込みタイプのディスクをお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

ご注意

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。

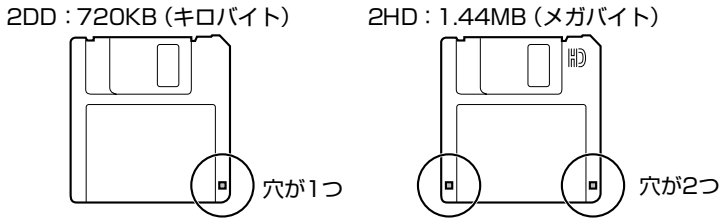
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のスプレーやクリーナー
- 静電防止剤

フロッピーディスクを使う

別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）を使うと、文書データなど比較的小さいデータをフロッピーディスク（FD）に保存できます。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DD と 2HD の 2 種類があります。



使用できるフロッピーディスク

- **2HD（1.44MB）の「DOS/V 用」と表示されたものを選んでください**
  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V用」（「DOS/V機器対応」「DOS/Vフォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- **その他の 2HD（1.44MB）のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます**
  「DOS/V 用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V 用」として使えるようになります。（☞63 ページ）

ご注意

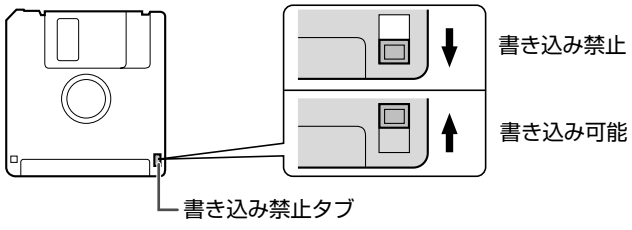
- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。

ご参考

- 2DD（720KB）および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞119 ページ）

書き込み禁止タブについて

フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

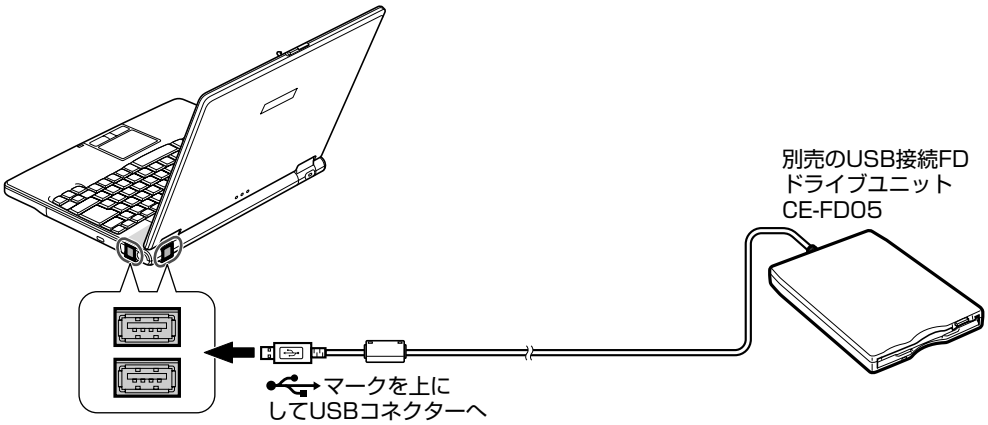


フロッピーディスクドライブを接続する

フロッピーディスクドライブは以下のものをお買い求めください。

USB 接続 FD ドライブユニット　　CE-FD05

パソコンの電源を入れたまま接続できます。
USB コネクターはパソコンの右側面と後面に 2 つずつあります。どのコネクターに接続してもかまいません。



ご参考

- このパソコンには、USB接続FDドライブユニット（CE-FD05）用ドライバーがあらかじめ保存されています。はじめてUSB接続FDドライブユニット（CE-FD05）を接続したとき、ドライバーが自動的にインストールされますので、そのままご使用になれます。

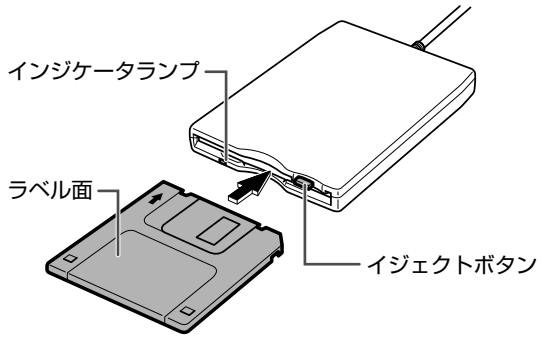
フロッピーディスクドライブを取り外す

取り外す前にデバイスを停止する必要があります。**USB機器を取り外す**（☞97ページ）を参照して、デバイスを停止してから USB 接続ケーブルを取り外してください。

フロッピーディスクに保存する

1 フロッピーディスクドライブに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。

ラベル面を上にして差し込んでください。



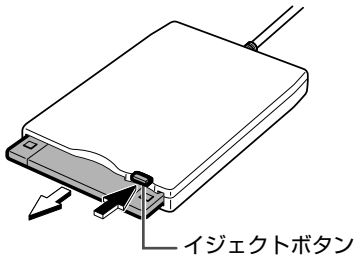
正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD（A:）」に指定して、作成したデータを保存します。

3 インジケータランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。



ご注意 インジケータランプ点灯中はディスクを取り出さないでください

- 点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れます。**

2 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

3 **「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

4 **必要に応じて、フォーマットオプションを設定します。**
新しいディスクをフォーマットするときは、「クイックフォーマット」のチェックマークを外してください。

5 **［開始］をクリックします。**
確認の画面が表示されます。

6 **［OK］をクリックします。**
フォーマットが始まります。

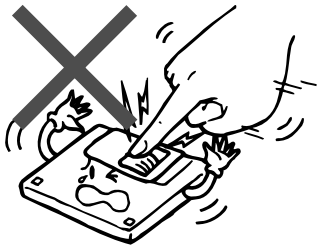
7 **「フォーマットが完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

8 **［閉じる］をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱い

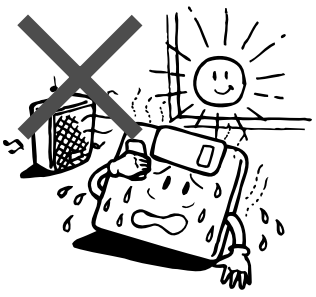
フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。



シャッターを開けて直接シート(記録面)に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。



磁気を発生させるもの (磁石、スピーカーなど)の近く、直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

DirectHD 機能を使う

ここでは、このパソコンをお手持ちのパソコン（以下「ホストPC」と表記します）と接続し、DirectHD機能を利用する方法を説明します。

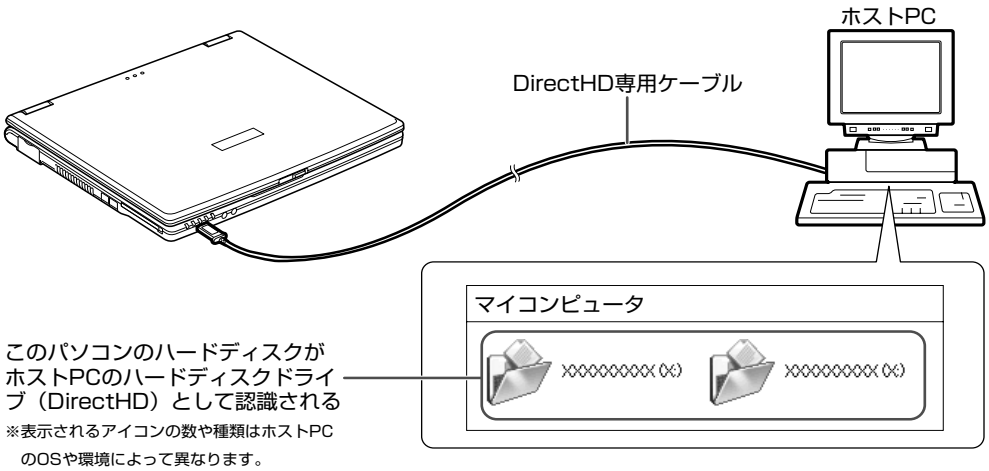
DirectHD とは

DirectHD とは、このパソコンの電源を切った状態で、付属の DirectHD 専用ケーブルでホストPCのUSBコネクターと接続し、このパソコンをホストPCの外付けハードディスクとして使用する機能です。

DirectHD 機能を使ってできること

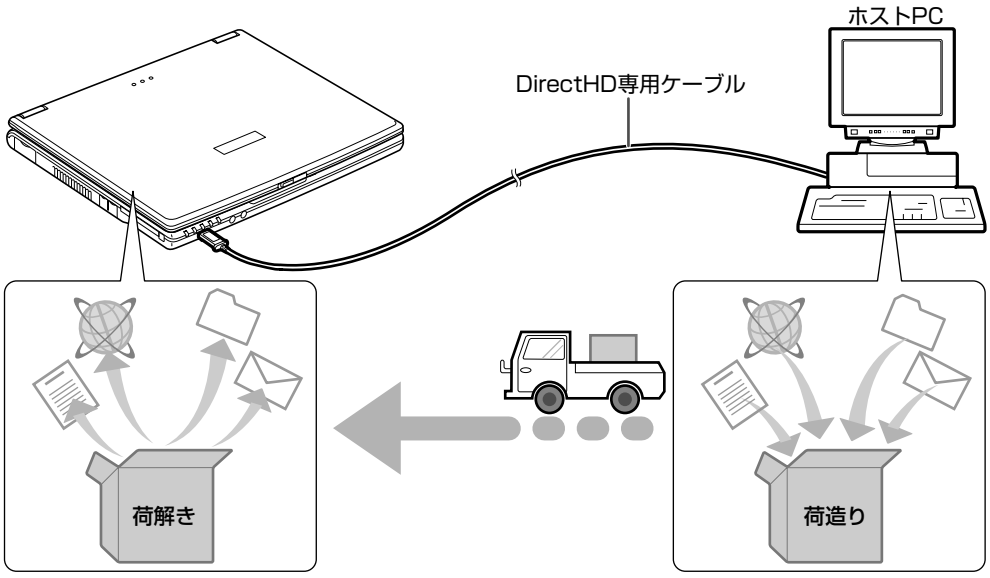
ホスト PC の外付けハードディスクとして使う

DirectHD 機能を使うと、ホスト PC からの操作で、このパソコンに保存されているファイルを読み込んだり、修正したり、このパソコン内にファイルを保存したりすることができます。



ホスト PC のデータをこのパソコンに引越しする

DirectHD 機能と付属の「安心楽々引越しパック for DirectHD」を使うと、マイドキュメントやデスクトップ上のデータはもちろん、ダイヤルアップの設定、メールアカウント、メールアドレスなどホストPCの環境もこのパソコンに引越しすることができます。（**ホストPCのデータをこのパソコンに引越しする** ☞75 ページ）



ホスト PC と接続する前に

以下のことをよく読んでから、ホスト PC と接続してください。

ホスト PC の条件

ホスト PC として使用できるのは、次の OS（オペレーティングシステム）を搭載し、USB コネクターを装備しているパソコンです。

- Microsoft Windows XP Home Edition / Microsoft Windows XP Professional（以降、Windows XP と表記します。）
- Microsoft Windows 2000 Professional （以降、Windows 2000 と表記します。）
- Microsoft Windows Millennium Edition（以降、Windows Me と表記します。）
- Microsoft Windows 98 Second Edition（以降、Windows 98SE と表記します。）

制限事項

- このパソコンが電源オン／スタンバイ／休止状態のときは、DirectHD 機能を使用できません。DirectHD 専用ケーブルを使ってホスト PC と接続するときは、必ずこのパソコンの電源を切ってください。

OSごとの制限

- ホストPCがWindows XPの場合
  コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。制限付きアカウントでログオンしていると、DirectHD ユーティリティをインストールできません。
- ホストPCがWindows 2000の場合
  Administratorのアカウントでログオンしてお使いください。
- ホストPCがWindows Meまたは Windows 98SEの場合
  このパソコンのCドライブにはアクセスすることはできません。Dドライブのみにアクセスすることができます。

ご注意

- ホストPCがWindows Meまたは Windows 98SEの場合、このパソコンを全てCドライブとして再インストールすると、ホストPCからこのパソコンにアクセスすることができなくなります。このパソコンを指定のサイズにハードディスク容量を分割して再インストールするときは、「C:ドライブとD:ドライブのサイズを指定して復元します」の「ハードディスクを全てC:ドライブとして復元します」を選択しないでください。
- ホストPCがWindows Meまたは Windows 98SEの場合、このパソコンのDドライブをNTFSでフォーマットしないでください。このパソコンにアクセスすることができなくなります。

使用時のご注意

ホストPCとこのパソコンの時刻を合わせてください

ホストPCとデータのやりとりをするときは、ホストPCとこのパソコンの時刻を合わせておいてください。ファイルを修正した際に、ファイルの属性に時刻が保存されますが、この時刻は修正に使用したパソコンのもので保存されます。ホストPCとこのパソコンの時刻が合っていないと、更新日時で正しくファイルを管理できなくたったり、新しいファイルに古いファイルを上書きしてしまうなどのトラブルが発生するおそれがあります。

アプリケーションソフトのインストールについて

ホストPCと接続している状態で、ホストPCからこのパソコンにアプリケーションソフトをインストールすることはできません。このパソコンにアプリケーションソフトをインストールするには、このパソコンを起動し、このパソコンのWindows画面でインストールを実行します。

使用許諾契約書をよくお読みください

- アプリケーションソフトをインストールするときは、必ずアプリケーションソフトの使用許諾契約書をよくお読みになり、記載内容に従ってください。

ご注意

- このパソコンのファイルをホストPC上で削除すると、復元できなくなることがあります。削除するときは注意してください。
- ホストPCがスタンバイまたは休止状態のときに、このパソコンの電源を入れたり、DirectHD専用ケーブルを接続および取り外ししないでください。ホストPCがスタンバイまたは休止状態から復帰した際に、ファイルが壊れたり、誤動作の原因になります。

DirectHD 状態表示ランプについて

DirectHD を使用しているときの状態がわかります。

ハードディスクランプ
ホスト PC と連動して、ハードディスクの動作状態を表示します。
緑点灯：ホストPCがアクセスしている。

READY ランプ
ホスト PC との接続状態を表示します。
緑点灯：接続している※
赤点滅：バッテリー残量が少ない
消灯　：接続していない

※ホストPCの操作でデバイスを停止（**デバイスを停止する**☞71ページ）した場合、READYランプは点灯したままですが、ホストPCとの接続は切断されています。

ご注意

- ランプが点灯中は、次のことはしないでください。データが壊れたり、故障の原因になります。
  - ・ホスト PC の電源を切る
  - ・DirectHD 専用ケーブルを抜く
  - ・このパソコンの AC アダプターおよびバッテリーパックを取り外す

ホスト PC と接続する

ここでは、このパソコンとホスト PC を接続する方法を説明します。
はじめて接続するときは、必ず次の手順に従ってください。

DirectHD ユーティリティをインストールする
⇩
このパソコンとホスト PC を接続する

DirectHD ユーティリティをインストールする

以下の手順に従って、ホスト PC に DirectHD ユーティリティをインストールします。
DirectHDユーティリティをインストールすると、DirectHDパスワード解除ユーティリティなどのソフトウェアも同時にホスト PC にインストールされます。

1 **付属の「DirectHD 活用ディスク」をホスト PC の CD/DVD ドライブにセットします。**
「SHARP DirectHD ユーティリティ Ver.XX セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

2 **画面に表示される指示に従って、DirectHD ユーティリティをインストールします。**
インストールが完了すると確認画面が表示されます。

3 **[はい] をクリックして再起動を実行します。**
「安心楽々引越しパック for DirectHD」を使ってホスト PC のデータをこのパソコンに引越しするときは、**荷造りプログラムをインストールする**の手順 **5**（☞75 ページ）に進んで引き続きインストールしてください。

4 **ホストPCが再起動されたら、CD/DVDドライブから「DirectHD活用ディスク」を取り出します。**

このパソコンとホストPCを接続する

ホストPCにDirectHDユーティリティをインストールしたら、このパソコンとホストPCを接続します。（☞ 前ページ）

DirectHDユーティリティは必ずホストPCにインストールしてください

- はじめて接続するときは、前ページを参照し、必ずDirectHDユーティリティをホストPCにインストールしておいてください。

1 **このパソコンの電源を切ります。**

このパソコンの電源が入っていたり、スタンバイ、休止状態のときは、ホストPCと接続できません。必ず電源が切れていることを確認してください。

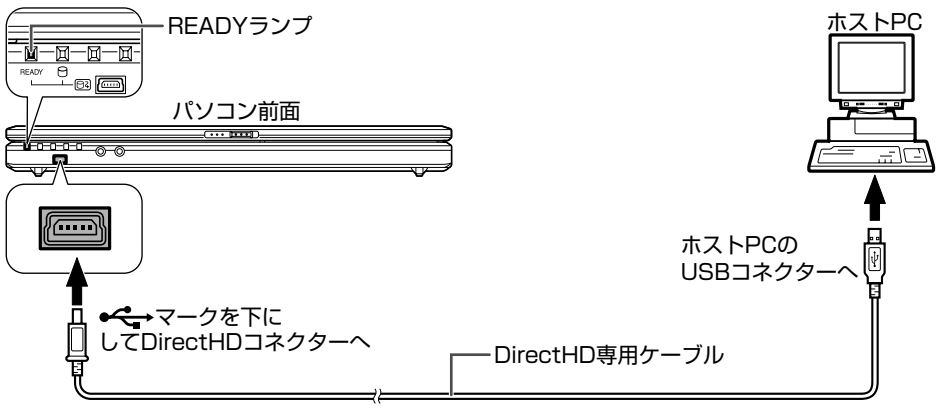
2 **このパソコンにACアダプターを接続します。**

ご注意

- ホストPCと接続するときは、このパソコンにACアダプターを接続してお使いになることをお勧めします。ACアダプターを接続しないで使用することもできますが、このパソコンのバッテリー残量が少なくなった場合、 READYランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。そのときはすぐにACアダプターを接続してください。
  - ・そのまま使い続け、データにアクセスしているときなどに完全にバッテリーがなくなってしまった場合は、保存していないデータは失われてしまいます。
  - ・ホストPCとの接続中にバッテリーがなくなると、突然接続が解除され、ホストPCにエラーメッセージが表示されることがあります。

3 **付属のDirectHD専用ケーブルで、このパソコンとホストPCを接続します。**

正しく接続されると、このパソコンのREADYランプが緑色に点灯します。

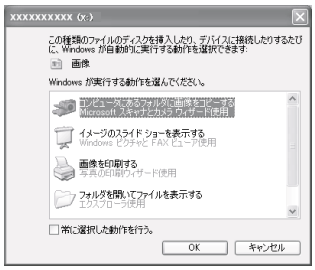


ご注意

- DirectHD専用ケーブルでこのパソコンのUSBコネクターとDirectHDコネクターを接続しないでください。DirectHD専用ケーブルはホストPCと接続するためのものです。

ホスト PC が Windows XP の場合

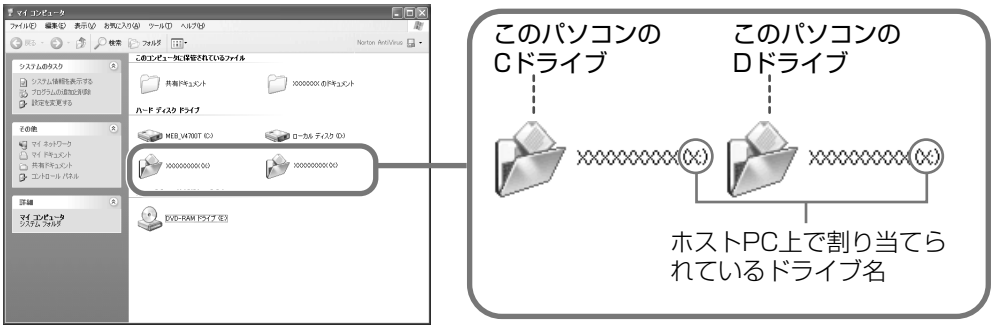
このパソコンがDirectHDとして認識されると、次の画面が表示されることがあります。その場合は、［キャンセル］をクリックしてください。



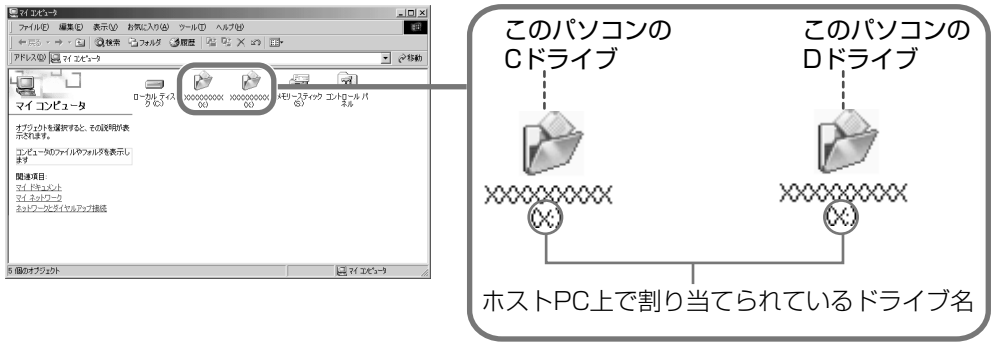
ホスト PC からこのパソコンにアクセスする

このパソコンが DirectHD として認識されると、このパソコンのハードディスクがホスト PC の「マイコンピュータ」画面にハードディスクとして以下のように表示されます。
ハードディスクアイコンをダブルクリックすると、このパソコンに保存されているファイルやフォルダをコピーしたり、修正したり、このパソコンにファイルを保存したりすることができます。

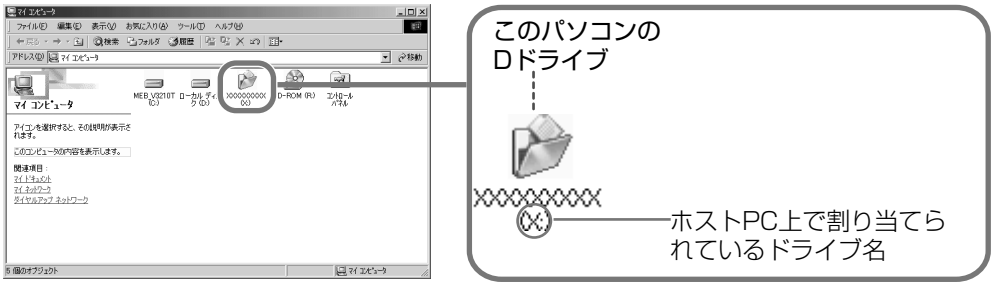
Windows XP の場合



Windows 2000 の場合

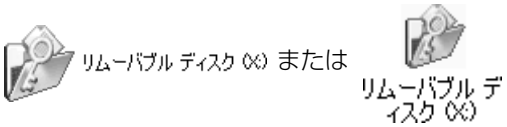


Windows Me または Windows 98SE の場合



ご参考

- 画面は一例です。「マイコンピュータ」画面に表示されるアイコンの数や種類はホストPCの環境により異なります。
- このパソコンのセットアップユーティリティでパスワードを設定している場合は、以下のようにリムーバブルディスクとして表示されます。このパソコンのハードディスクにアクセスする場合は、パスワードを解除してください。（**パスワードを一時解除する** ☞73 ページ）



ホスト PC との接続を終了する

ここでは、このパソコンとホスト PC との接続を終了する方法を説明します。

ご注意

- DirectHD専用ケーブルを抜く前に必ずデバイスを停止してください。デバイスを停止しないでケーブルを抜くと、データが壊れたり故障の原因になります。

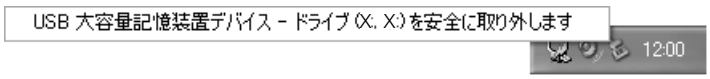
デバイスを停止する

ホスト PC が Windows XP の場合

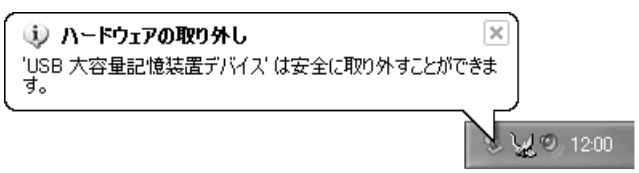
1 **タスクバーの をクリックします。**

2 **「USB 大容量記憶装置デバイス- ドライブ（X:,X:）を安全に取り外します」をクリックします。**

下線部分「X:,X:」の箇所には、ホストPC 上で割り当てられているこのパソコンのC ドライブと D ドライブのドライブ名が表示されます。



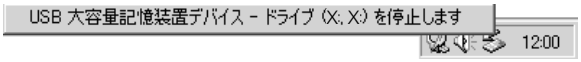
次の画面が表示されます。



ホスト PC が Windows 2000 の場合

1 タスクバーの をクリックします。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:,X:) を停止します」をクリックします。
下線部分「X:,X:」の箇所には、ホストPC上で割り当てられているこのパソコンのCドライブとDドライブのドライブ名が表示されます。

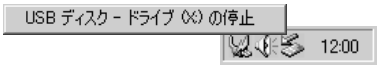


3 [OK] をクリックします。

ホスト PC が Windows Me の場合

1 タスクバーの をクリックします。

2 「USB ディスク - ドライブ (X:) の停止」をクリックします。
下線部分「X:」の箇所には、ホストPC上で割り当てられているこのパソコンのDドライブのドライブ名が表示されます。

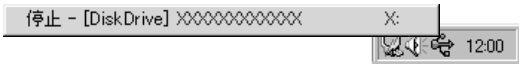


3 [OK] クリックします。

ホスト PC が Windows 98SE の場合

1 タスクバーの をクリックします。

2 「停止 -[DiskDrive] XXXXXXXXXXXX X:」をクリックします。
下線部分「X:」の箇所には、ホストPC上で割り当てられているこのパソコンのDドライブのドライブ名が表示されます。



3 [OK] をクリックします。

DirectHD 専用ケーブルを取り外す

1 **デバイスを停止します。(☞71 ページ)**

2 **ホスト PC とこのパソコンに接続されている DirectHD 専用ケーブルを取り外します。**

使用できる人を制限する

このパソコンのセットアップユーティリティでパスワードを設定しておくと、ホストPCと接続するときに、このパソコンのハードディスクにアクセスできる人を制限することができます。

パスワードを設定する

このパソコンのセットアップユーティリティ画面でパスワードを登録します。登録方法については、**パスワードを登録する**（☞160 ページ）を参照してください。

ご参考

- このパソコンにパスワードを設定したときは、接続しているホストPC を休止状態にしないでください。ホストPCが休止状態から復帰したときに、DirectHD機能が正しく動作しないことがあります。

パスワードを一時解除する

以下の手順に従って、パスワードを一時解除すると、DirectHD として認識されます。

1 **このパソコンとホスト PC を接続します。(☞69 ページ)**

2 **ホストPC上で[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」(または「プログラム」)-「SHARP DirectHD」-「DirectHDパスワード解除ユーティリティ」をクリックします。**
「パスワード解除ユーティリティ」画面が表示されます。

ご参考

- ホストPCへの周辺機器接続状況やUSBデバイスの使用状況により、「DirectHD パスワード解除ユーティリティ」の起動に時間がかかることがあります。

3 **パスワード欄にパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

4 **「セキュリティを解除しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**
パスワードが解除され、DirectHD として認識されます。

警告メッセージについて

- パスワードが解除されると、いったんデバイスの取り外し作業が入り、あらためて接続されます。そのため、警告メッセージが表示されることがありますが、問題はありません。

パスワードを削除する

ホスト PC が Windows XP および Windows 2000 の場合

このパソコンのセットアップユーティリティ画面でパスワードを削除します。削除方法については、**パスワードを変更する／削除する**（☞161 ページ）を参照してください。

ホスト PC が Windows Me および Windows 98SE の場合

Windows Me および Windows 98SE をお使いの場合は、いったんホスト PC の操作でパスワードを一時解除したあと、このパソコンのセットアップユーティリティ画面でパスワードを削除してください。

1 **パスワードを一時解除します。（☞ 前ページ）**

2 **デバイスを停止します。（☞71 ページ）**

3 **ホスト PC とこのパソコンに接続されている DirectHD 専用ケーブルを取り外します。**

4 **このパソコンのセットアップユーティリティを起動してパスワードを削除します。**
削除方法については、**パスワードを変更する／削除する**（☞161 ページ）を参照してください。

一時解除しないでパスワードを削除すると

- 次回ホストPCに接続したときに、マイコンピュータ画面ではリムーバブルディスクと表示されます。 DirectHDとして正しく動作させるには、次の手順に従ってください。
  ① このパソコンとホスト PC を接続します。
  ② 「パスワード解除ユーティリティ」画面を表示します。
  ③ [キャンセル] をクリックします。
  ④ デバイスを停止します。
  ⑤ DirectHD 専用ケーブルを取り外します。
  ⑥ このパソコンとホスト PC を接続します。

ホストPCのデータをこのパソコンに引越しする

DirectHD 機能と付属の「安心楽々引越しパック for DirectHD」を使って、ホスト PC のデータをこのパソコンに引越しする方法について説明します。

引越し可能なデータ

ホスト PC の次のデータや設定をこのパソコンに引越しすることができます。

- マイドキュメント
- お気に入り
- Cookies
- Microsoft IME ユーザー辞書
- ダイヤルアップの設定
- デスクトップ
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Office ユーザーテンプレート
- Microsoft Outlook

ただし、ホストPCの環境や使用状況によって引越しできないデータがありますので、詳しくは「安心楽々引越しパック for DirectHD」のヘルプを参照してください。

「安心楽々引越しパック for DirectHD」のヘルプを表示するには

- [スタート] をクリックし、「プログラム」または「すべてのプログラム」-「安心楽々引越しパック」-「安心楽々引越しパックのヘルプ」をクリックします。
  荷造りプログラムをホストPCにインストールすると、ホストPCからもヘルプを見ることができます。

荷造りプログラムをインストールする

「安心楽々引越しパック for DirectHD」を使って引越しをするには、ホスト PC に安心楽々引越しパック 荷造りプログラムをインストールする必要があります。次の手順に従ってインストールしてください。

1 **付属の「DirectHD 活用ディスク」をホスト PC の CD/DVD ドライブにセットします。**
「SHARP DirectHD ユーティリティ Ver.XX セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

2 **画面右上の ☒ をクリックします。**
確認画面が表示されます。

3 **[はい] をクリックします。**

4 **[閉じる] をクリックして「SHARP DirectHD ユーティリティ Ver.XX」画面を閉じます。**

5 **[スタート] をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。**
「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

6 **「名前」欄に「X:￥ezmove￥setup.exe」と入力し、[OK] をクリックします。**
下線部の「X:」の箇所には、ホストPC上で割り当てられているCD/DVDドライブのドライブ名を入力してください。
ウィザード画面が表示されます。

7 **画面に表示される指示に従って、荷造りプログラムをインストールします。**

8 **インストールが完了したら、CD/DVDドライブから「DirectHD活用ディスク」を取り出します。**

引越しの準備をする

ホストPC（引越し元PC）の準備

ホストPCを次のように準備してください。

- 荷造りプログラムをインストールする（☞ 前ページ）
- 「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- 周辺機器（USB機器、PCカードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外す。

引越しの荷造りをする

1 **このパソコンとホストPCを接続します。（☞69ページ）**

2 **ホストPC上で［スタート］をクリックし、「プログラム」または「すべてのプログラム」-「安心楽々引越しパック」-「安心楽々引越しパック 荷造り」をクリックします。**
「引越し開始」画面が表示されます。

3 **画面に表示される指示に従って、引越しの荷造りをします。**
「パスワード登録」画面では、必ずパスワードを入力してください。
入力したパスワードは、荷解きのときに必要ですので忘れないようにしてください。

ご注意

- 引越しデータ作成中にDirectHD専用ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。データが削除されてしまいます。

4 **引越しの荷造りが終了すると、「安心楽々引越しパックの荷造りが完了しました。」と表示されますので、[OK] をクリックします。**
次の**引越しの荷解きをする**に進んでください。

引越しの荷解きをする

1 **ホストPCとの接続を終了する。(☞71ページ)**

2 **このパソコンの電源を入れ、コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。**
パソコンが起動すると、「引越し開始」画面が表示されます。

ご注意

- 必ずコンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。制限付きアカウントでログオンすると、正しく荷解きできなくなります。

3 **画面に表示される指示に従って、引越しの荷解きをします。**
「パスワード登録」画面では、**引越しの荷造りをする**の手順**3**で入力したパスワードを入力してください。

ご注意

- 引越しデータ展開中に[キャンセル]をクリックしないでください。データが削除されてしまいます。

4 **これでデータの引越しは完了です。**

ご参考

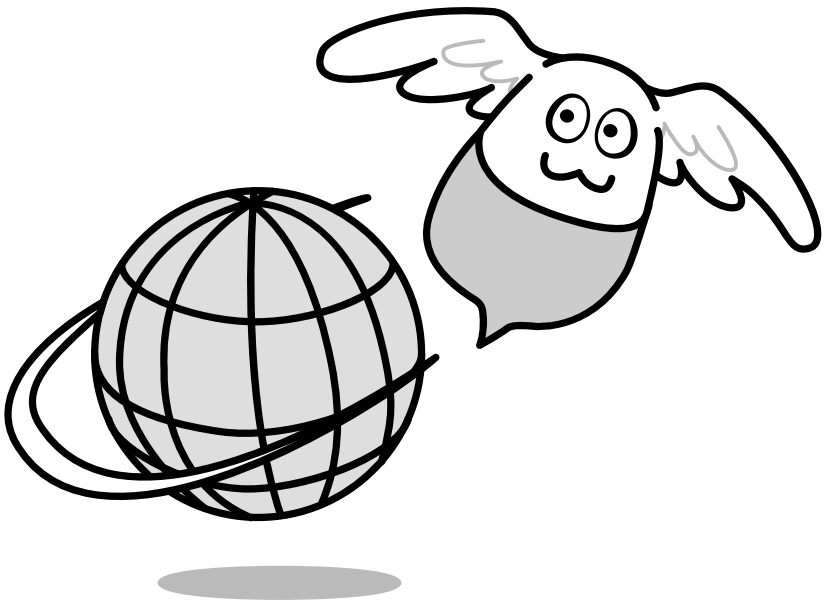
- 詳しい操作方法や制限事項については、「安心楽々引越しパック for DirectHD」のヘルプを参照してください。ヘルプは以下の手順で表示させてください。
  ・[スタート]をクリックし、「プログラム」または「すべてのプログラム」-「安心楽々引越しパック」-「安心楽々引越しパックのヘルプ」をクリックします。
  ヘルプはこのパソコンからもホストPCからも見ることができます。ただし、ホストPCからヘルプを表示させるには、荷造りプログラムをインストールしている必要があります。
- 「安心楽々引越しパック for DirectHD」に関しては、イージーシステムズジャパン株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**お客様サポートシステムのご案内**(別冊)をご覧ください。

MEMO

通信編

通信機能を使ってみよう

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。会社のネットワークにつないで活用したい...この章では、そんなとき必要な通信のしかたについての様々な方法を紹介します。



電話回線に接続する

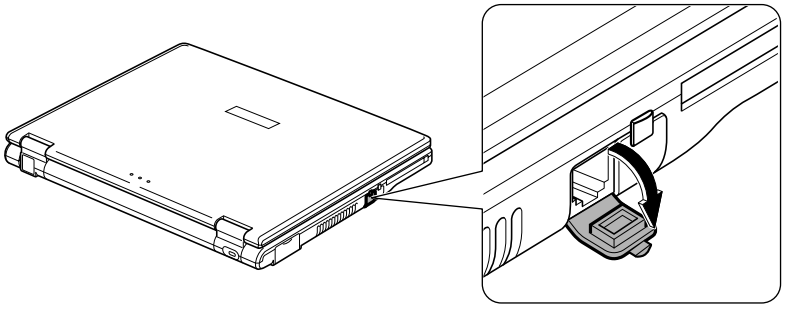
パソコンを一般電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと電話回線のモジュラージャックを接続します。

ご注意

- 内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）専用です。以下のようなデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。
  - ・ISDN のデジタル回線
    （TA（ターミナルアダプタ）を経由して接続してください。）
  - ・構内交換機（PBX）のデジタル回線
  - ・公衆電話のデジタル（ISDN）回線

1 **パソコンの電源を切ります。**

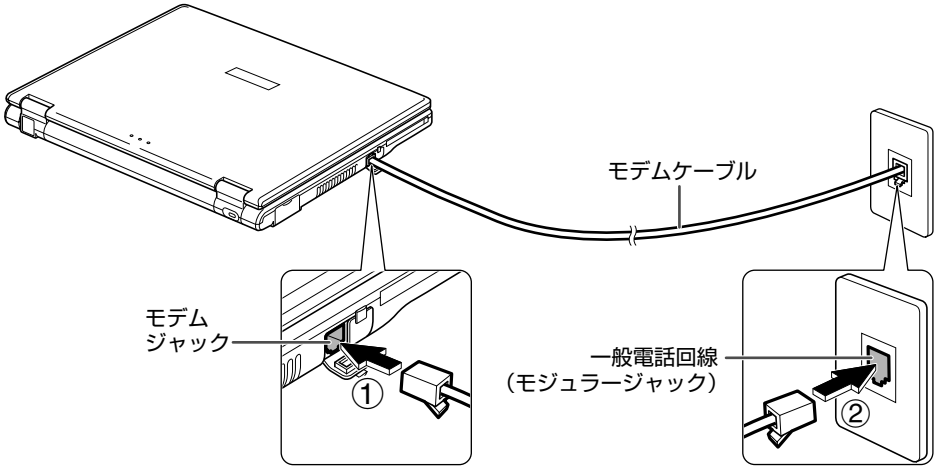
2 **モデムジャックのカバーを開けます。**



3 **パソコンを一般電話回線に接続します。**

① 付属のモデムケーブルを、パソコンのモデムジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクターを、電話回線のモジュラージャックに差し込みます。



ご注意 **LAN ジャックに差し込まないでください**

- 形状が似ているので、よく確かめてから差し込んでください。誤って LAN ジャックに差し込むと、故障の原因になります。

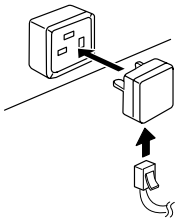
4 パソコンの電源を入れます。

ご参考

- モジュラータイプ以外の電話回線で使うには

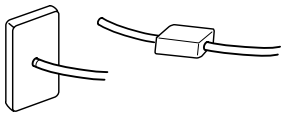
3 ピンや 4 ピンの場合には

3 ピンや 4 ピンのジャック形のときは、市販の変換アダプターを取り付けてください。

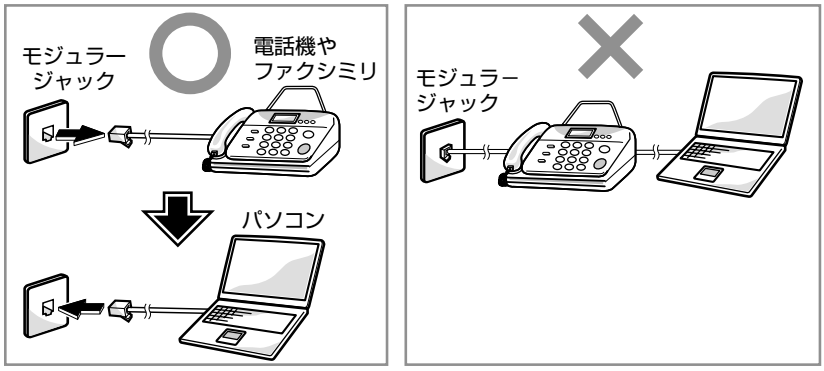


ローゼットタイプの場合は

差し込み式になっていないときは、最寄りの NTT に連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。



- **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**
  電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。
  モジュラージャックに電話機やファクシミリが接続されている場合は、取り外してから、パソコンとモジュラージャックを接続してください。



- 電話機やファクシミリをモジュラージャックから取り外している間は通話できません。使い終わったら、必ず電話機やファクシミリをモジュラージャックに接続してください。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 使用する電話回線の情報を登録する。
  詳しくは、**入門ガイド〜インターネット&メール〜**（別冊）の**設定しよう － インターネット接続を設定しよう － 使用する電話回線の情報を登録する**を参照してください。
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

  モデム名　：Smart Link 56K Modem
  COM ポート：COM3
- 通信中に不意に回線が切断されるのを避けるために、次の設定を変更する。
  「電源オプションのプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**操作しないときスタンバイまたは休止状態にする** ☞47 ページ）

ご注意　内蔵モデムを海外で使用しないでください

- 内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。
  国によって電話回線の仕様が異なるため、海外の電話回線に接続すると誤動作や故障の原因になります。

内蔵モデムについて

- 内蔵モデムは「V.90」方式を採用しています。
- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。
  受信時：56,000bps（理論値）
  送信時：33,600bps
  （bps = bit per second；ビット／秒）
- 接続先（プロバイダーなど）が「V.90」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも33,600bpsになります。また、電話回線および接続先（プロバイダーなど）の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムの交換修理については、修理窓口にご依頼ください。（**お客様サポートシステムのご案内** ☞ 別冊）
- 内蔵モデムのモデムコマンドについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

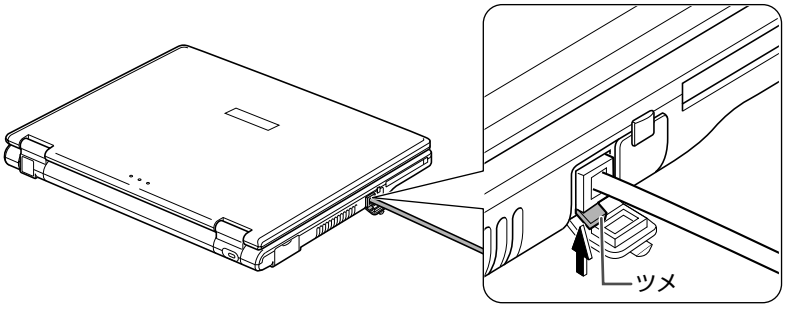
モデムケーブルを取り外す

ご注意

- モデムケーブルを取り外すときは、必ずモデムケーブルのコネクターのツメを押しながら取り外してください。無理に引き抜くとツメが折れるので注意してください。

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **モデムケーブルのコネクターのツメを上に押しながら、まっすぐに引き抜きます。**



3 **モデムジャックのカバーを元に戻します。**

ネットワークに接続する（LAN）

このパソコンを自宅で2台目としてお使いになる場合や、会社でお使いになる場合などパソコン同士でデータをやりとりするときは、ネットワークを利用すると便利です。
使用する環境に応じた方法で接続し、ネットワークの設定をしてください。

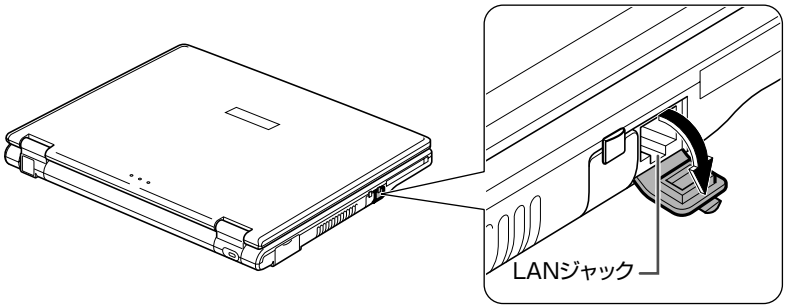
パソコンをネットワークに接続する

LAN ケーブルでハブを経由してネットワークに接続する

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使ってパソコンの LAN ジャックとハブを接続します。
10BASE-T の LAN に接続する場合　：カテゴリー 3 以上のケーブル
100BASE-TX の LAN に接続する場合：カテゴリー 5 のケーブル

1 パソコンの電源を切ります。

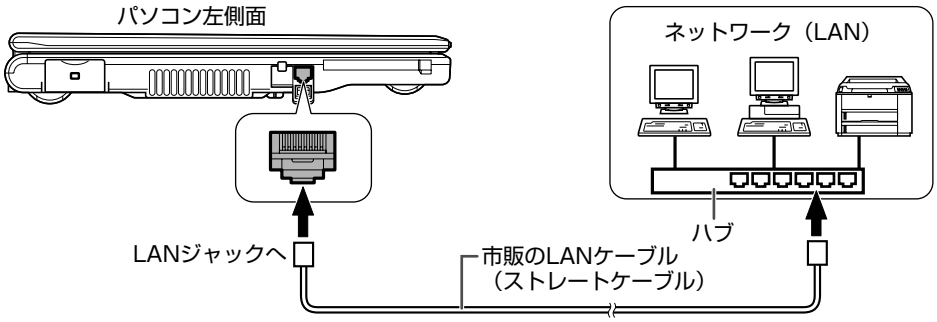
2 LAN ジャックのカバーを開けます。



ご注意 **LAN ジャックにモデムケーブルを差し込まないでください**

- LANケーブルとモデムケーブルは、形状が似ているので、よく確かめてから差し込んでください。誤って LAN ジャックにモデムケーブルを差し込むと、故障の原因になります。

3 パソコンをハブに接続します



4 パソコンの電源を入れます。

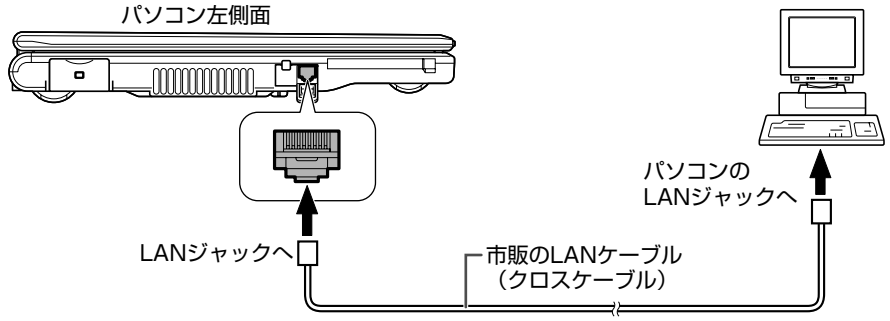
LAN ケーブルで 2 台のパソコンを直接接続する

市販の LAN ケーブル（クロスケーブル）を使って、このパソコンの LAN ジャックともう一台のパソコンの LAN ジャックを接続します。

1 **「LAN ケーブルでハブを経由してネットワークに接続する」（☞前ページ）手順 1 ～ 2 の作業をします。**

接続先のパソコンも電源を切ってください。

2 **このパソコンともう一台のパソコンを接続します。**



3 **両方のパソコンの電源を入れます。**

ワイヤレス LAN で接続する

ご購入時は、このパソコンにワイヤレスLANは内蔵されていません。ワイヤレスLAN増設サービス（有料）または、別売のワイヤレスLANカードをご利用いただくことによりワイヤレスでネットワークに接続することができます。

ワイヤレス LAN 増設サービスについて

- ワイヤレスLAN増設サービス（有料）により、ワイヤレスLANモジュールおよびアンテナを内蔵することができます。詳細については、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://www.sharp.co.jp/mebius/
- ワイヤレス LAN の使い方や設定方法などについては、ワイヤレス LAN 増設サービス後にお渡しする説明書を参照してください。

ワイヤレス LAN カード（別売）のご利用について

- ワイヤレス LAN カードは以下のものをお買い求めください。

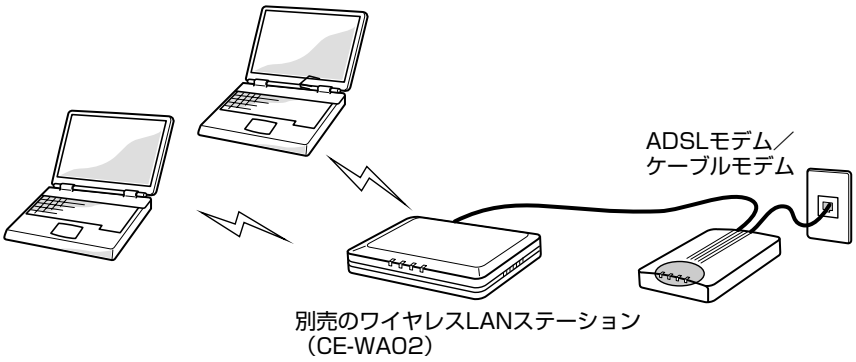
ワイヤレス LAN カード	CE-WC02

- ワイヤレス LAN カードを PC カードスロットに装着する方法については、**PC カードを使う**（☞107 ページ）を参照してください。
- ワイヤレス LAN カードの使い方や設定方法などについては、ワイヤレス LAN カードの説明書を参照してください。

ワイヤレス LAN で次のようなことができます。

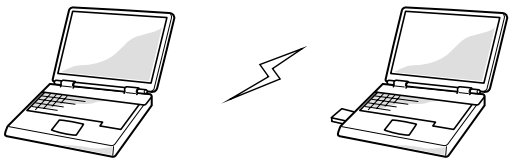
ワイヤレス LAN ステーションを経由してネットワークに接続する

別売のワイヤレス LAN ステーション（CE-WA02）を使えば、ADSL モデムやケーブルモデムを設置している場所とパソコンを設置している場所が離れていても、インターネットに接続できます。たとえば、リビングにワイヤレスLANステーションを設置して、自分の部屋のパソコンでホームページを見たり、メールのチェックをしたりできます。



ワイヤレスでパソコン同士を接続する

このパソコンと、ワイヤレス LAN 内蔵のメビウス、または別売のワイヤレス LAN カード（CE-WC02）を取り付けているパソコンで、データのやりとりやプリンターの共有ができます。



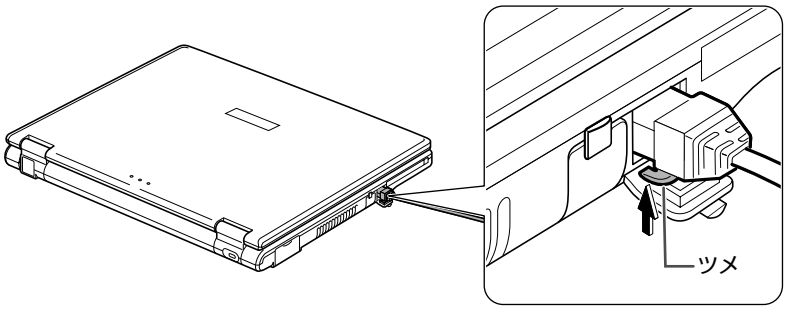
LAN ケーブルを取り外す

ご注意

- LAN ケーブルをパソコンから取り外すときは、必ず LAN ケーブルのツメを押しながら取り外してください。無理に引き抜くとツメが折れるので注意してください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 LAN ケーブルのコネクターのツメを上に押しながら、まっすぐに引き抜きます。



3 LAN ジャックのカバーを元に戻します。

ネットワークを設定する

ネットワークを設定するには、ネットワークの環境によっていろいろな方法があります。ここでは、次の場合を例に説明します。

- インターネットに接続していない 2 台のパソコンを LAN ケーブルで接続する場合
- 接続する先のパソコンの OS は Windows XP、Windows Me、Windows 98
- ネットワークの設定に「ネットワークセットアップウィザード」を使用

ネットワークを設定する前に

LANケーブルで2台のパソコンを直接接続する（☞84ページ）を参照してパソコン同士を接続し、それぞれ電源を入れておいてください。

このパソコンのネットワークを設定する

1 **［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「通信」ー「ネットワークセットアップウィザード」をクリックします。**

ネットワークセットアップウィザード画面が表示されます。

2 **［次へ］をクリックします。**

3 **［次へ］をクリックします。**

「ネットワークハードウェアの接続が切断されていることが検出されました」と表示されたときは

- 「接続」欄に「ローカルエリア接続」が表示されているときは、［キャンセル］をクリックしてネットワークセットアップウィザードをいったん終了した後、接続先のパソコンの電源が入っているか、LANケーブルが接続されているか確認して、もう一度手順**1**からやり直してください。
- 「接続」欄に「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されているときは、「接続されていないネットワークハードウェアを無視する」をクリックしてチェックマークを付け、［次へ］をクリックしてください。

4 **「その他」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

5 **「インターネットに接続していないネットワークに属している」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

「このコンピュータの説明と名前を入力してください。」と表示されたときは、手順**9**へ進んでください。

6 **「ネットワークへの接続を選択する」をクリックし、［次へ］をクリックします。**

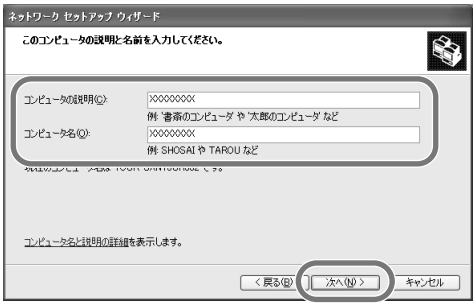
7 **「ローカルエリア接続」のみにチェックマークが付いているか確認します。**

「ワイヤレスネットワーク接続」や「IEEE1394 接続」が表示されているときはクリックしてチェックマークを外してください。

8 **［次へ］をクリックします。**

9 **「コンピュータの説明」欄にコンピュータの説明を、「コンピュータ名」欄にコンピュータの名前を入力し、[次へ] をクリックします。**

「コンピュータ名」は、ネットワーク上でコンピュータを区別するための名前です。このパソコンと接続先のパソコンは、それぞれ違う名前を付けてください。



10 **「ワークグループ名」欄に任意の名前を入力し、[次へ] をクリックします。**

このパソコンと接続先のパソコンのワークグループ名は、同じ名前を付けてください。

11 **[次へ] をクリックします。**

ネットワークの設定が始まります。

12 **「ほかのコンピュータでウィザードを実行する必要はない(ウィザード終了)」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

13 **[完了] をクリックします。**

確認画面が表示されます。

14 **[はい] をクリックします。**

パソコンが再起動されます。

接続先のパソコンのネットワークを設定する

接続先のパソコンが Windows XP の場合

接続先のパソコンも**このパソコンのネットワークを設定する**（☞ 前ページ）の作業をしてください。

接続先のパソコンが Windows Me または Windows 98 の場合

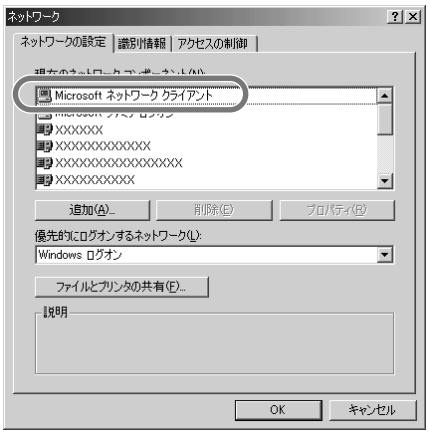
1 **[スタート] をクリックし、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoftネットワーククライアント」が表示されているか確認します。**

表示されている場合は、手順**4**に進んでください。



3 **「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていない場合、以下の操作をして、「Microsoft ネットワーククライアント」を表示させます。**

① ［追加］をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されます。

② 「クライアント」をクリックして選択し、［追加］をクリックします。
「ネットワーククライアントの選択」画面が表示されます。

③ 「製造元」欄から「Microsoft」をクリックして選択し、「ネットワーククライアント」欄から「Microsoft ネットワーククライアント」をクリックして選択します。

④ ［OK］をクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されます。

4 **「優先的にログオンするネットワーク」欄の ▼ をクリックし、「Microsoftネットワーククライアント」をクリックします。**

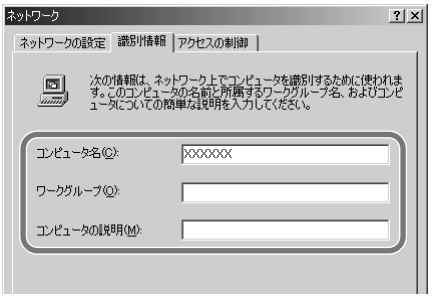
5 **［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。**

「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。

6 **「ファイルを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**
プリンターも共有したいときは、「プリンタを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付けてください。

7 **「識別情報」タブをクリックします。**

8 **「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」を入力します。**
「ワークグループ」は、**このパソコンのネットワークを設定する**の手順**10**（☞88ページ）で入力したワークグループ名と同じ名前を入力してください。



9 **[OK] をクリックします。**
確認画面が表示されます。

10 **[はい] をクリックします。**
パソコンが再起動します。

コンピュータ名やワークグループ名を変更するには

1 **[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

2 **「システムのタスク」欄の「システム情報を表示する」をクリックします。**
「システムプロパティ」画面が表示されます。

3 **「コンピュータ名」タブをクリックし、[変更] をクリックします。**
「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。

4 **「コンピュータ名」欄にコンピュータ名を、「ワークグループ」欄にワークグループ名をそれぞれ入力し、[OK] をクリックします。**
「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。

5 **[OK] をクリックして「コンピュータ名の変更」画面を閉じます。**
確認画面が表示されます。「コンピュータ名」のみを変更した場合は、手順**7**へ進みます。

6 **[OK] をクリックします。**

7 **[OK] をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。**
確認画面が表示されます。

8 **[はい] をクリックします。**
パソコンが再起動されます。

このパソコンから他のパソコンのデータを見えるようにする

パソコンのデータを共有設定すると、お互いのパソコンのファイルやフォルダを利用できます。自分で作ったデータを他の人に見せたり、デスクトップパソコンで作った資料を自分のノートパソコンにコピーしたりと、データの持ち運びに便利です。

フォルダを共有する

ここでは、例として「共有」フォルダを共有する方法について説明しますが、同じようにしてドライブも共有できます。

このパソコンおよび接続先のパソコンが Windows XP の場合

1 **共有したいフォルダ（「共有」フォルダ）を右クリックし、「共有とセキュリティ」をクリックします。**

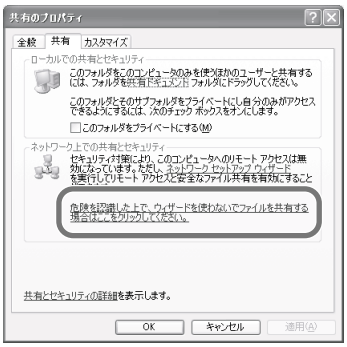
「共有のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」を入力します。**

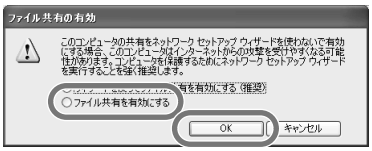
「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」が表示されないときは

①ネットワークセットアップウィザードを使用していないときや、Windows XPで初めてファイル共有するときは、次の画面が表示されます。以下の手順に従ってください。

②「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。



③「ファイル共有を有効にする」をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



④「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」を入力します。

3 **［OK］をクリックします。**

共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

接続先のパソコンが Windows Me または Windows 98 の場合

1 **共有したいフォルダ（「私の共有」フォルダ）を右クリックし、「共有」をクリックします。**
「私の共有のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「共有する」をクリックして選択し、「共有名」を入力します。**

3 **「アクセスの種類」欄でアクセス権の種類をクリックして選択し、必要に応じてパスワードを入力します。**

4 **［OK］をクリックします。**
パスワードを設定したときは、パスワードの確認画面が表示されますので、もう一度同じパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。
共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

共有したフォルダを利用する

ここでは、例として他のパソコン（コンピュータ名：Mebius）の「共有」フォルダ内のファイルを、このパソコンのデスクトップ上にコピーする方法を説明します。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。**
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

3 **「関連項目」欄の「マイネットワーク」をクリックします。**
「マイネットワーク」画面が表示されます。

4 **「ネットワークタスク」欄の「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。**
同じワークグループに所属するパソコンのアイコンがすべて表示されます。

5 **「Mebius」をダブルクリックします。**
共有した「共有」フォルダが表示されます。

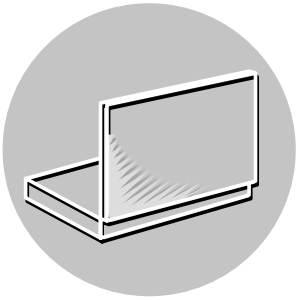
6 **「共有」フォルダをダブルクリックします。**
「共有」フォルダにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してください。
「共有」フォルダ内のファイルが表示されます。

7 **このパソコンのデスクトップ上にファイルをドラッグ & ドロップします。**
ファイルがコピーされます。

8 **画面右上の ☒ をクリックして「共有 -Mebius」画面を閉じます。**

周辺機器編

周辺機器を接続しよう



プリンターや外部ディスプレイなどの周辺機器を接続すると、パソコンの用途が拡がります。PC カードを差し込んで新しい機能を追加することもできます。

接続できる機器を確かめる

プリンターやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクターの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

Windows XP に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows XP に対応しているか確認してください。

専用のデバイスドライバーをインストールするものがあります

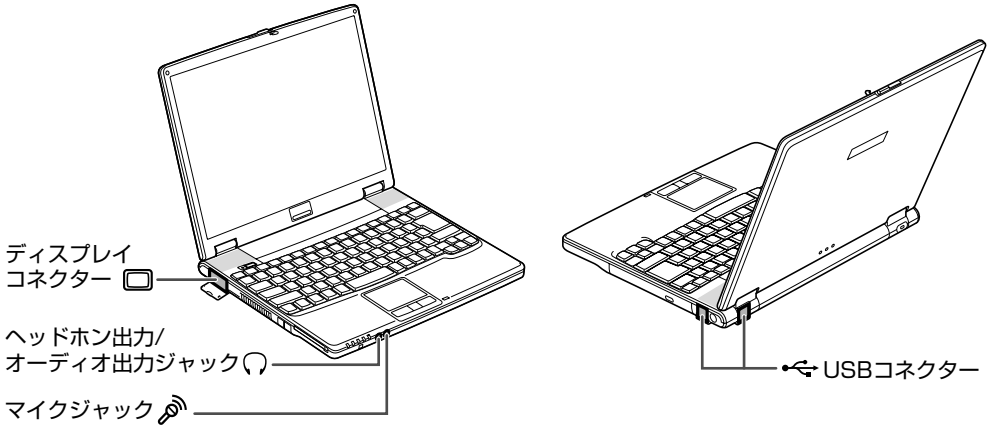
デバイスドライバーは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。デバイスドライバーのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は、説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。フロッピーディスクを使用する場合、別売のUSB接続FDドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

ご参考

- 接続可能な周辺機器については、お買いあげの販売元にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

コネクターの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクターがあります。コネクターの名前や形状を確認してください。



USB コネクター（A タイプ）
USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンター、モデム、スピーカーなどがあります。

コネクターの形状

ディスプレイコネクター
パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。

コネクターの形状

ヘッドホン出力／オーディオ出力ジャック
ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器、アンプ付きスピーカー、ヘッドホンなどを接続します。

コネクターの形状

マイクジャック
外部マイクを接続します。

コネクターの形状

ご参考

- コネクターの違う機器も変換アダプターを使って接続できることがあります。変換アダプターにも「PC/AT互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

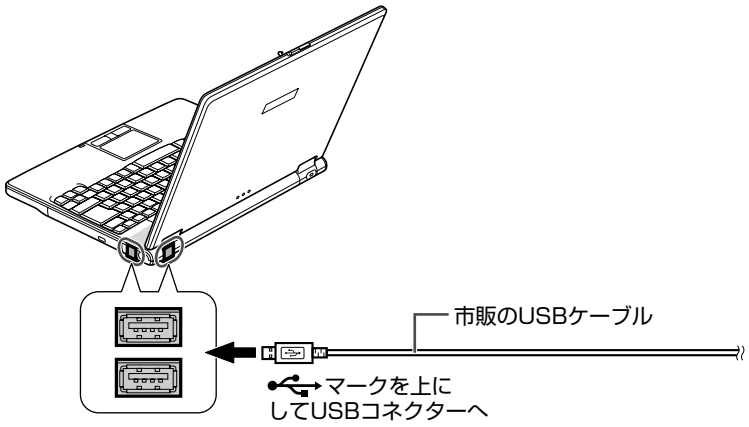
USB 機器を使う

USB 機器を接続するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、USB 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応している USB 機器を用意する。
- パソコンに USB 機器を接続する。
- デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをパソコンにインストールする。

USB 機器を接続する

USB 機器に付属または市販の USB ケーブルで USB 機器とパソコンを接続します。
USBコネクターはパソコンの 右側面と後面に2つずつあります。どのコネクターに接続してもかまいません。USB機器をパソコンに接続するときは、USBケーブルの ⇔ マークを上向きにしてください。



ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB 機器を接続することができます。
- 接続したUSB機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。

USB2.0 について

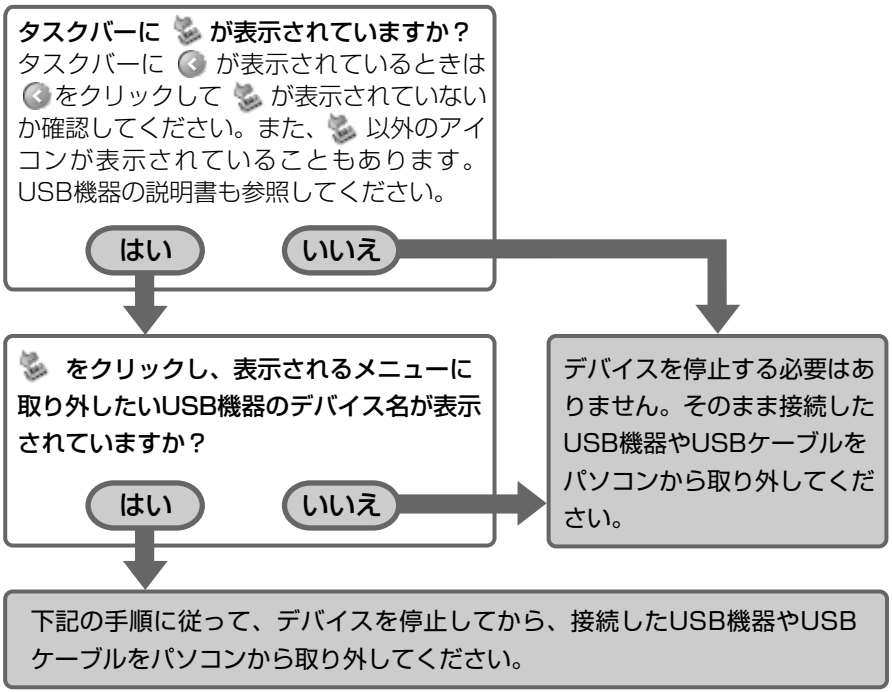
このパソコンは、USB1.1 および USB2.0 に対応しています。USB2.0 は、USB1.1 よりも速いスピードでデータを転送することができます。USB2.0の転送速度を利用するには、USB2.0 に対応している周辺機器および USB ケーブルを接続してください。ただし、USB1.1 規格のハブを経由して USB2.0 の周辺機器を接続した場合は、USB1.1 の転送速度に制限されます。

USB 機器を取り外す

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなど、データを格納する周辺機器(記憶装置)は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続しているUSB機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

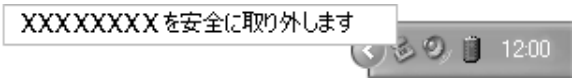
ご参考

- 取り外し手順は接続する周辺機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

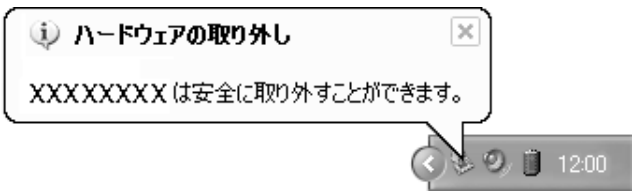


1 タスクバーの をクリックします。

2 表示されるメニューから、取り外したい USB 機器のデバイス名をクリックします。



次の画面が表示されます。



3 パソコンから USB 機器や USB ケーブルを取り外します。

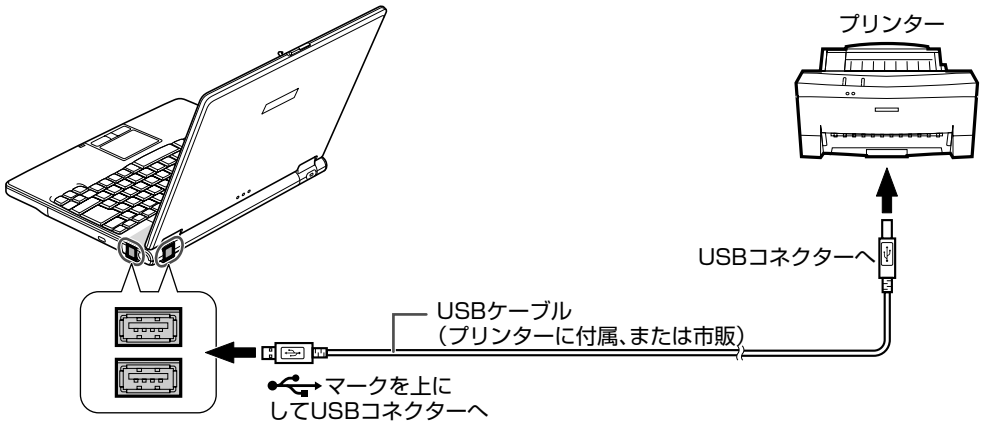
プリンターで印刷する

プリンターを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンターの説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応しているプリンター（USB 接続可能なもの）を用意する。
- パソコンにプリンターを接続する。
- プリンタードライバーをパソコンにインストールする。

プリンターを接続する

パソコンの電源を入れたまま接続できます。
USB コネクターはパソコンの右側面と後面に 2 つずつあります。どのコネクターに接続してもかまいません。



プリンタードライバーをインストールする

プリンターを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。
プリンターの説明書を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。プリンターに付属のフロッピーディスクやCD-ROMを使うこともあります。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

キヤノン製およびエプソン製プリンターの場合

このパソコンには次のプリンタードライバーがあらかじめ保存されています。
はじめて接続したときに、ドライバーが自動的にインストールされます。プリンターに付属のプリンタードライバーをインストールする必要はありません。

キヤノン製プリンター

PIXUS 990i、PIXUS 860i、PIXUS 560i、PIXUS 455i、PIXUS 320i、PIXUS 80i

※はじめて接続すると「使用許諾契約書」が表示されますので、［はい］をクリックしてください。

エプソン製プリンター

PX-G900、PX-V600、PX-V500、PM-G800、PM-G700、PM-D750、PM-A850

ご参考

- 印刷の設定などは、プリンターの説明書を参照してください。
- プリンターに関する質問などは、各メーカーにお問い合わせください。

外部ディスプレイに表示する

アナログCRTディスプレイやアナログ液晶ディスプレイを接続して、もうひとつのディスプレイにもパソコンの画面を表示することができます。また、プロジェクターを接続して、パソコンの画面をスクリーンに投影することもできます。

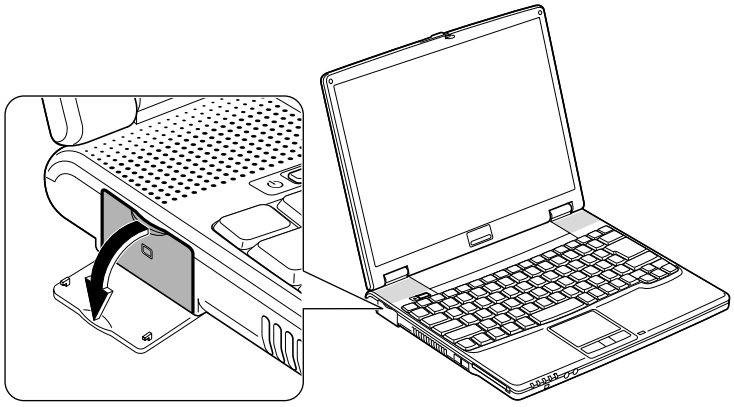
ご参考

- プロジェクターの接続のしかたや表示先の切り替え手順は、CRTディスプレイ／液晶ディスプレイと同じです。プロジェクターの説明書もあわせて参照してください。
- 対応する垂直・水平周波数については、動作確認が取れ次第メビウスホームページ内サポート情報の機種別ページにて、ご案内します
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

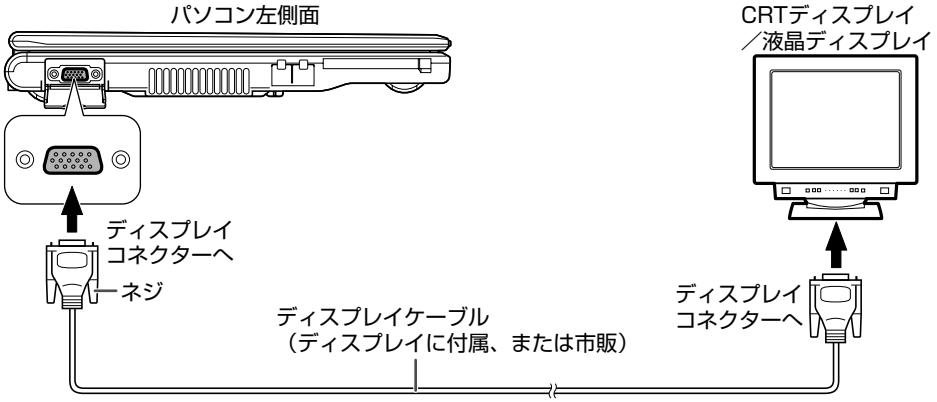
CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 **パソコンとディスプレイの電源を切ります。**

2 **ディスプレイコネクターのカバーを開けます。**
使い終わったら必ずカバーを閉じておいてください。



3 **パソコンとディスプレイを接続します。**
ネジがある場合、ネジを締めてコネクターを固定してください。



4 **ディスプレイの電源を入れます。**

5 **パソコンの電源を入れます。**

ディスプレイドライバーをインストールする

アナログCRTディスプレイ／アナログ液晶ディスプレイを使用するためには、ディスプレイドライバーのインストールが必要な場合があります。ディスプレイの説明書を参照して、ディスプレイドライバーをインストールしてください。ディスプレイに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

画面の表示先を切り替える

ここでは、以下の 2 つの方法について説明します。

- 「画面のプロパティ」画面で表示先を切り替える
- キーボードで表示先を切り替える

ご参考

- 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。
- パソコンのディスプレイと同時表示をするには、1024 × 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外のディスプレイでは、正常に表示されません。

「画面のプロパティ」画面で表示先を切り替える

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**
「デスクトップの表示とテーマ」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。
（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

3 **「画面」をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **「設定」タブをクリックし、［詳細設定］をクリックします。**

5 **「S3Display」タブをクリックし、表示したいディスプレイをクリックしてチェックマークを付けます。**

外部ディスプレイに表示するときは「CRT」、パソコンの内蔵ディスプレイに表示するときは「LCD」にチェックマークを付けます。

両方のディスプレイに表示させることもできます。

6 **[OK] をクリックします。**

7 **確認画面で [OK] をクリックします。**

画面の表示先が切り替わります。

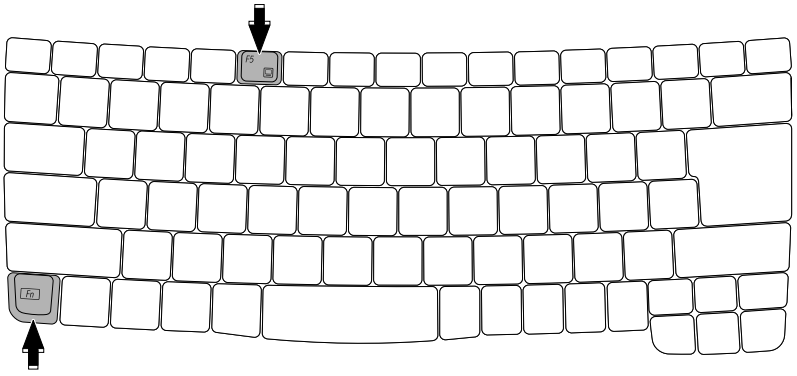
8 **確認画面で [はい] をクリックします。**

9 **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**

10 **画面右上の ✕ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。**

キーボードで表示先を切り替える

表示させたい画面に切り替わるまで **Fn** キーを押しながら **F5**（ ）キーを押します。



外部ディスプレイの解像度を変える

解像度や色数を変える（☞52 ページ）を参照してください。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコンからディスプレイケーブルを取り外します。

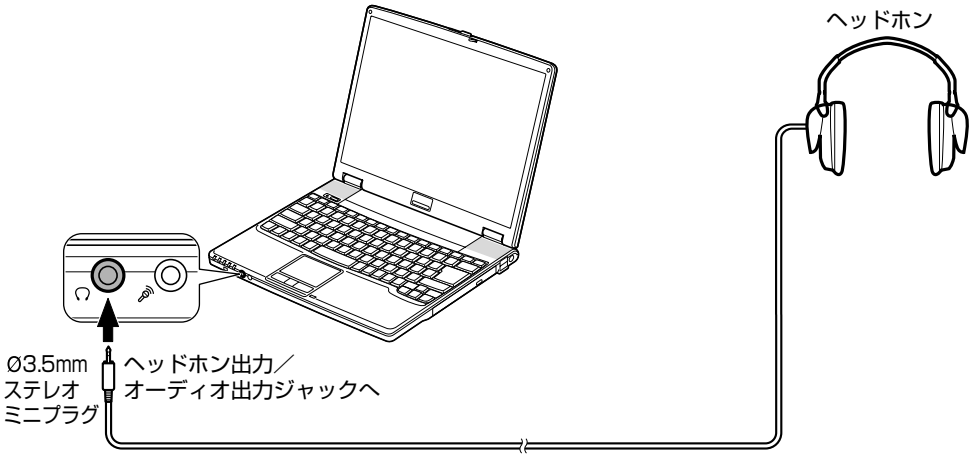
3 ディスプレイコネクターのカバーを閉じます。

オーディオ機器を接続する

ヘッドホンや外部スピーカーを接続できます。また、オーディオ機器に接続して、アナログ音声を出力することもできます。

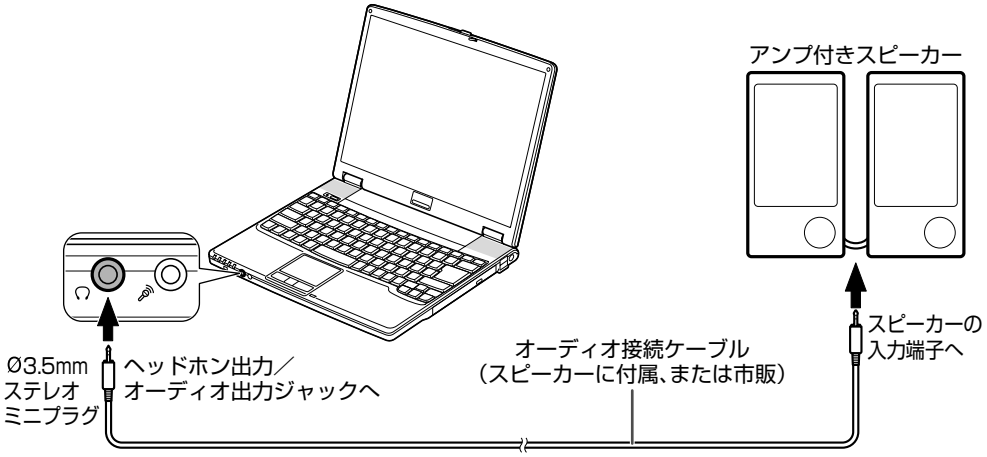
ヘッドホンを接続する

ヘッドホンは、インピーダンス 8 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。



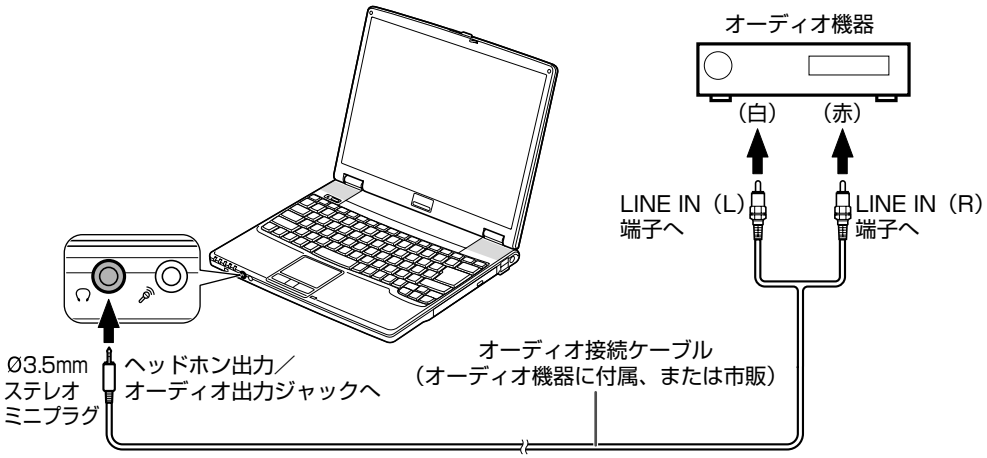
外部スピーカーを接続する

市販のアンプ付きスピーカーに接続できます。



オーディオ機器にアナログ音声を出力する

ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器と接続します。

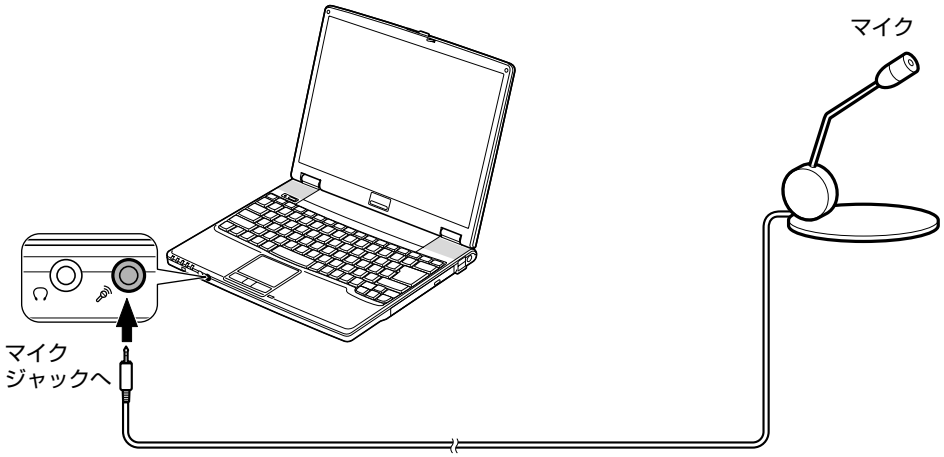


外部マイクから音声を入力する

市販の外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

プラグ形状　　：Ø3.5mm ミニプラグ
（ステレオミニプラグ（3 極プラグ）タイプのモノラルマイクも使用できます。）
適合インピーダンス：1.5 k Ω～ 2.4 k Ω
電源電圧　　：DC 2.5V
タイプ　　：エレクトレットコンデンサマイク



マイクから音声を録音する

1 **[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「エンターテイメント」ー「サウンドレコーダー」をクリックします。**
サウンドレコーダーが起動します。

2 **録音を開始するには、 ● をクリックします。**

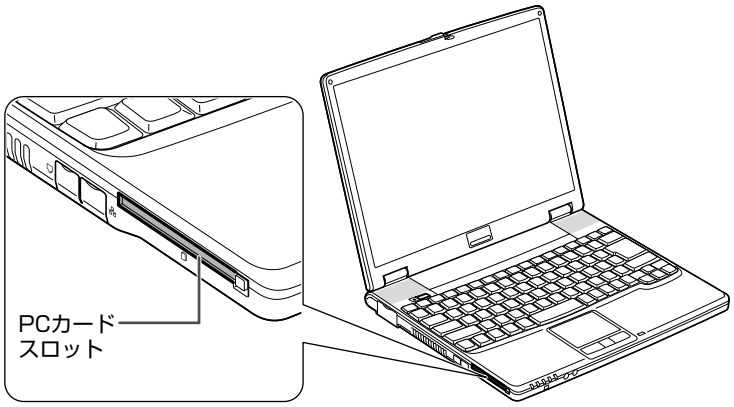
3 **録音を停止するには、 ■ をクリックします。**

ご参考

- サウンドレコーダーの操作については、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

PC カードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器を接続したときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。



このパソコンで使える PC カード

- PC Card Standard に準拠した Type II の PC カード
- CardBus 対応の PC カード

PC カードを差し込む

ご注意

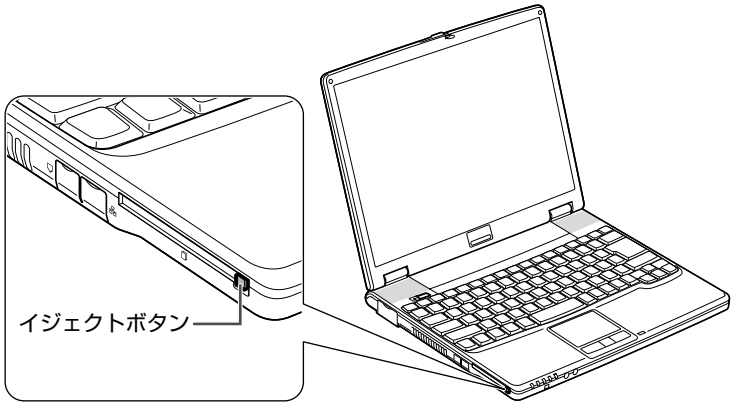
- パソコンを移動する場合は、PC カードを取り出してください。特に、PC カードの一部がパソコンから突き出すものは、PCカードに無理な力が加わり、PCカードおよびPCカードスロットの故障の原因になります。

ご参考

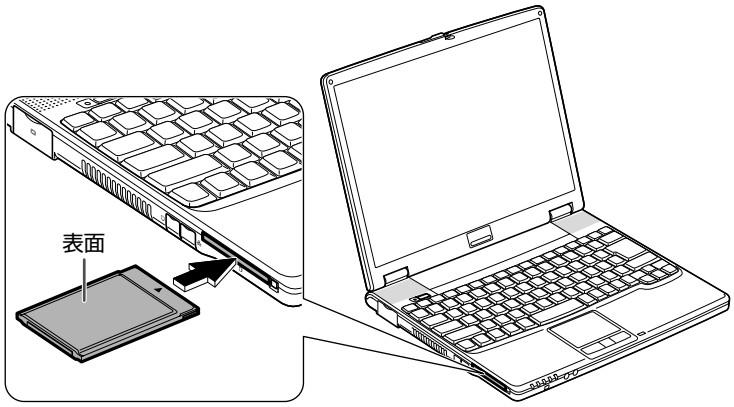
- 電源を入れた状態で、PC カードを差し込むことができます。
- はじめてPCカードを差し込んだときは、対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。

1 イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。

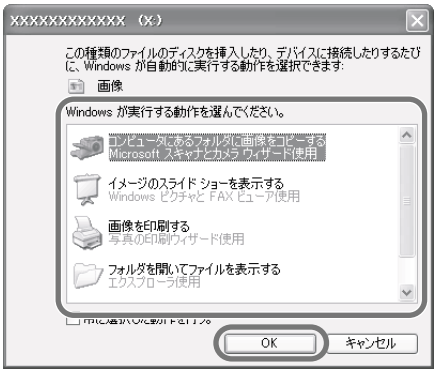
飛び出している場合は、イジェクトボタンを押し込んでください。



2 表面が上にくるようにして、PC カードをしっかりと差し込みます。



メモリーカードを差し込んだ後に以下のような画面が表示されたときは、Windowsが実行する動作をクリックして選択し、[OK] をクリックします。
表示される画面は、メモリーカード内のデータによって異なります。



PC カードを取り出す

取り出す前に、パソコンの操作で、PC カードの使用を停止する必要があります。

ご注意

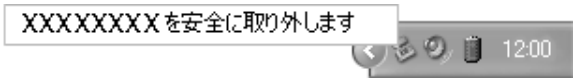
- 必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、カード内のデータが消えたり、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 タスクバーの をクリックします。

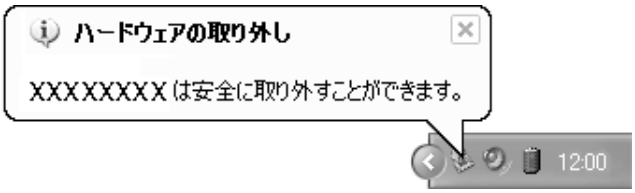
タスクバーに が表示されていないときは

- タスクバーに表示されるアイコンが多くなると、自動的に隠れることがあります。そのときはタスクバーの をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

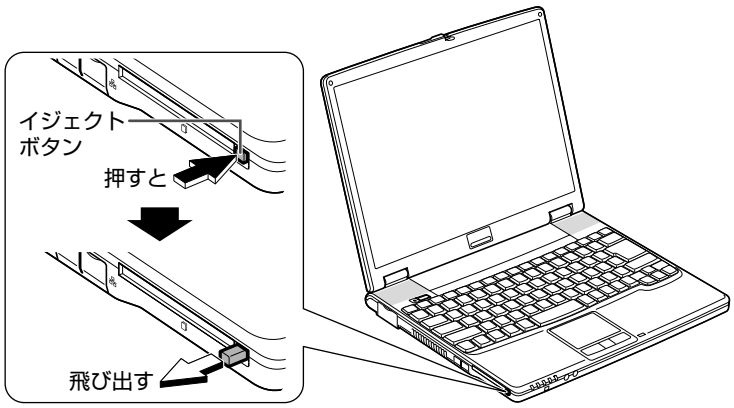
2 「XXXXXXXX を安全に取り外します」をクリックします。



次の画面が表示されます。

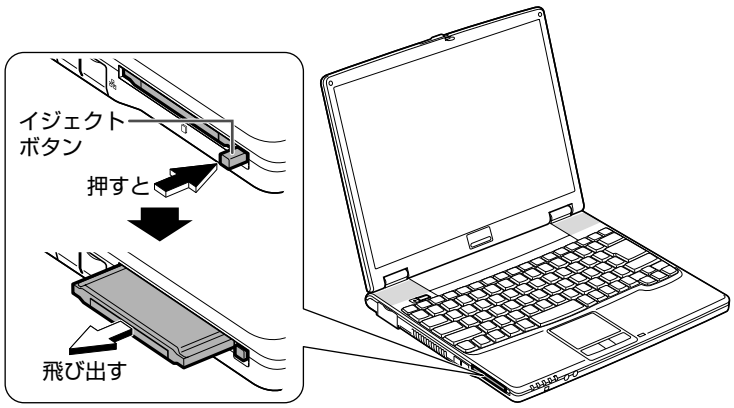


3 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。



4 飛び出したイジェクトボタンを押して、PC カードを取り出します。

ボタンを押し込むと、PC カードが少し出てきますので、引き出してください。



ご注意 **PC カードは熱くなっていることがあります**

- PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

5 イジェクトボタンが飛び出したままのときは、必ず元の位置まで押し込みます。

メモリーを増設する

メモリーを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを高速に処理できるようになったり、より多くのアプリケーションソフトを同時に起動できるようになります。
このパソコンは、市販の増設RAMボード（128MB、256MB、512MBのいずれか1枚）を取り付けて、メモリー容量を768MB（メガバイト）まで増やすことができます。

取り付け可能な増設RAMボードについて

- 取り付け可能な増設RAMボードについては、お買いあげの販売元にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://support.sharp.co.jp/mebius/

増設RAMボードを取り付ける／取り外す

ご注意

- RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。
  ・取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
  ・静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
  ・RAMボードの端子部分は、手で触れない。
  ・RAMボードを保管するときは、RAMボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

増設RAMボードを取り付ける

1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外します。**
バッテリーパックの取り外し方については、**バッテリーパックを交換する**（☞43ページ）を参照してください。

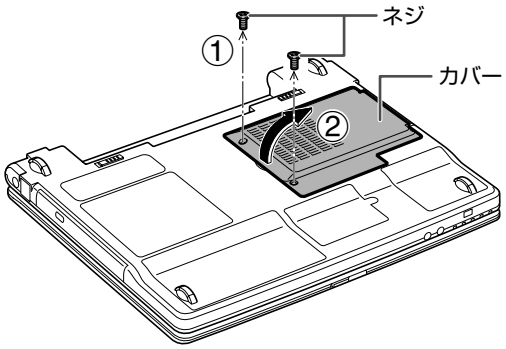
ご注意

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外してください。故障の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっています。パソコンの電源を切り、1時間以上放置してから作業を開始するようにしてください。

2 **カバーを取り外します。**

① カバーのネジを外します。

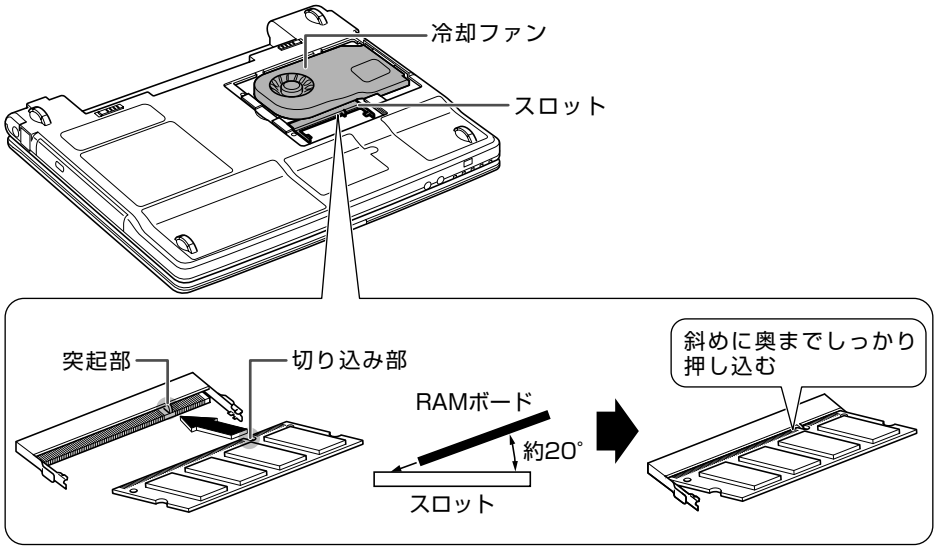
② カバーを取り外します。



3 **RAM ボードの切り込み部をスロットの突起にあわせて、斜めに奥までしっかり押し込みます。**

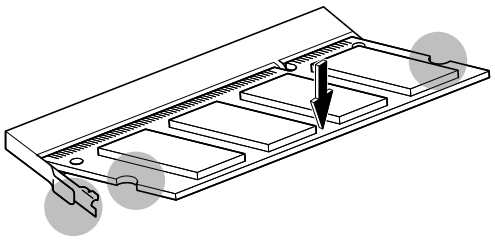
ご注意

- 冷却ファンは、非常に熱くなっていることがあります。冷却ファンに手を触れないようにしてください。

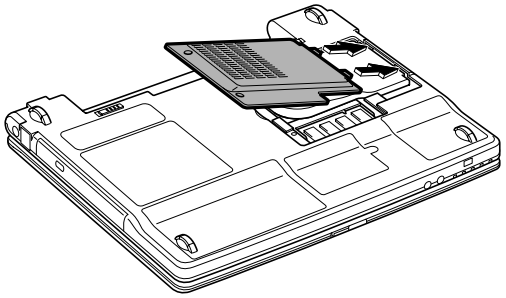


4 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し下げます。**

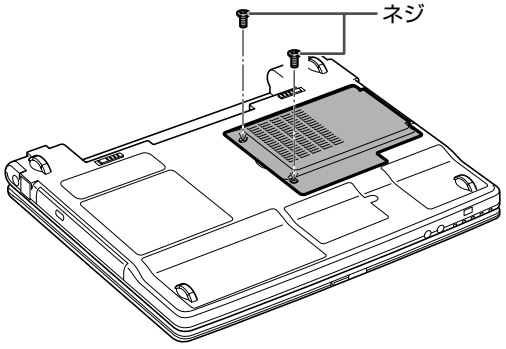
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。



5 **カバーの2箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、しっかり奥まで押し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻します。**



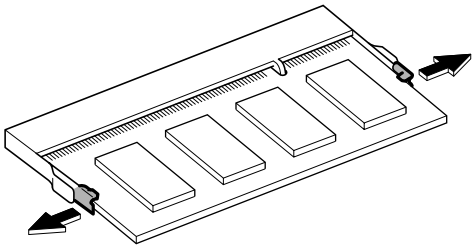
6 **カバーをネジで固定します。**



7 **バッテリーパックと AC アダプターを取り付けます。**
取り付けが終わったら、電源を入れてメモリー容量を確認してください。
（メモリーの容量を確認する ☞ 次ページ）

増設 RAM ボードを取り外す

増設 RAM ボードを取り付けるの手順 **3**、**4** で、RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。
RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。



メモリーの容量を確認する

1 **[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

2 **「システムのタスク」欄の「システム情報を表示する」をクリックします。**
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

メモリー容量が表示されます

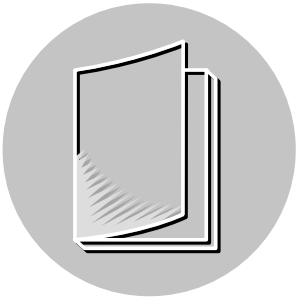
表示されるのは、ビデオメモリーとして使用される分（ご購入時の状態では32MB）を引いた値です。また、ドライバーがメモリーを使用している場合は、その分少なくなります。

3 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

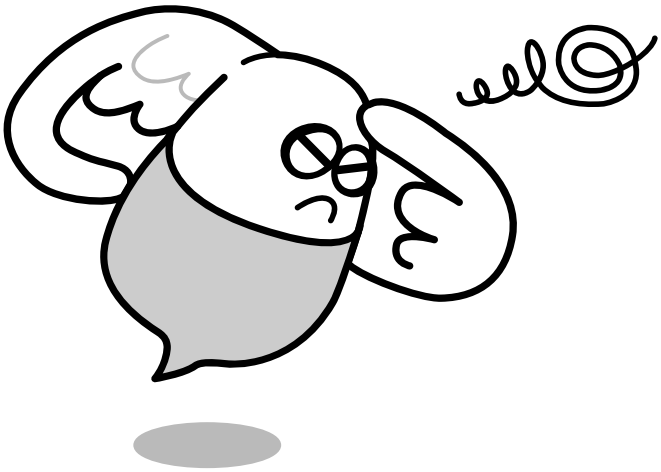
4 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

MEMO

困ったときは



操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。



故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。ここに記載されている内容で問題が解決しなかった場合は、「メビウスQ&A」（別冊）および「よくある質問集」（メビウス画面で見るマニュアル）を参照して、もう一度、内容をよくお確かめください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル 117
画面表示に関するトラブル 118
キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル 118
フロッピーディスクに関するトラブル 119
CD・DVD に関するトラブル 119
DirectHD に関するトラブル 120
通信に関するトラブル 122
その他のトラブル 122

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。 詳しくは、**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**（☞124ページ）を参照してください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

? フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。
- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- **セットアップユーティリティ**(☞154ページ)のMainメニューで「Boot Sequence」の「1st Boot Device」欄で「Floppy Disk Drive」に“•”マークが付いているか確認してください。

? 「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示される

- セットアップユーティリティの設定が消えています。以下の手順に従って操作してください。
  ① 「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されているときに、**Delete** キーを押します。
  Windows が起動します。
  ② ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ③ 「日付、時刻、地域と言語のオプション」をクリックします。
  「日付、時刻、地域と言語のオプション」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）
  ④ 「日付と時刻を変更する」をクリックします。
  「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
  ⑤ 日付や時刻を設定し、［OK］をクリックします。
  ⑥ 画面右上の ☒ をクリックして「日付、時刻、地域と言語のオプション」画面を閉じます。
  ⑦ セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。
  ご購入時の状態でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、**セットアップユーティリティ**（☞154 ページ）を参照してください。
- 上記の操作を行っても、繰り返しこのメッセージが表示されるときは、バックアップ電池がなくなっている可能性があります。**バックアップ電池を交換する**（☞164 ページ）を参照して、新しい電池に交換してください

? 「Press ‘H’ to retry Hard Disk, any other key for floppy」と表示される

- 再インストールに失敗したときは、このメッセージが表示されることがあります。その場合は、**C ドライブと D ドライブをリカバリ CD から再インストールする**（☞149 ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

画面表示に関するトラブル

? Fn ＋ F5 ( ) キーで画面が切り替わらない

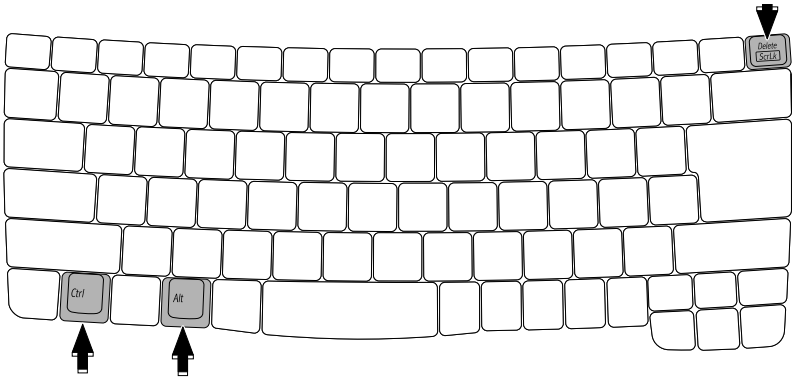
- 動画の再生中やゲームソフトの起動時は、画面の表示先が切り替わらないことがあります。そのときは動画やゲームソフトを終了してください。
- Windows のコントロールパネルの「デスクトップの表示とテーマ」の「画面」で、表示先を切り替えてください。

キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない

- 以下の手順に従って操作してください。

① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押し、「応答なし」と表示されているタスクを選択したあと、［タスクの終了］をクリックしてください。



② 上記の操作をしてもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。

③ 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、ACアダプターとバッテリーパックを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上の間隔をおいて AC アダプターとバッテリーパックを取り付け、電源を入れてください。

? パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない

- セットアップユーティリティ（☞154 ページ）の Advanced メニューで「Internal Pointing Device」に “√” マークが付いているか確認してください。
- USBマウスを接続しているときは、パッド型ポインティングデバイスが無効になります。USBマウスを取り外すか、**USBマウス接続時もパッド型ポインティングデバイスを有効にするには**（☞31 ページ）を参照して、設定を変更してください。
- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。

? 日本語の入力ができない

- 半角 / 全角・漢字 キーを押して、日本語入力システムがオンになっているか確認してください。
- Windows セットアップ時に「日付と通貨の表示方法を指定してください」の画面でキーボードの種類を「日本語」に設定してしまったときは、半角 / 全角・漢字 キーを押しても日本語入力システムがオンになりません。
  次の手順に従って、キーボードの種類を変更してください。
  ① Alt + 半角 / 全角・漢字 キーを押します。
  ② IME ツールバーを右クリックし、「設定」をクリックします。
  ③「設定」タブの「既定の言語」欄で「日本語 -Microsoft Natural Input 2003」を選択します。
  ④［OK］をクリックして「テキストサービスと入力言語」画面を閉じます。

フロッピーディスクに関するトラブル

? 2DD（720KB）および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

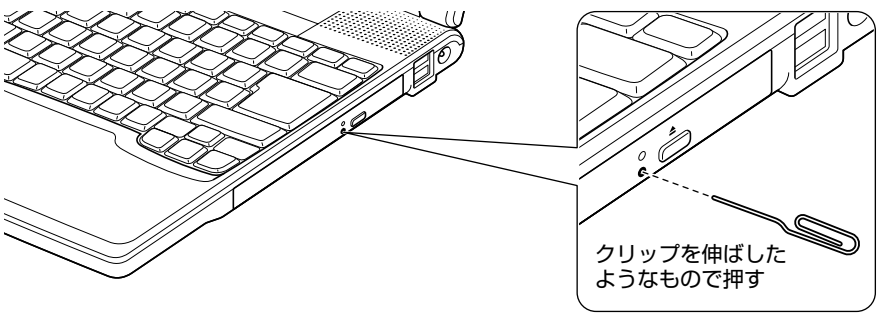
2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクにはフォーマットできません。
- DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや2HD-1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ(2HD-1.21MBタイプなど)のディスクに対しては読み書きできません。

CD・DVD に関するトラブル

? ドライブが開かない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもの(クリップを伸ばしたようなもの)で押してください。(通常はこの方法で開けないでください。)



? CD-R、CD-RW にデータを保存できない／CD-RW のデータを消去できない

- WindowsのCD書き込み機能を使って、データを書き込み／消去するときは、CD書き込み機能を有効にしてください。詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

? DVD-R への書き込みに時間がかかる

- ディスクを閉じてDVD-Rに1GB以下のデータを書き込む場合、DVDの規格に準拠するために1GBになるまでダミーデータを書き込みます。このため、書き込むデータ容量が少ない場合でも、書き込み完了までに時間がかかることがあります。

? DVD ビデオ再生時にコマ落ちが発生する

- DVDビデオによっては、コマ落ちする（音声や映像が一瞬途切れる）ことがあります。WinDVDのハードウェアデコードアクセラレーション機能 を有効にすると、再生画像が滑らかになり、コマ落ちなどの問題が改善される場合があります。
  ただし、画面の色を最高（32ビット）に設定していてもハードウェアデコードアクセラレーション機能を有効にすると、WinDVDの起動中は画面の色は中（16ビット）に設定されます。
  ① DVD ビデオの再生を停止します。
  ②「InterVideo WinDVD4」画面を右クリックし、表示されるメニューから「セットアップ ...」をクリックします。
  「セットアップ」画面が表示されます。
  ③「ビデオ」タブをクリックします。
  ④「ビデオハードウェア構成」欄の「ハードウェアデコードアクセラレーション使用」をクリックしてチェックマークを付けます。
  ⑤［OK］をクリックします。
  ハードウェアデコードアクセラレーション機能を有効にすると、「Movie Effector を有効にする」にチェックマークが付いていても、Movie Effector 機能は無効となります。

DirectHD に関するトラブル

「安心楽々引越しパックfor DirectHD」については、「安心楽々引越しパックfor DirectHD」のヘルプに該当する項目がないか確認してください。

? DirectHD として認識されない

- DirectHD 専用ケーブルがこのパソコンとホストPC に正しく接続されているか確認してください。
- このパソコンの電源が切れているか確認してください。
- ホストPCの操作でデバイスを停止した後、ホストPC との接続を終了しなかった場合、DirectHD として認識されません。DirectHD 専用ケーブルをいったん取り外してから、接続し直してください。

- ACアダプターを接続していない場合、このパソコンのバッテリー残量が少ないとDirectHDとして認識されません。ACアダプターを接続し、DirectHD専用ケーブルをいったん取り外してから、接続し直してください。
- USB ハブを使用している場合は、USB ハブに AC アダプターを取り付けているか確認してください。
- ホスト PC の OS が Windows98SE/WindowsMe/Windows2000/WindowsXP であることを確認してください。

? このパソコンがリムーバブルディスクとして表示される／このパソコンにアクセスできない

- このパソコンのセットアップユーティリティでパスワードを設定しているときは、ホストPC からアクセスできません。DirectHD パスワード解除ユーティリティでパスワードを一時解除してください。（**パスワードを一時解除する** ☞73 ページ）
  パスワードを一時解除しないでホスト PC との接続を終了し、セットアップユーティリティでパスワードを削除した場合は、次にホストPCに接続するとリムーバブルディスクとして表示されることがあります。その場合は、以下の手順に従ってください。
  ① このパソコンとホスト PC を接続します。
  ②「パスワード解除ユーティリティ」画面を表示します。
  ③［キャンセル］をクリックします。
  ④ デバイスを停止します。
  ⑤ DirectHD 専用ケーブルを取り外します。
  ⑥ このパソコンとホスト PC を接続します。

? データの転送速度が遅い／USB2.0 の転送速度を利用できない

- ホスト PC が USB2.0 に対応していることを確認してください。
- 付属のDirectHD専用ケーブルを使ってホストPCと接続しているか確認してください。
- USB ハブを使用している場合は、次のことを確認してください。
  - USB ハブが USB2.0 に対応しているか確認してください。
  - USB ハブに AC アダプターを取り付けているか確認してください。

  ただし、これらの条件を満たしている場合でも、USBハブを経由すると他のデバイスの影響により転送速度が遅くなる場合があります。

?「最近使ったファイル」からファイルが開けない

- ホストPC上で割り当てられるこのパソコンのドライブ名が、以前使用していたときから変わっていないか確認してください。
  ホストPCへの周辺機器接続状況により、このパソコンのドライブ名が変わってしまうことがあります。ドライブ名が変わっている場合は、「マイコンピュータ」画面から使用したいファイルを開いてください。

?「マイコンピュータ」画面に表示されるアイコンがおかしい

- ホスト PC への周辺機器接続状況により、「マイコンピュータ」画面に表示されるアイコンが正しく表示されなくなることがあります。そのときは F5 キーを押してください。ただし、ホスト PC の OS や設定状況によって F5 キーを押しても正しく表示されないことがあります。

?「ドライブ:X のディスクはフォーマットされていません」、「ディスクが挿入されていません」と表示される

- このパソコンにパスワードが設定された状態でアクセスすると、このメッセージが表示されることがあります。DirectHD パスワード解除ユーティリティでパスワードを一時解除してください。（パスワードを一時解除する ☞73 ページ）

通信に関するトラブル

?内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。
  ① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
  「パフォーマンスとメンテナンス」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（コントロールパネルの表示について ☞18 ページ）
  ③「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。
  ④「ハードウェア」タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。
  ⑤「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「VIA Compatable Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックします。
  ⑥「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Connection Type」を選択します。
  ⑦「値」を使用する環境に合った値に変更します。
  ⑧［OK］をクリックして「デバイスマネージャ」画面に戻ります。
  ⑨ 画面右上の ☒ をクリックして「デバイスマネージャ」画面を閉じます。
  ⑩ 画面右上の ☒ をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。
  ⑪ 画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

その他のトラブル

?電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞118 ページ）の操作をしてください。

? 電源が入らない

- DirectHD 使用時は、このパソコンの電源が入りません。ホスト PC との接続を終了してください。（**ホスト PC との接続を終了する** ☞71 ページ）
- いったんACアダプターを抜き、バッテリーパックを取り外してから、電源を入れ直してください。

?「ごみ箱」アイコンがおかしい／見えないファイルがごみ箱にある

- DirectHD 使用時にこのパソコンに保存されているファイルをホスト PC 上で削除し、「ごみ箱を空にする」を実行せずにホスト PC との接続を終了した場合、見えないファイルがごみ箱に保存されることがあります。次の手順に従ってごみ箱を空にしてください。

① ごみ箱の中に必要なファイルがないか確認してください。

②「ごみ箱タスク」欄の「ごみ箱を空にする」をクリックします。
確認画面が表示されます。
確認画面で表示されるファイルの項目数は実際にごみ箱に入っている数と異なります。

③［OK］をクリックします。

ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。

ご注意

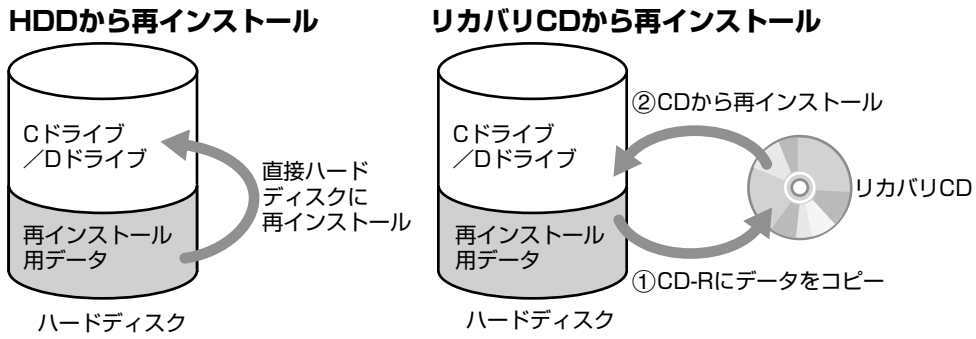
- 再インストールすると、ハードディスク内のCドライブとDドライブの内容はすべて消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。
- このパソコンは、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のハードディスクパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えたりしないでください。再インストール用のデータが消えて、HDDからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリソフトの中には、MBR（マスターブートレコード：ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリCDが作成できなかったりします。また、リカバリCDからの再インストール時にDドライブのデータが消えたりします。

ご参考

- **メビウス Q&A**（別冊）、**よくある質問集**（メビウス画面で見るマニュアル）および**故障かな？と思ったら**（☞116ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールの種類

再インストールには、以下の 2 つの方法があります。



ハードディスクドライブから再インストールする

あらかじめハードディスクドライブ（以下「HDD」と表記します）に保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
リカバリCDよりも短時間で再インストールを完了することができますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、再インストールができなくなってしまいます。

リカバリ CD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったんCD-Rにコピーし、CD からハードディスクに再インストールする方法です。
お客様ご自身で CD-R を用意し、リカバリ CD の作成作業をしていただく必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、リカバリCDから再インストールすることができます。

再インストールの準備をする

再インストールの手順を確認する

HDD から再インストールする場合

HDD から再インストールするときは、以下の手順でします。

Step1 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

Step2 HDD から再インストール用のデータを再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

⇩

Step4 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

リカバリ CD から再インストールする場合

リカバリ CD から再インストールするときは、以下の手順でします。

リカバリ CD を作成する

⇩

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2 リカバリ CD の内容を再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

⇩

Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

Step5 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

ご参考

- 一度リカバリ CD を作成しておくと、2 回目以降は作成する必要はありません。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータやインターネットなどの設定は、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（**メビウス活用ガイド** ☞別冊）

必要なものを準備する

説明書

- はじめにお読みください

Microsoft Office Personal 2003 パック

- 「Microsoft Office Personal Edition 2003」の CD-ROM
- 「Microsoft Office Home Style+」の CD-ROM
- スタートガイド

リカバリ CD から再インストールする場合は以下のものもご用意ください。

- 650MB または 700MB の新しい CD-R（4 枚）
- ペン先が硬くない油性ペンなど

※すでにリカバリ CD を作成している場合は以下のものをご用意ください。

- リカバリ CD（4 枚）

パソコンを準備する

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンに周辺機器（USB機器、PCカードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。**

3 **パソコンに AC アダプターを取り付けます。**

ご注意

- 必ず AC アダプターは接続しておいてください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、PowerQuest EasyRestore を使用します。再インストールの前に、下記の「PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「契約書」)は、お客様とPowerQuest Corporationとの間に締結される法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。本契約書で言う「ソフトウェア製品」とは、本契約書が添付されたCDやディスク媒体、またはネットワークからロードされるEasyRestoreソフトウェアを意味します。

1. 所有権

ソフトウェア製品はPowerQuest Corporation(以下「PowerQuest」)またはそのライセンサーが有するものであり、著作権法および国際条約の規定により保護されています。ソフトウェア製品、その複製物、修正物、構成部分についての権原および著作権は、PowerQuestまたはそのライセンサーに帰属します。

2. ライセンスの許諾

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。
- ソフトウェア製品は、コンピュータシステムに既にインストールされているソフトウェアのバックアップ目的で作成されたイメージファイルに付属して提供され、当該イメージファイルを復元する目的にのみ使用することができます。
- ソフトウェア製品は、当該イメージファイルが付属して提供された特定のコンピュータシステムでのみ、使用することができます。

3. 使用制限

PowerQuestの許可なく、
(a) 本契約書で許諾された範囲を超えて、ソフトウェア製品の使用、複製、改造、修正してはならず、電子的または他の方法で転送することはできません。
(b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブルまたは逆コンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすることはできません。

4. 技術サポート

ソフトウェア製品へのサポートは、PowerQuestおよび日本総代理店である(株)ネットジャパンが提供するものではありません。製品サポートに関しては、ソフトウェア製品をお客様に販売した供給者にお問い合わせください。

5. アメリカ合衆国政府が制限されている権利

お客様が、アメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わってソフトウェア製品を取得する場合には、以下の規定が適用されます。
- ソフトウェア製品がプライベートな費用で開発されており、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと。
- ソフトウェア製品が制限された権利と共に供給されていること。
- 政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第252.227-7013の条項に定める技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c) (1)(ii)、また48 CFR 第52.227-19に定める商用コンピュータソフトウェア－制限された権利の補節 (c) (1) および(2)の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911です。

6. 限定保証

PowerQuestは、ソフトウェア製品について、お客様に直接に保証するものではありません。
PowerQuestは、ソフトウェア製品を販売した供給者に対して、ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作することを保証してます。
ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作しない場合にPowerQuestは修復し、当該供給者が修復後のソフトウェア製品を配布することを認めます。

7. 責任の制限

PowerQuestおよび供給者は、いかなる場合においても、ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じるいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない)について、責任を負いません。例え、PowerQuestがかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、同様です。

本契約書は、対象条項に関するお客様とPowerQuest間の完全な合意を構成するものです。本契約書は、(法の抵触の諸原則以外は)ユタ州法を準拠法とします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuestか、日本総代理店である(株)ネットジャパン宛、書面にて連絡してください。

PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911
(株)ネットジャパン／〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3

Copyright 1994-2004, PowerQuest Corporation. All rights reserved.
米国特許 5.675.769 , 5.706.472 , 5.930.831 他に、特許出願中です。
PowerQuestはPowerQuest Corporationの登録商標です。
EasyRestoreはPowerQuest Corporationの商標です。

HDD から再インストールする

ここでは、あらかじめハードディスクに保存されている再インストール用のデータを使って再インストールする方法を説明します。

再インストールする前に、**再インストールの準備をする**（☞126 ページ）を参照してください。

C ドライブのみを HDD から再インストールする

ここでは D ドライブの内容はそのままにして、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。

この操作では、D ドライブはフォーマットされません。

ご注意

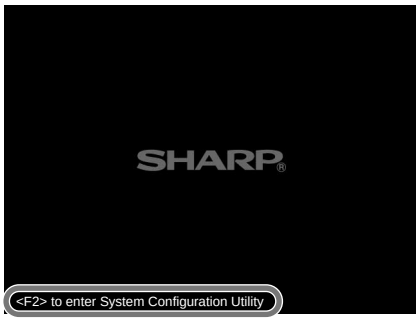
- 大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

ご参考

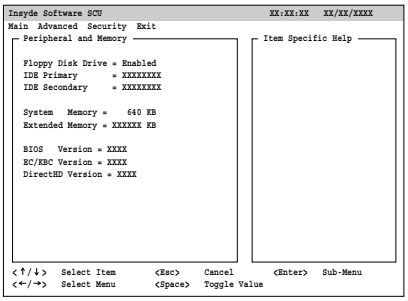
- ハードディスク全体をご購入時の状態に復元することもできます。**ハードディスク全体を HDD から再インストールする**（☞135 ページ）を参照してください。
- ハードディスクの C ドライブと D ドライブの容量を変更して、C ドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元することができます。**指定のサイズにハードディスク容量を分割して HDD から再インストールする**（☞137 ページ）を参照してください。

Step1 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

1 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。

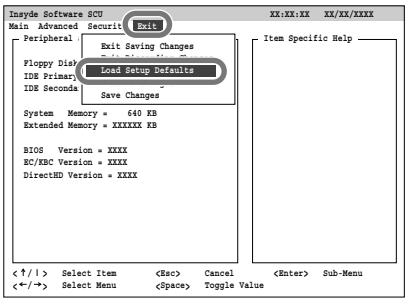


セットアップユーティリティの画面が表示されます。



2 **設定を初期値に変更します。**

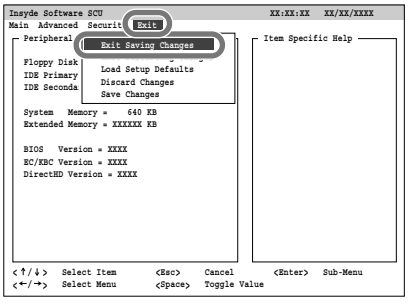
①「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）をクリックします。



②「Load the default settings now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［OK］をクリックします。

3 **設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。**

①「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）をクリックします。



②「Save your changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［OK］をクリックします。

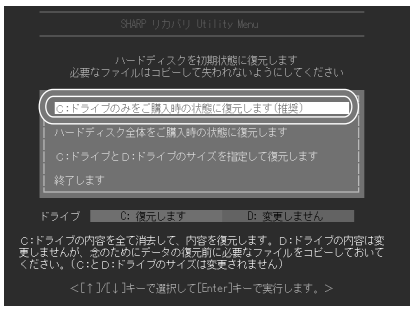
パソコンが再起動されます。

4 **パソコンが再起動され、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されているとき、F10 キーを押します。**

5 **次の「Step2 HDDから再インストール用のデータを再インストールする」に進みます。**

Step2 HDD から再インストール用のデータを再インストールする

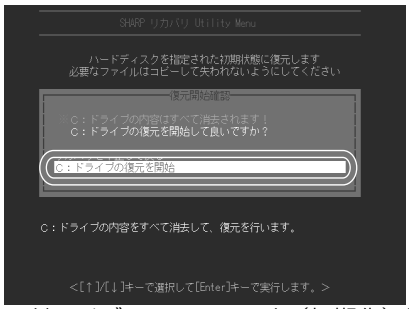
1 次の画面が表示されたら、「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、[↵] キーを押します。



「終了します」を選択したときは

- 「終了します」を選択し、[↵] キーを押したときは、パソコンが再起動されます。

2 [↓] [↑] キーで「C：ドライブの復元を開始」を選択し、[↵] キーを押します。



C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、**ハードディスク全体をHDDから再インストールする**（☞135 ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

3 ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されます。

4 次の「Step3 Windows をセットアップする」に進みます。

Step3 Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。

1 **「はじめにお読みください」（別冊）の「Step3 Windowsのセットアップ」を参照して、Windows をセットアップします。**

ただし、セットアップ中のユーザー登録はする必要がありませんので、省略して進んでください。

2 **次の「Step4 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする」に進みます。**

Step4 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする

1 **Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft IME をインストールします。**

① 「Microsoft Office Personal Edition 2003」の CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。

「Microsoft Office 2003 セットアップ」画面が表示されます。

② Office Personal 2003 パックに付属の**スタートガイド**を参照してインストールします。

次の画面では、「完全インストール」を選択してください。

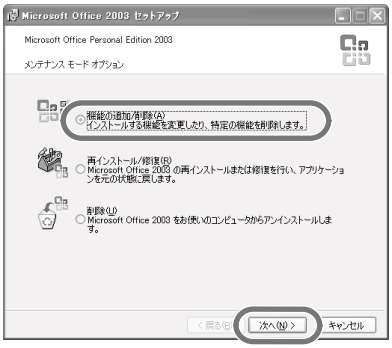
2 Office Personal 2003 のインストールが完了したら、Office Personal 2003 の音声認識機能を削除（アンインストール）します。

① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

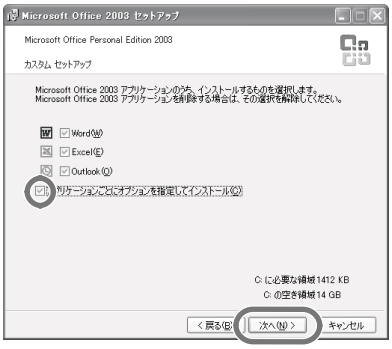
② 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。
クリックして「プログラムの追加と削除」画面が表示されないときは、ダブルクリックして表示させてください。

③ リストから、「Microsoft Office Personal Edition 2003」をクリックして選択し、［変更］をクリックします。

④ 「機能の追加／削除」が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

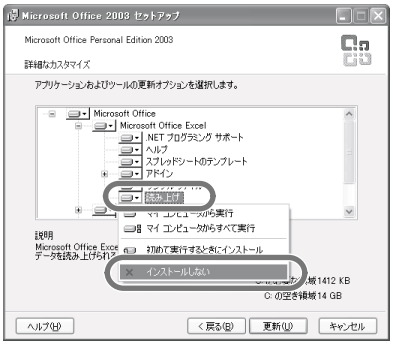


⑤ 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックしてチェックマークを付け、［次へ］をクリックします。



⑥「Microsoft Office Excel」の横にある ⊞ をクリックします。

⑦「読み上げ」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。



が に変わります。

⑧「Microsoft Office Excel」の横にある ⊟ をクリックします。

⑨「Office 共有機能」の横にある ⊞ をクリックします。

⑩「入力システムの拡張」の横にある ⊞ をクリックします。

⑪「音声」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑫［更新］をクリックします。

⑬「Microsoft Office 2003が正常に更新されました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

⑭ 画面右上の ☒ をクリックして「プログラムの追加と削除」画面を閉じます。

⑮ 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

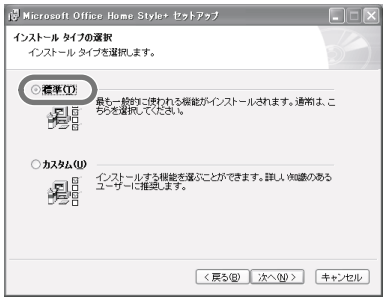
3 Microsoft Office Home Style+ をインストールします。

① CD/DVD ドライブのイジェクトボタンを押して「Microsoft Office Personal Edition 2003」の CD-ROM を取り出し、「Microsoft Office Home Style+」の CD-ROM をドライブにセットします。

「Microsoft Office Home Style+ セットアップ」画面が表示されます。

② 画面に表示される指示に従って、Microsoft Office Home Style+ をインストールします。

次の画面では、「標準」を選択してください。



③「セットアップは正常に終了しました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

4 これで再インストールは完了です。CD/DVD ドライブのイジェクトボタンを押して「Microsoft Office Home Style+」の CD-ROM を取り出してください。

ライセンス認証ウィザードについて

- 再インストール後、Officeアプリケーションを起動すると、「Microsoft Office使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office 2003 ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office Personal 2003パックに付属の**スタートガイド**を参照してください。

その他の方法で HDD から再インストールする

ハードディスク全体をご購入時の状態に戻したり、CドライブとDドライブの容量を設定し、C ドライブのみをご購入の状態に戻すことができます。
いずれも、ハードディスクの内容はすべて削除されます。

ハードディスク全体を HDD から再インストールする

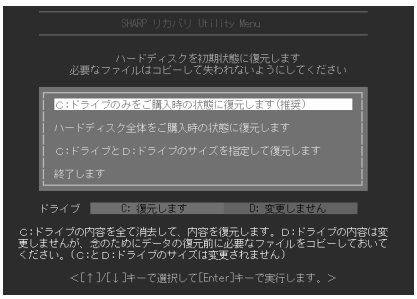
ハードディスク全体をフォーマットして、ご購入時の状態に復元します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。

ご注意

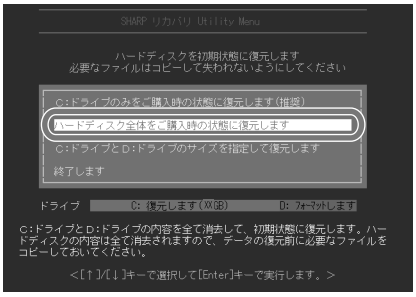
- この操作では、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」（☞129 ページ）の手順 1 ～ 4 の作業をします。**

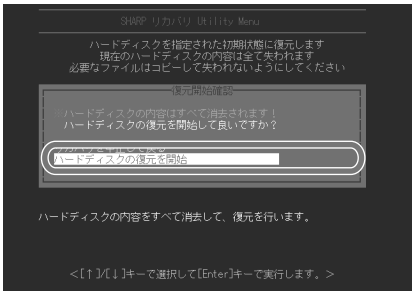
作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。



2 **[↓] [↑] キーで「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」を選択し、[↵] キーを押します。**



3 **[↓] [↑] キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、[↵] キーを押します。**



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

4 **ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されます。「Step3　Windows をセットアップする」（☞132 ページ）に進みます。**

指定のサイズにハードディスク容量を分割して HDD から再インストールする

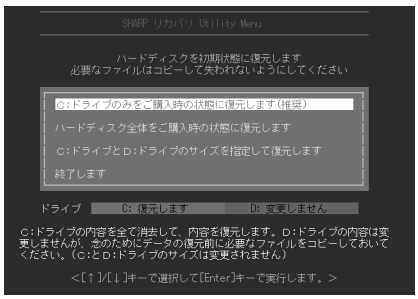
ハードディスク全体をフォーマットして、指定のサイズのCドライブとDドライブに設定し、C ドライブのみをご購入時の状態に復元します。

ご注意

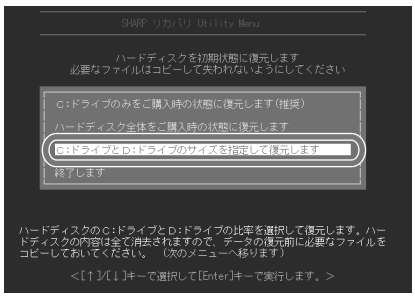
- この操作では、C ドライブだけでなくD ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」（☞129 ページ）の手順 1 ～ 4 の作業をします。**

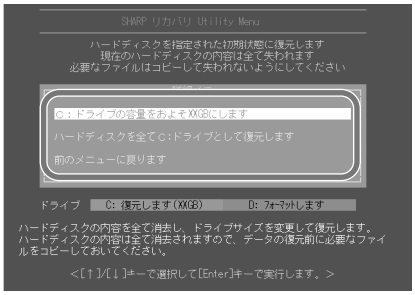
作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。



2 **↓ ↑ キーで「C：ドライブと D：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択し、↵ キーを押します。**



3 ↓ ↑ **キーで C ドライブの容量を選択し、** ⏎ **キーを押します。**

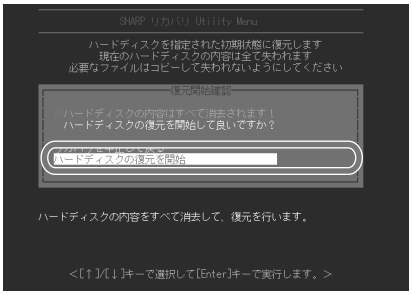


実際の画面と異なる場合があります。

ご注意

- ホスト PC が Windows Me または Windows 98SE の場合、「ハードディスクを全て C: ドライブとして復元します」を選択して再インストールすると、DirectHD 機能を利用してこのパソコンにアクセスできなくなります。

4 ↓ ↑ **キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、** ⏎ **キーを押します。**



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

5 **ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されます。**
「Step3　Windows をセットアップする」（☞132 ページ）に進みます。

リカバリ CD から再インストールする

このパソコンにはリカバリ CD が付属していません。
リカバリCDから再インストールする前にまず、再インストール用のデータをCD-RにコピーしてリカバリCDを作成する必要があります。ここでは、リカバリCDの作成方法と、そのリカバリ CD を使って再インストールする方法を説明します。
再インストールする前に、**再インストールの準備をする**（☞126 ページ）を参照してください。

リカバリ CD を作成する

リカバリ CD を作成するときの準備

リカバリ CD を作成する前に、次の準備をしてください。

- AC アダプターを接続する。
- 「電源オプションのプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**消費電力を節約する** ☞45 ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

必要なものを準備する

リカバリ CD を作成する前に、次のものを準備してください。

- 650MB または 700MB の新しい CD-R を 4 枚ご用意ください。動作確認済みの CD-R については、**CD-R ／ CD-RW にデータを書き込む**（☞57 ページ）を参照してください。
- ペン先が硬くない油性ペンなど

ご注意

- リカバリ CD は一度しか作成できません。

ご参考

- 一度リカバリCDを作成しておくと、2回目以降は作成する必要はありません。また、リカバリ CD の作成を途中で中止しても、最初からやり直してリカバリ CD を作成することができます。
- リカバリ CD を作成した後も、HDD から再インストールすることができます。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリ CD を作成するときには、Bootable CD Creator を使用します。リカバリ CD を作成する前に、下記の「Bootable CD Creatorソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

Bootable CD Creatorソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム(Bootable CD Creater)、データおよびマニュアル(以下総称して「本製品」という)は、Enterprise Corporation International (以下「ＥＣＩ」という)が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的：

本製品は、シャープ(株)が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable CD として作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します:

1．本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2．本製品を 2 台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3．本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布(パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む)すること。
4．本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5．本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6．本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7．本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8．ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ＥＣＩは本製品の使用を終了させることができます。

制限付き保証：

ＥＣＩは、本製品が付属するＥＣＩの資料に従ってほぼ動作することを保証します。ＥＣＩおよびシャープ(株)は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限：

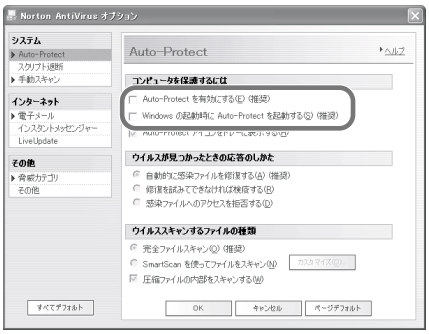
ＥＣＩおよびシャープ(株)は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これはＥＣＩが当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

Norton AntiVirus の Auto-Protect を無効にする

リカバリCDを作成する前に、次の手順に従ってNorton AntiVirusのAuto-Protectを無効にしてください。

1 **タスクバーの を右クリックし、「Norton AntiVirus の設定」をクリックします。**
「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。

2 **「コンピュータを保護するには」欄の「Auto-Protectを有効にする」および「Windows の起動時に Auto-Protect を起動する」をクリックしてチェックマークを外します。**



3 **[OK] をクリックします。**
確認画面が表示されます。

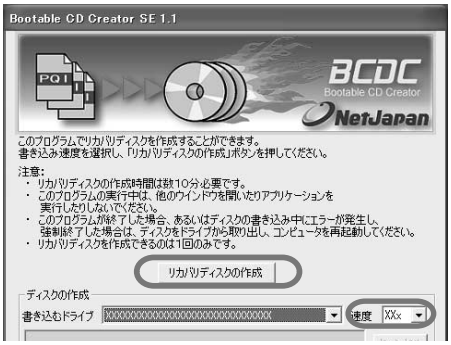
4 **[OK] をクリックします。**
タスクバーの が に変わります。

Bootable CD Creator でリカバリ CD を作成する

1 **新しい CD-R を CD/DVD ドライブにセットします。**
何か画面が表示されたときは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

2 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」－「プロダクトリカバリ CD 作成」をクリックします。**
Bootable CD Creator が起動します。

3 **「速度」欄の をクリックして、リストから使用する CD-R に応じた速度を選択し、[リカバリディスクの作成] をクリックします。**



4 **確認画面で [はい] をクリックします。**

5 **確認画面で［OK］をクリックします。**
CD への書き込みが始まります。

ご注意

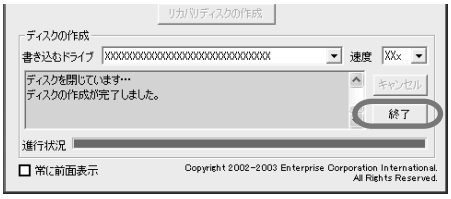
- CD書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

6 **画面に表示される指示に従って、新しい CD-R と入れ替えます。**
書き込みが完了したリカバリCDから順に、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリCDディスク1」、「リカバリCDディスク2」、「リカバリCDディスク3」、「リカバリCDディスク4」と書いてください。

ご参考

- 何か画面が表示されたときは、画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じてください。

7 **「ディスクの作成が完了しました」と表示されたら［OK］をクリックし、［終了］をクリックします。**



ご注意

- 作成したリカバリ CD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

8 **確認画面で［はい］をクリックして 、「Bootable CD Creator」画面を閉じます。**

9 **CD/DVD ドライブから CD-R を取り出してください。**

Norton AntiVirus の Auto-Protect を有効にする

1 **タスクバーの を右クリックし、「Norton AntiVirus の設定」をクリックします。**
「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。

2 **「コンピュータを保護するには」欄の「Auto-Protectを有効にする」および「Windowsの起動時に Auto-Protect を起動する」をクリックしてチェックマークを付けます。**

3 **［OK］をクリックします。**
確認画面が表示されます。

4 **［OK］をクリックします。**
タスクバーの が に変わります。

5 **これでリカバリ CD の作成は完了です。**

C ドライブのみをリカバリ CD から再インストールする

ここでは D ドライブの内容はそのままにして、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。

この操作では、D ドライブはフォーマットされません。

再インストールする前に、**再インストールの準備をする**（☞126ページ）を参照してください。

ご注意

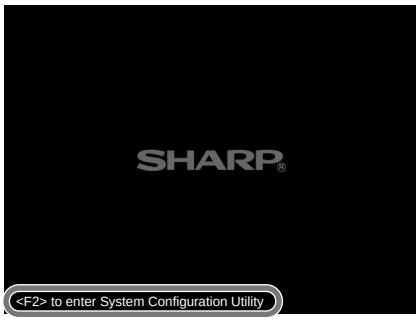
- 大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

ご参考

- C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に復元することができます。**C ドライブと D ドライブをリカバリ CD から再インストールする**（☞149ページ）を参照してください。
- ハードディスクの C ドライブと D ドライブの容量を変更して、C ドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元することができます。**指定のサイズにハードディスク容量を分割してリカバリ CD から再インストールする**（☞150ページ）を参照してください。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

1 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。

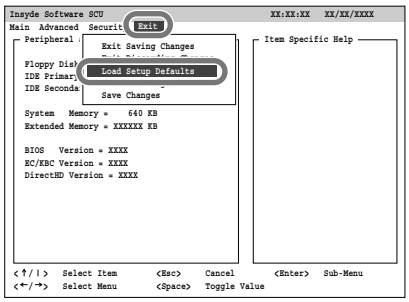


セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 「リカバリ CD ディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットします。

3 設定を初期値に変更します。

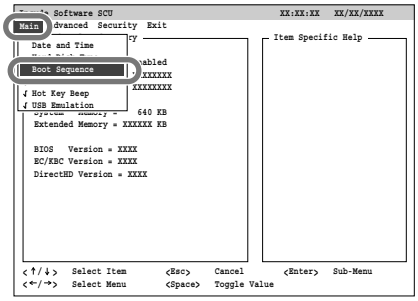
① 「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）をクリックします。



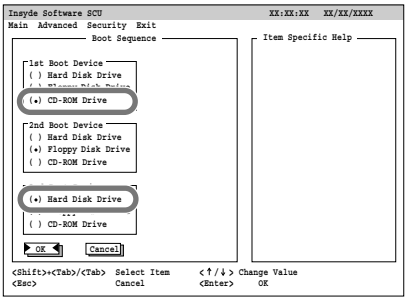
② 「Load the default settings now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［OK］をクリックします。

4 CD-ROM から起動するようにします。

① 「Main」メニューをクリックし、「Boot Sequence」をクリックします。



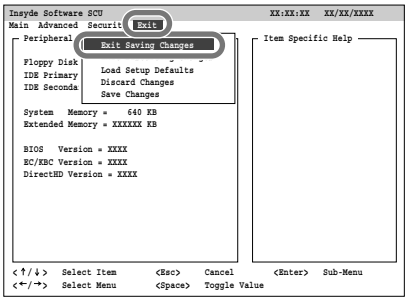
② 「1st Boot Device」欄の「CD-ROM Drive」をクリックし、「3rd Boot Device」欄の「Hard Disk Drive」をクリックします。



③ [OK] をクリックします。

5 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

① 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」(変更内容を保存して終了)をクリックします。

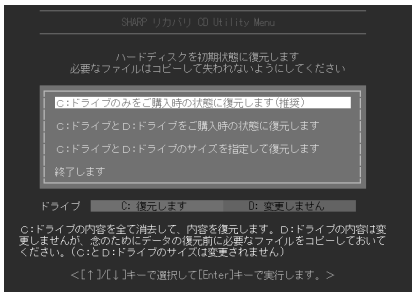


② 「Save your changes and exit now?」(設定を保存して終了しますか？)と表示されたら、[OK] をクリックします。
パソコンが再起動されます。

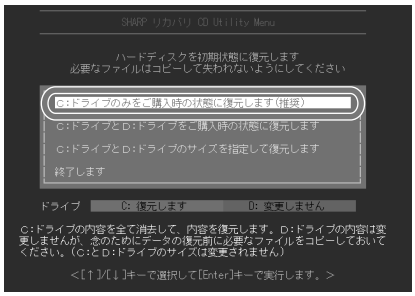
6 次の「Step2 リカバリ CD の内容を再インストールする」に進みます。

Step2 リカバリ CD の内容を再インストールする

パソコンが起動した後、次の画面が表示されます。



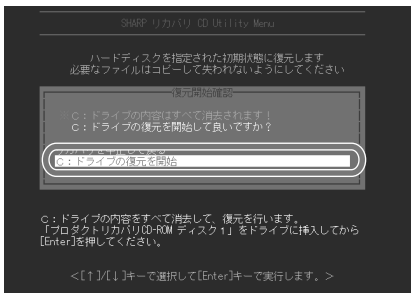
1 **「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、[↵] キーを押します。**



「終了します」を選択したときは

- 「終了します」を選択し、[↵] キーを押したときは、「リカバリ CD ディスク 1」を CD/DVD ドライブから取り出し、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2 **[↓] [↑] キーで「C：ドライブの復元を開始」を選択し、[↵] キーを押します。**

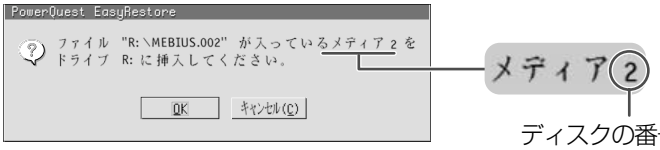


C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、**C ドライブと D ドライブをリカバリ CD から再インストールする**（☞149 ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

3 **途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、リカバリCDを入れ替えてください。**



例えば、上記画面のように「メディア 2」と表示されているときは、「リカバリ CD ディスク 2」を CD/DVD ドライブにセットし、[↵] キーを押します。

4 **ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、パソコンが再起動されますので、次の「Step3 Windows をセットアップする」に進みます。**

Step3 Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。

1 **CD/DVD ドライブ のイジェクトボタンを押してリカバリ CD を取り出します。**

2 **「はじめにお読みください」（別冊）の「Step3 Windows のセットアップ 」を参照して、Windows をセットアップします。**

ただし、セットアップ中のオンラインユーザー登録はする必要がありませんので、省略して進んでください。

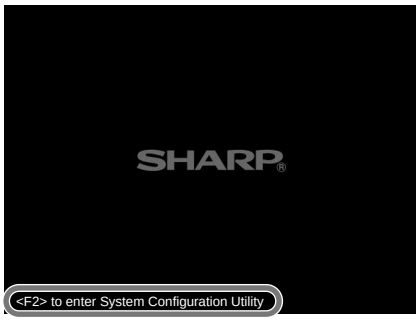
3 **次の「Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」に進みます。**

Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

Windows が起動された状態から作業します。

1 Windows を終了します。

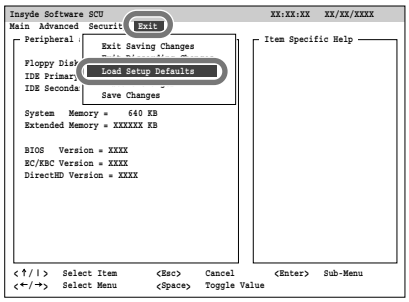
2 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。



セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 設定を初期値に変更します。

① 「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）をクリックします。



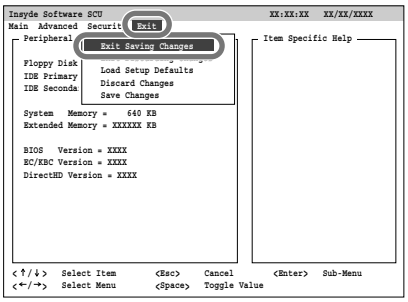
② 「Load the default settings now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［OK］をクリックします。

ご参考

- セットアップユーティリティの項目は、必要に応じて設定し直してください。

4 **設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。**

① 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）をクリックします。



② 「Save your changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［OK］をクリックします。

パソコンが再起動されます。

5 **次の「Step5 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする」に進みます。**

Step5 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする

Office Personal 2003 パックの内容を再インストールするには、**Step4 Office Personal 2003 パックの内容を再インストールする**（☞132 ページ）を参照してください。

その他の方法でリカバリ CD から再インストールする

C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に戻したり、C ドライブと D ドライブの容量を設定し、C ドライブのみをご購入の状態に戻すことができます。
ここで説明している方法で再インストールすると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータは削除されます。HDDからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

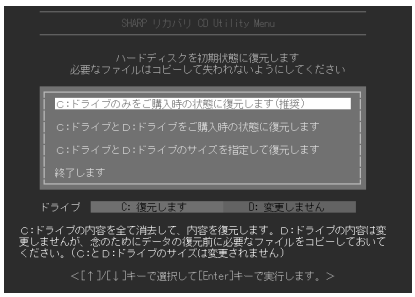
C ドライブと D ドライブをリカバリ CD から再インストールする

ハードディスク全体をフォーマットして、C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に復元します。

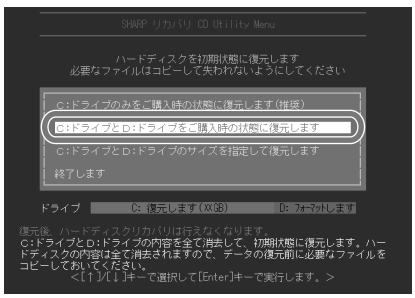
ご注意

- この操作では、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に CD-R/RW やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。
- ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。

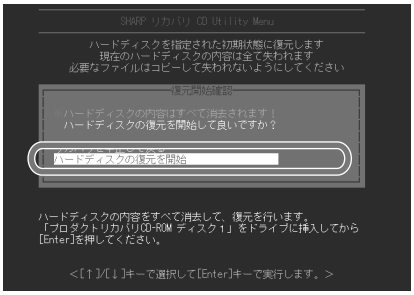
1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する」（☞143 ページ）の手順 1 ～ 5 の作業をします。**
作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。



2 **[↓] [↑] キーで「C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に復元します」を選択し、[↵] キーを押します。**



3 ↓ ↑ キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、↵ キーを押します。



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

4 **「Step2　リカバリ CD の内容を再インストールする」の手順 3（☞146 ページ）に進みます。**

指定のサイズにハードディスク容量を分割してリカバリCDから再インストールする

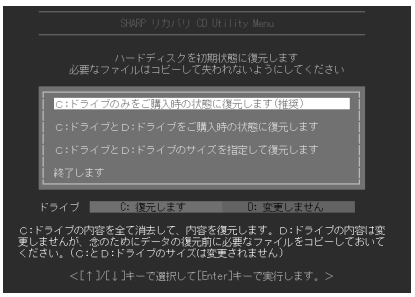
ハードディスク全体をフォーマットして、指定のサイズのCドライブとDドライブに設定し、C ドライブのみをご購入時の状態に復元します。ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。

ご注意

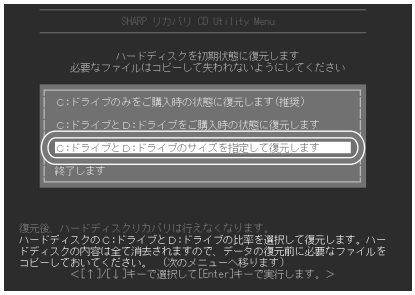
- この操作では、C ドライブだけでなくD ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前にCD-R/RWやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。
- ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する」（☞143 ページ）の手順 1 ～ 5 の作業をします。**

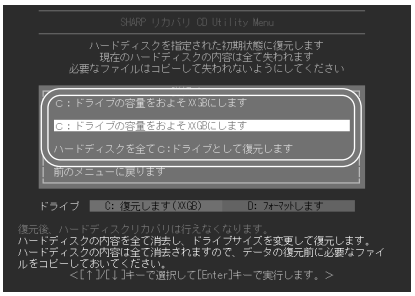
作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。



2 ↓ ↑ キーで「C：ドライブと D：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択し、↵ キーを押します。



3 ↓ ↑ キーで C ドライブの容量を選択し、↵ キーを押します。

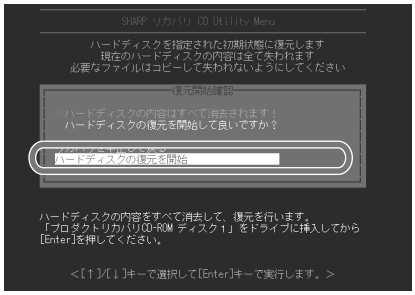


実際の画面と異なる場合があります。

ご注意

- ホスト PC が Windows Me または Windows 98SE の場合、「ハードディスクを全て C: ドライブとして復元します」を選択して再インストールすると、DirectHD 機能を利用してこのパソコンにアクセスできなくなります。

4 ↓ ↑ キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、↵ キーを押します。



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

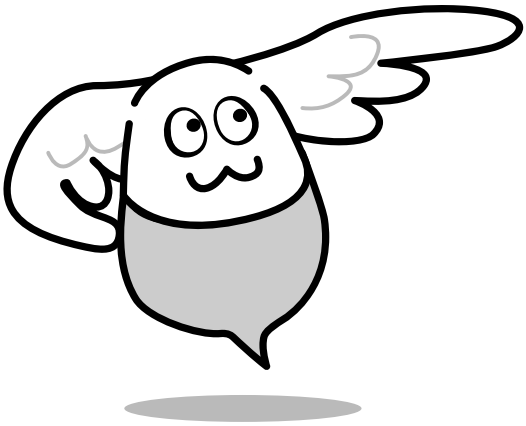
- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

5 「Step2 リカバリ CD の内容を再インストールする」の手順 **3**（☞**146** ページ）に進みます。

MEMO

付録

セットアップユーティリティの設定内容やパソコンに関する補足情報などについて紹介しています。また、「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。



セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定(接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定など) を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Exit メニュー

ご参考

- 誤って変更してしまったときは、**すべての設定を初期値に戻す** (☞159 ページ) の操作をしてください。

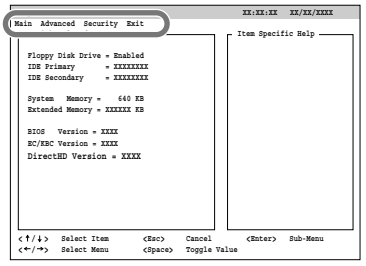
設定内容を変更する

1 **電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、 F2 キーを押します。**

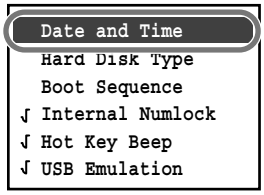
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **設定したいメニューをクリックします。**



選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 設定項目をクリックします。



“√”または“＿”マークのある項目は

クリックするたびに設定が切り替わります。

“√”：有効

“＿”：無効

マークのない項目は

クリックすると、サブメニューが表示されます。

現在の設定には、“•”マークが付いています。他の値をクリックすると、“•”マークが移動します。設定したい値をクリックして“•”マークを移動し、［OK］をクリックします。

キーボードで操作するには

次のキーを押します。（画面の下段に操作案内が表示されています。）

メニュー表示時のキー操作

←　→ ： メニューを選びます。

↓　↑ ： 項目を選びます。

↵ ： サブメニューを表示します。

Space ： 設定を切り替えます。

サブメニュー表示時のキー操作

Tab ： 項目間を移動します。

↓　↑ ： 設定内容を変更します。（“•”マークが移動します。）

Esc ： 設定を取り消し、１ステップ前の状態に戻ります。

↵ ： 設定を保存し、メニューに戻ります。

（ただし［Cancel］選択時を除く。）

0 ～ 9 ： 日付や時刻を入力する。

5 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。

6 「Save your changes and exit now?」と表示されたら、［OK］をクリックます。

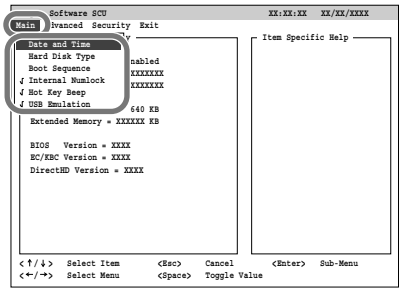
変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

ご参考

- セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。ディスプレイを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻、システム起動時にデータを読み取りに行く場所(デバイス)など、システムの基本的な設定項目があります。



Date and Time

時刻と日付を設定します。(24 時間制で 日／月／年、時／分／秒の順)

Hard Disk Type

ハードディスクのタイプを設定します。通常は「Ultra DMA-100」のままお使いください。

Boot Sequence

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。それぞれの項目に同じドライブが重複しないように設定してください。

- 1st Boot Device ：最初に使用するデバイス
- 2nd Boot Device ：2 番目に使用するデバイス
- 3rd Boot Device ：3 番目に使用するデバイス
- Hard Disk Drive ：ハードディスクドライブから起動
- Floppy Disk Drive：フロッピーディスクドライブから起動
- CD-ROM Drive ：CD/DVD ドライブから起動

Internal Numlock

Fn + Insert (NumLk) キーを押したときに、内蔵キーボードを数字キーロックモードに切り替える／切り替えないを設定します。

“√”**表示時**：切り替える　　“_”**表示時**：切り替えない

Hot Key Beep

Fn キーと、F1[※1]、F5、F6、F7、F8、F10、F11、F12 の各キーを組み合わせて押したときに、音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

“√”**表示時**：鳴らす　　“_”**表示時**：鳴らさない

※ 1 ワイヤレス LAN 内蔵の場合のみ。

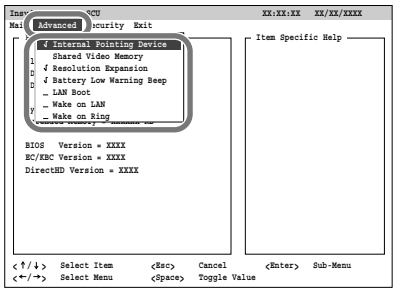
USB Emulation

Windows が起動していない状態で、USB キーボード、USB フロッピーディスクドライブを使用できるようにする／使用できないようにするを設定します。

“√”**表示時**：使用できる　　“_”**表示時**：使用できない

Advanced メニュー

パソコンの動作に関する設定項目があります。



Internal Pointing Device

パッド型ポインティングデバイスの有効／無効を設定します。

“√”表示時：有効にする　　“_”表示時 ：無効にする

Shared Video Memory

エクステンドメモリーと共有するビデオメモリーのサイズ(8M/16M/32M)を設定します。

Resolution Expansion（Windows 環境では無効）

800 x 600 ドット表示にしたときに、拡大して表示するか、拡大せずに中央に表示するかを設定します。

“√”**表示時**：拡大する　　“_”**表示時** ：拡大しない

Battery Low Warning Beep

バッテリーパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

“√”**表示時**：鳴らす　　“_”**表示時** ：鳴らさない

LAN Boot

ネットワーク(LAN）上の起動用サーバーから起動する／起動しないを設定します。

“√”**表示時**：起動する　　“_”**表示時** ：起動しない

Wake on LAN

内蔵LANインターフェースが起動用パケットを受信したときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

“√”**表示時**：復帰させる　　“_”**表示時** ：復帰させない

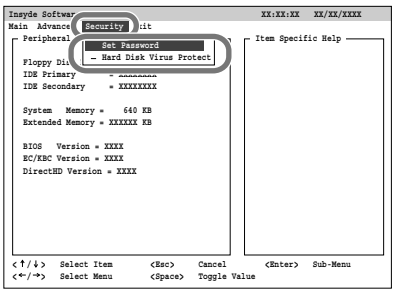
Wake on Ring

内蔵モデムに着信があったときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

“√”**表示時**：復帰させる　　“_”**表示時** ：復帰させない

Security メニュー

パスワードの登録など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。



Set Password

パスワードを登録します。8 文字までの半角英数字および記号で設定してください。

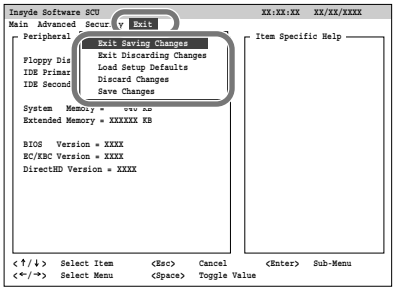
Hard Disk Virus Protect

ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止する／禁止しないを設定します。ハードディスクのフォーマットや再インストールするときなどは、“ _ ”にしてください。

“√”**表示時**：禁止する　　“ _ ”**表示時**：禁止しない

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。



Exit Saving Changes

変更内容を保存して、セットアップユーテリティを終了します。

Exit Discarding Changes

変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Defaults

セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes

セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

Save Changes

変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」をクリックします。**

2 **「Load the default settings now?」と表示されたら、[OK] をクリックします。**
すべての設定が初期値に戻ります。

3 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

4 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK] をクリックします。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

パスワードを設定して使用できる人を制限する

パソコンの不正使用やデータの盗難を防止するために、パスワードを設定することができます。パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

ここでは、セットアップユーティリティで設定するパスワードについて説明します。このパスワードを設定すると、パソコンの起動およびセットアップユーティリティの起動と変更を制限することができます。また、DirectHD 使用時、ホスト PC からこのパソコンへアクセスできる人を制限することもできます。この場合、ホストPCからこのパソコンにアクセスするには、DirectHDパスワード解除ユーティリティでパスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。（**使用できる人を制限する** ☞73ページ）

ご参考

- セットアップユーティリティで設定するパスワードとは別に、Windowsのユーザーアカウント毎にパスワードを設定することもできます。詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

パスワードを登録する

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンが起動できなくなります。

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **「Security」メニューをクリックし、「Set Password」をクリックします。**
パスワード入力画面が表示されます。

4 **「Enter new Password」で、パスワードを入力し、↵ キーを押します。**
数字キーロックモードは解除しておくことを、お勧めします。
パスワードは、8 文字までの半角英数字、および記号で設定してください。

5 **「Confirm new Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、↵ キーを押します。**

6 **「Password on Boot」の左にチェックマーク（√）が付いていることを確認します。**

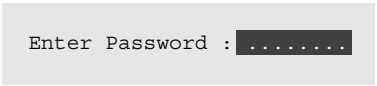
7 **［OK］をクリックします。**

8 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

9 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、［OK］をクリックします。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録したパソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面(下記)にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。



パスワードの入力をまちがえると、「Password Error」画面が表示されますので、[↵]キーを押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を 3 回まちがえると、「Password strings do not much. You type wrong password for 3 times. System will be shut down.」と表示されます。このときは、[↵]キーを押すと電源が切れますので、その後 10 秒以上たってから、電源を入れ直してください。

パスワードを変更する／削除する

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、[F2] キーを押します。**

3 **パスワードを入力し、[↵] キーを押します。**
セットアップユーティリティの画面が表示されます。

4 **「Security」メニューをクリックし、「Set Password」をクリックします。**
パスワード入力画面が表示されます。

5 **「Enter Current Password」で、現在のパスワードを入力し、[↵] キーを押します。**

6 **「Enter new Password」で、新しいパスワードを 8 文字までの半角英数字、および記号で入力し、[↵] キーを押します。**
パスワードを削除するときは、何も入力せずに [↵] キーを押します。

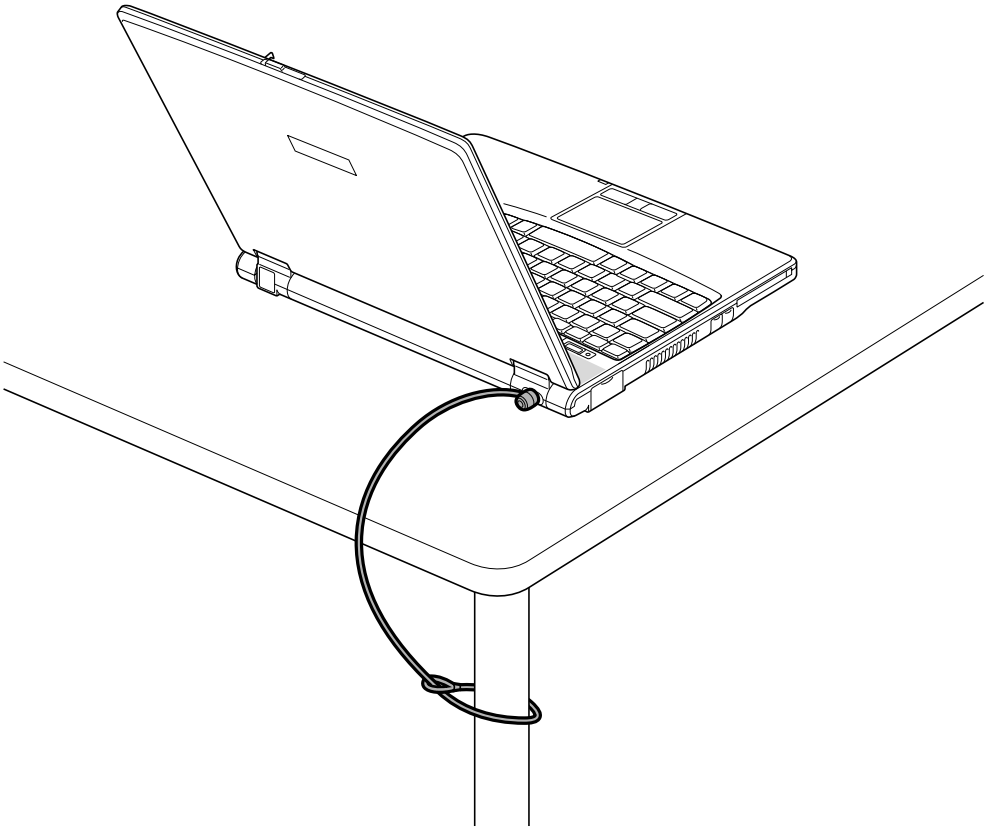
7 **「Confirm new Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[↵] キーを押します。**
パスワードを削除するときは、何も入力せずに [↵] キーを押します。

8 **パスワードを変更したときは、「Password on Boot」の左にチェックマーク(√)が付いていることを確認します。**
パスワードを削除したときは、チェックマークは自動的に外れます。

9 **「パスワードを登録する」(☞ 前ページ) の手順 7 ～ 9 までの作業をします。**

盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。



パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

ご注意

- お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

バックアップ電池を交換する

このパソコンには、バッテリー残量がなくなったときに備えて、セットアップユーティリティや日付・時刻などの情報を保持するためのバックアップ電池が装着されています。バックアップ電池がなくなった場合は、別売のバックアップ電池と交換してください。

バックアップ電池交換時期について

バックアップ電池がなくなると、セットアップユーティリティの設定情報が消えてしまい、起動時に「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されます。セットアップユーティリティを初期値に戻しても、繰り返しこのメッセージが表示されるようになったときは、バックアップ電池がなくなっています。

起動時に上記のメッセージが表示されたときのセットアップユーティリティを初期値に戻す方法については、**Windows起動時（電源を入れたとき）のトラブル**（☞117ページ）を参照してください。

新しいバックアップ電池をお求めのときは

パソコンをお買いあげの販売元、またはパソコン修理相談センター（**お客様サポートシステムのご案内**☞別冊）にお問い合わせください。ただし、販売元によってはお取り扱いがない場合もあります。

1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外します。**

バッテリーパックの取り外し方については、**バッテリーパックを交換する**（☞43ページ）を参照してください。

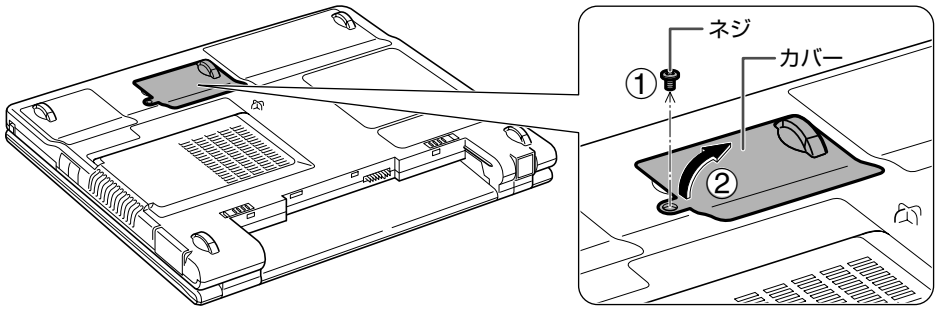
ご注意

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外してください。故障の原因になります。

2 **カバーを取り外します。**

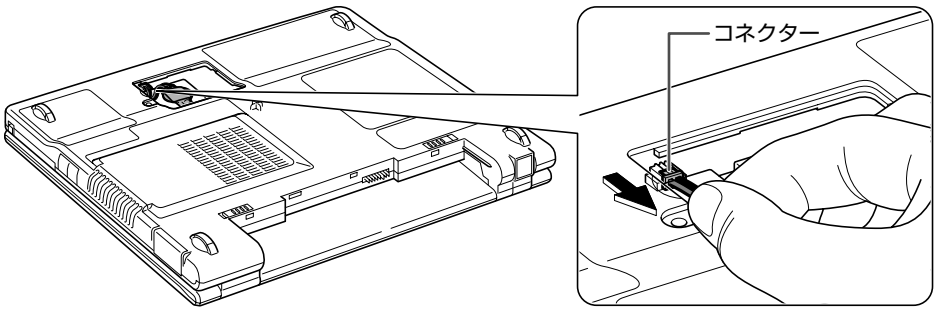
① カバーのネジを外します。

② カバーを取り外します。



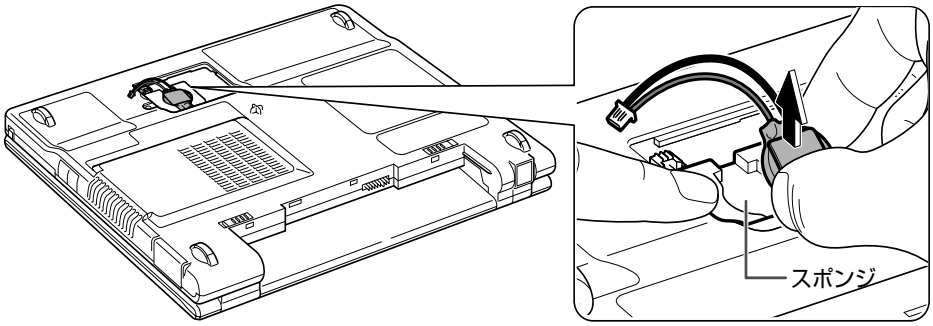
3 **バックアップ電池とパソコンをつないでいるケーブルを指でつまみ、まっすぐに引き抜きます。**

コネクターにできるだけ近い位置を指でつまんでください。



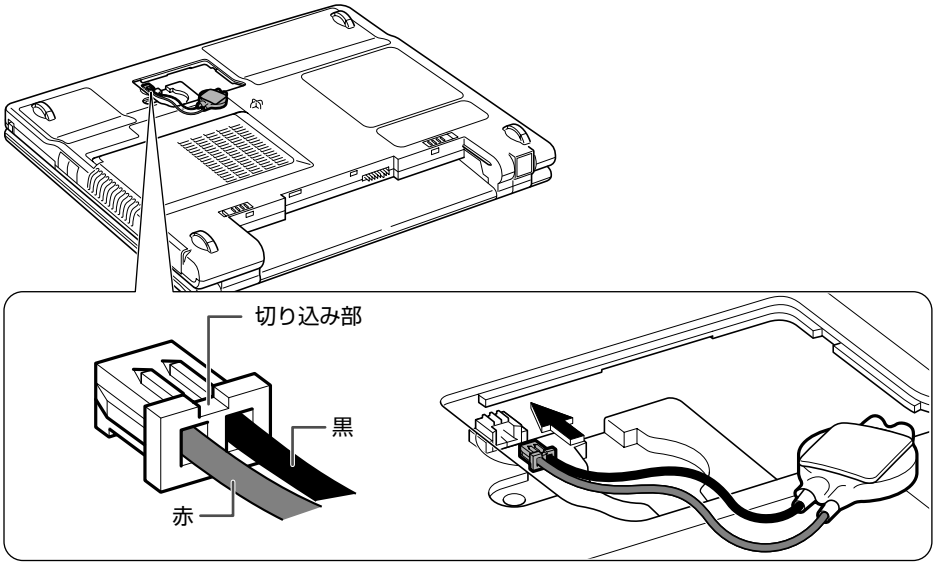
4 **バックアップ電池ゆっくりと取り外します。**

バックアップ電池は、両面テープで取り付けられています。スポンジを軽く指で押さえて、ゆっくりと取り外してください。



5 **新しいバックアップ電池をパソコンのコネクターに接続します。**

ケーブルを接続するときは、ケーブルのコネクターの切り込み部を上にして、ケーブルの黒が右、赤が左になるように接続します。



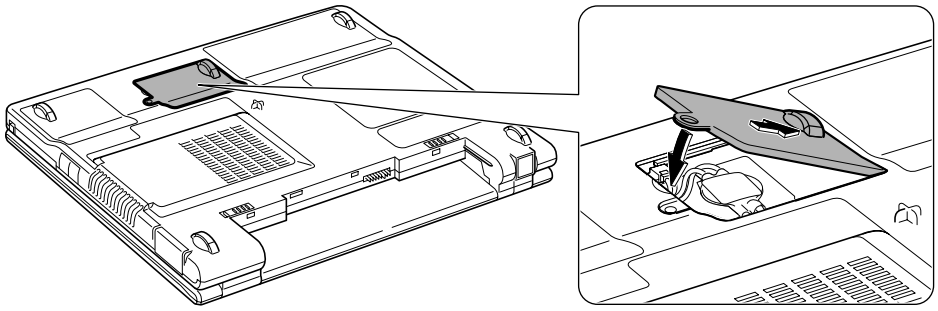
ご注意

- バックアップ電池を接続するときは、図のとおり、必ずコネクターの切り込み部を上にしてください。まちがった向きに接続すると、故障の原因になります。

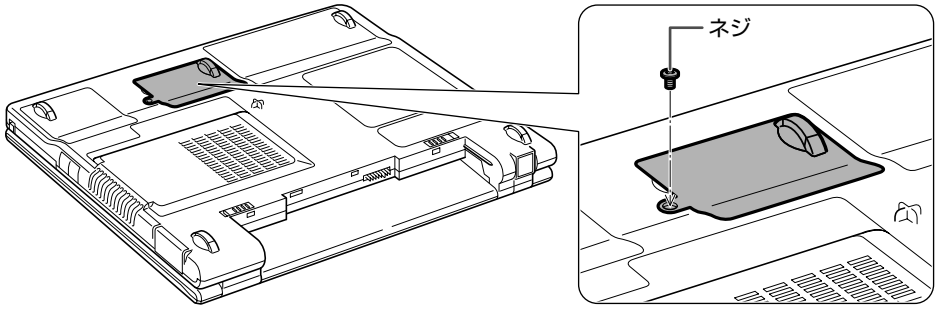
6 **新しいバックアップ電池をパソコンに固定します。**

バックアップ電池に両面テープが付いていますのではくり紙をはがし 、テープ面を下にして、スポンジの型の中にはめ込みます。

7 **カバーを元の位置に戻します。**



8 **カバーのネジをしめます。**



9 **バッテリーパックを取り付けます。**

バッテリーパックの取り付け方については、**バッテリーパックを交換する**（☞43 ページ）を参照してください。

10 **パソコンを表に返し、AC アダプターを接続します。**

11 **パソコンの電源を入れます。**

しばらくすると、画面の下に「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されます。メッセージが表示されるまでに約 1 分かかる場合があります。

12 **Delete キーを押します。**

Windows が起動します。

13 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

14 **「日付、時刻、地域と言語のオプション」をクリックします。**

「日付、時刻、地域と言語のオプション」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**コントロールパネルの表示について** ☞18 ページ）

15 **「日付と時刻を変更する」をクリックします。**

「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

16 **日付と時刻を設定し、[OK] をクリックします。**

日付と時刻が変更されます。

17 **画面右上の ☒ をクリックして「日付、時刻、地域と言語のオプション」画面を閉じます。**

18 **セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。**

ご購入時の状態でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、**セットアップユーティリティ**（☞154ページ）を参照してください。

仕様一覧

形名			PC-CL50F
インストールOS ※a			Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 1a
CPU			モバイルAMD Athlon XP-Mプロセッサ 2000+ ※1
	キャッシュメモリー		1次：128KB、2次：256KB内蔵
チップセット			VIA社製　ProSavageDDR KN266
システムバス(メモリーバス)			266MHz
メインメモリー			標準256MB～最大768MB ※2（DDR SDRAM PC2100対応）
	メモリースロット		1スロット（空きスロット1）
表示機能	内蔵ディスプレイ		14.1型ピュアクリーンTFT液晶（XGA対応）
			1,024×768ドット、800×600ドット（すべて最大約1,677万色※3）
	グラフィックアクセラレーター		S3 Graphics社製ProSavage8（チップセットに内蔵）
	ビデオメモリー		標準32MB（8MB、16MB、32MBから選択可）（メインメモリーを使用）
	外部ディスプレイ表示 ※b	外部ディスプレイのみ表示	最大1,600 ×1,200ドット（最大約1,677万色）
		内蔵ディスプレイとの同時表示	最大1,024 ×768ドット ※4（最大約1,677万色）
入力装置	キーボード		0ADG仕様準拠87キー
		キーピッチ/キーストローク	約19mm ※5／約3mm
	ポインティングデバイス		パッド型ポインティングデバイス（ホイール機能対応）
記憶装置	ハードディスクドライブ ※c		約40GB 内蔵 ※6（Ultra ATA/100）
	フロッピーディスクドライブ		別売（3モード対応　3.5型、外付）
	CD/DVDドライブ		DVD±R/RWドライブ内蔵 ※7 バッファアンダーランエラー防止機能対応
		書込速度 ※d	DVD-R：最大4倍速 DVD+R：2.4倍速 CD-R：最大16倍速
		書換速度 ※d※e	DVD-RW：最大2倍速 DVD+RW：2.4倍速 CD-RW：最大8倍速
		読出速度	DVD-ROM：最大8倍速(1層)／最大6倍速(2層) DVD-R/-RW/+R/+RW：最大4倍速 CD-ROM/R：最大24倍速 CD-RW：最大12倍速
通信機能	モデム ※f		最大通信速度：データ56kbps（受信）・33.6kbps（送信）／ FAX 14.4kbps 、V.90 規格準拠（日本国内仕様※8） 機種名：MDC56S-I　認証番号：A01-0330JP
	LAN		100BASE-TX ／10BASE-T
	ワイヤレスLAN		有料アップグレードサービス対応※9、別売カード対応
カードスロット		PCカード	Type II×1スロット（PC Card Standard 準拠、CardBus 対応）
サウンド機能			AC'97 準拠サウンドシステム内蔵、スピーカー（ステレオ）内蔵 ドルビーヘッドホン対応※10、ドルビーバーチャルスピーカー対応※10
インタフェース		表示／映像／サウンド	外部ディスプレイ出力（アナログRGB、ミニD-sub 15ピン)×1、 マイクロホン入力（φ3.5mmモノラルミニジャック）×1、 ヘッドホン出力／オーディオ出力（φ3.5mmステレオミニジャック）×1
		汎用／その他	USB（USB2.0準拠）×4、DirectHD接続（USB2.0準拠）×1
電源			専用ACアダプター（100～240V、50/60Hz）、 専用リチウムイオンバッテリー（標準内蔵）
消費電力			最大 60W
エネルギー消費効率 ※g			S 区分 0.00057
バッテリー駆動時間 ※h※i(JEITA測定法1.0による)			約2.0時間
バッテリー充電時間 ※i			約6時間（電源オン時）、約4時間（電源オフ時）
使用環境		温度	10℃～35℃
		湿度	20%～80%（非結露）
外形寸法（突起部除く）			約幅310×奥行262×高さ25.2（最小）～33.5（最大）mm
質量			約2.7kg

※a　プリインストールされているOSのみをサポートしています。
※b　対応する垂直・水平周波数については、動作確認が取れ次第メビウスホームページ内サポート情報の機種別ページにて順次ご案内します。
http://support.sharp.co.jp/mebius/
※c　1GB=10億バイトで計算した場合の数値です。
※d　ご使用のディスクによっては、記録品質を保つために書込・書換速度が制限される場合があります。
※e　CD-RWについては、8倍速での書換には、High Speed CD-RWディスクが必要です。
※f　通信速度はいずれも理論上の最大値です。また、内蔵モデムはWindows XP対応アプリケーションソフトでご使用いただけます。
※g「エネルギー消費効率」とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです
※h　社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づいて測定した時間です。
詳しい測定条件は、メビウスホームページの各機種仕様一覧でご覧いただけます。
http://www.sharp.co.jp/mebius/
※i　実際の駆動時間および充電時間は、使用環境により異なります。

※1　AMD PowerNow!テクノロジ対応。また、AMD社が定めたQuantiSpeedアーキテクチャを採用しています。最大動作周波数1.667GHzで動作しておりますが、従来の設計に基づく2.0GHzのCPUに相当もしくはそれ以上の性能を有します。バッテリー駆動時のCPUの最大処理能力は、AC駆動時に比べ約60%になります。
※2　使用可能な増設用SDRAMボードについては、動作確認が取れ次第メビウスホームページ内サポート情報の機種別ページにて順次ご案内します。
http://support.sharp.co.jp/mebius/
※3　ディザリング機能により実現。
※4　内蔵ディスプレイと同時表示する場合の外部ディスプレイ表示は、解像度に関係なく1,024×768ドットの信号が出力されます。外部ディスプレイは1,024×768ドット表示に対応したものをご使用ください。
※5　一部キーピッチが短くなっている部分があります。
※6　Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量は約37.2GBになります。(C ドライブ：約19.5GB、Dドライブ：約12.8GB、残りはリカバリ領域として使用)。CドライブはNTFS、DドライブはFAT32でフォーマットされています。
※7　VRフォーマットで記録されたDVD-RWには対応しておりません。Ultra Speed CD-RWディスクはご使用できません。
※8　海外では使用できません。
※9　有料アップグレードサービスにより、ワイヤレスLANモジュールおよびアンテナを内蔵することができます。有料アップグレードサービス後に内蔵されるワイヤレスLANモジュールは、Wi-Fi認定（2.4GHz帯、11Mbps）を取得しており、技術基準に適合していることが認証されています。 準備が整い次第メビウスホームページ内アップグレードサービスページにて順次ご案内します。
http://support.sharp.co.jp/mebius/
※10 本機能は、WinDVD4のもつソフト機能であり、本体のサウンド機能ではありません。

周辺機器（別売品）

- USB 接続 FD ドライブユニット CE-FD05
- ワイヤレス LAN ステーション（IEEE802.11b 準拠） CE-WA02
- ワイヤレス LAN カード（IEEE802.11b 準拠） CE-WC02

さくいん

記号・アルファベット

AC アダプター 28
AC アダプタージャック 26、28
Caps Lock ランプ 25、36
CD（コンパクトディスク）
- CD-R 54、57
- CD-ROM 54
- CD-RW 54、57
- High Speed CD-RW 54、57
- 入れ方 55
- お手入れ 59
- 音楽 CD 54
- 書き込む 57
- 関連するトラブル 119
- 使用可能なディスク 54
- 出し方 56
- 動作確認済みディスク 57
- 取り扱い 58

CD/DVD ドライブ 「DVD±R/RW ドライブ」参照
CD/DVD ランプ 25、55
CRT ディスプレイ 100
DirectHD
- DirectHD 活用ディスク 68
- DirectHD 専用ケーブル 69
- DirectHD コネクター 26、69
- DirectHD ユーティリティ 68
- 安心楽々引越しパック for DirectHD 66、75
- 関連するトラブル 120
- 状態表示ランプ 68
- デバイスを停止する 71
- 荷造りプログラム 75
- パスワード 73
- ホスト PC と接続する 68

DVD
- DVD+R 54
- DVD-R 54
- DVD-RAM 54
- DVD-ROM 54
- DVD+RW 54
- DVD-RW 54
- DVD-VIDEO 54
- 入れ方 55
- お手入れ 59
- 関連するトラブル 119
- 使用可能なディスク 54
- 出し方 56
- 取り扱い 58

DVD±R/RW ドライブ 26、54
FD 「フロッピーディスク」参照
LAN ケーブル 83
LAN ジャック 26、83
Num Lock ランプ 25、35
PC カード
- PC カードスロット 26、107
- 差し込む 107
- 取り出す 108

PowerNow!テクノロジ 45
RAM ボード 110
READY ランプ 26、68
Scroll Lock ランプ 25、37
TFT カラー液晶パネル 8
USB コネクター 26、27、96
USB 接続 FD ドライブユニット 61
Windows 起動時のトラブル 117

ア行

アナログ音声の出力 105
アナログ音声の入力 106
アナログ回線 「一般電話回線」参照
安心楽々引越しパック for DirectHD 66、75
アンプ付きスピーカー 104
一般電話回線 80
色数 52
印刷する 98
インストール
- DirectHD ユーティリティ 68
- ディスプレイドライバー 101
- デバイスドライバー 94
- 荷造りプログラム 75
- プリンタードライバー 98

オーディオ出力ジャック 26、104
お手入れ
- CD（コンパクトディスク） 59
- DVD 59

パソコン 163
音声を入力する
アナログ音声入力 106
外部マイクから 106
音量調節
Windows 50
キーボード操作 50

カ行

解像度 52
外部ディスプレイ
CRT ディスプレイ 100
液晶ディスプレイ 100
接続する 100
取り外す 103
表示先を切り替える 101
プロジェクター 100
書き込み禁止タブ 60
画面 ..... 「ディスプレイ」参照
キーボード
関連するトラブル 118
使う 35
休止状態 47
クリック ..... 32、33
コネクターの形状 94
コントロールパネル 18
コンパクトディスク ..... 「CD」参照

サ行

再インストール
HDD（ハードディスクドライブ）から 129
再インストールの種類 125
リカバリ CD から 139
周辺機器
接続可能な周辺機器 94
省電力機能 45
初期値に戻す 159
数字キーロックモード 35
スクロール 34
スタンバイ 47
スピーカー
アンプ付きスピーカー 104
外部スピーカー 104
スピーカー 24
セットアップユーティリティ 154
増設 RAM ボード 110

タ行

ダブルクリック ..... 32、33
通信
LAN 83
関連するトラブル 122
電話回線 80
通風孔 ..... 6、26、27
ディスプレイ
明るさを変える 52
色数を変える 52
解像度を変える 52
画面表示に関するトラブル 118
ディスプレイコネクター ..... 26、100
ディスプレイドライバー 101
表示先を切り替える 101
データ
CD-R/RW に書き込む 57
DVD±R/DVD±RW に書き込む 57
フロッピーディスクに保存 62
デバイスドライバー 94
テンキーロックモード
..... 「数字キーロックモード」参照
電源
入れたときのトラブル 117
入れる 28
切る 30
省電力機能 45
ボタン ..... 24、29
ランプ ..... 24、25、29
電話回線 80
盗難防止ホール ..... 27、162
ドラッグ ..... 32、33
ドラッグ＆ドロップ ..... 32、33

ナ行

日本語入力システム 35
ネットワーク（LAN） 83

ハ行

ハードディスク
　電源を切る 46
　ハードディスクランプ ..... 25、26、68
パスワード ..... 73、160
バックアップ電池 164
バッテリーパック
　交換する 43
　残量確認 40
　充電する 39
　初期化する 42
　バッテリー警告音 41
　バッテリー状態ランプ ..... 24、25、39
　バッテリーパック ..... 27、39
パッド 31
パッド型ポインティングデバイス
　関連するトラブル 118
　使う 31
ハブ（LAN） 83
フォーマット
　フロッピーディスク 63
プリンター
　接続する 98
　プリンタードライバー 98
プロジェクター 100
フロッピーディスク
　USB 接続 FD ドライブユニット 61
　関連するトラブル 119
　使用可能なディスク 60
　初期化する 63
　接続する 61
　取り扱い 64
　取り外す 61
　フォーマット 63
　フロッピーディスクドライブ 61
　保存する 62
ヘッドホン 104
ヘッドホン出力／オーディオ出力ジャック ..... 26、104
ポインター 31
ポインティングデバイス
　「パッド型ポインティングデバイス」参照
ポイントする 32

マ行

マイク
　外部マイク 106
　マイクジャック ..... 26、106
右クリック 32
メモリー
　スロット 111
　増設する 110
　容量の確認 113
文字入力 35
モジュラージャック 80
モデム 80
モデムジャック ..... 26、80

ラ行

リカバリ ..... 「再インストール」参照
リカバリ CD ..... 125、139
録音
　マイクから 106

ワ行

ワイヤレス LAN カード 84
ワイヤレス LAN 状態ランプ ..... 24、25
ワイヤレス LAN ステーション 85

MEMO

MEMO

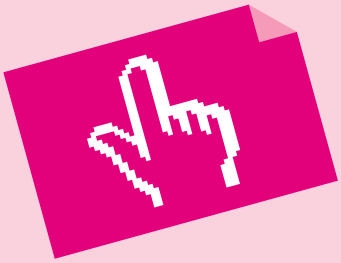
MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

取扱説明書



● メビウスホームページ

http://www.sharp.co.jp/mebius/

インターネットをご利用の方は、上記のホームページもご活用ください。
「メビウスホームページ」では、商品情報やQ&A、周辺機器情報、
ダウンロード情報など、役立つ情報を掲載しています。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の「お客様サポートシステムのご案内」をご覧ください。

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

©2004 SHARP CORPORATION

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。